〔毎九月十四日（第三種郵便物）
二毎九月一日發行（毎月一

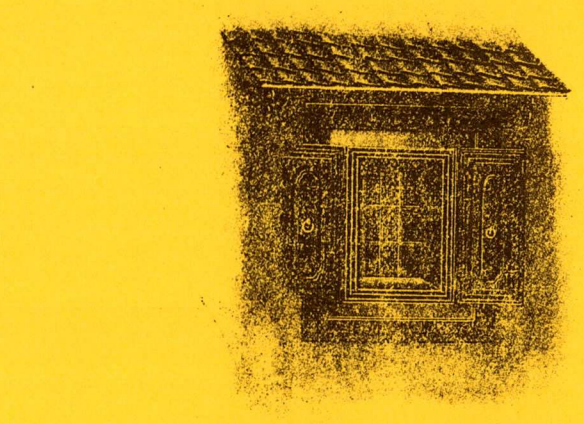
建築と社會

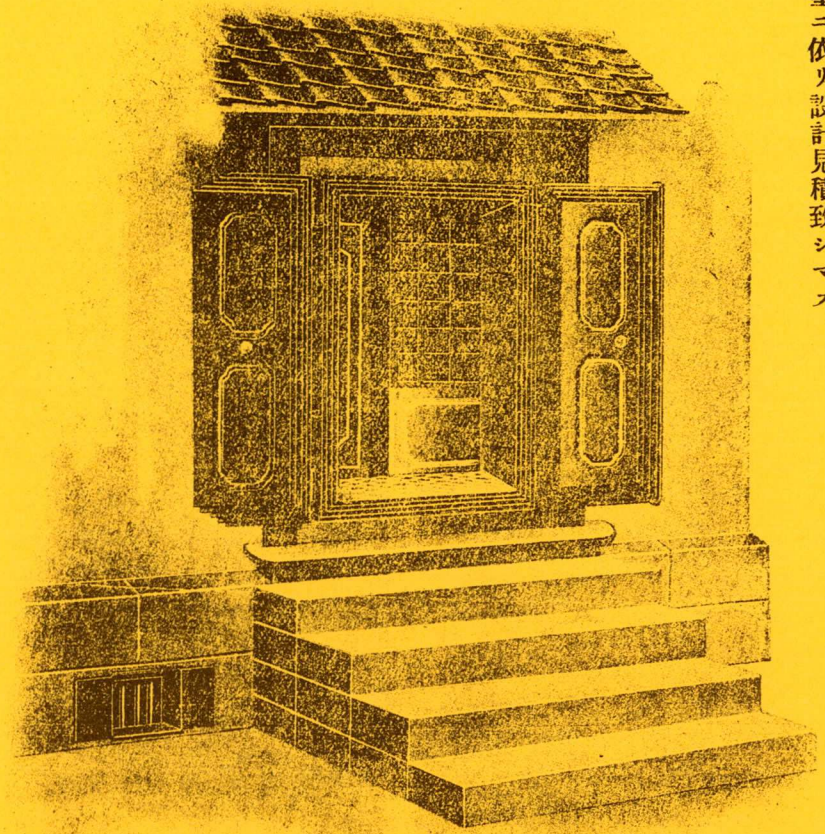
第拾輯　第拾號

日本建築協會

昭和二年　拾月一日

OTANI GODOWN DOOR





最新大谷製土藏鐵扉及窓扉

一、鋼鐵製土藏扉ハ從來土製ヲ鋼鐵ニテ製作セルモノデアリマス
一、土製ノ缺陷ヲ補ヒ日常ノ開閉ニ非常ニ簡便デス
一、防熱防盜ニ絶對ノ効力ヲ有シマス
一、如何ナル舊式ノ土藏ニモ簡易ニ取付ガ出來マス
一、寸法構造等ハ御希望ニ依リ設計見積致シマス

點交町 楠町 神戸
橋 淀屋 大阪
松原 京都
富區町 新京橋 東京

大谷金庫店

會告

當協會事務所移轉の件

移轉先　大阪市西區土佐堀通一丁目一番地
大同生命ビルヂング七階第二十號室
（市電土佐堀船町停留場下車
肥後橋南詰）

電話番號　土佐堀四二六五番

昭和二年九月

社團法人　**日本建築協會**

追て右事務所移轉は主務官廳の認可を要しますので其手續を終了する迄は假事務所ご御承知を願ひます

本誌掲載廣告見出表 第十輯號

位置	廣告主	位置	廣告主
表紙第二頁	シッター	第二〇頁	關西ペイント株式會社
第一頁	汎建製作所	第二一頁	床板、衛生、糞タイガーボード共池商會
第一頁	シッター大野製作所	第二一頁	關島合名會社
第二頁	伊奈製陶株式會社	第二三頁	防水劑其他日本ペイント商店
第三頁	コルク永柳商店	第一四頁	横山商店
第四頁	笹岡家具裝飾店	第一五頁	橋本庭園工務所
第五頁	日本鐵扉製作所	同	西村建築株式會社
第六頁	萬年スレート株式會社	第二六頁	中村ガラニット商會
第七頁	スチールドアー安村工業所	第二七頁	ボーリング川森組
第八頁	淺野スレート株式會社	第二七頁	セメントブラスター其他飾磨化學工業株式會社
第九頁	日本ペイント株式會社	第二八頁	
第一〇頁	ソリデチット日本化學産業株式會社		
第一一頁	東洋コルク工業株式會社		
同	内土木建築材料合資會社		
同	外エレベーター日本エレベーター製造株式會社		
第一二頁			
第一三頁	東亞ペイント株式會社		
第一四頁	電燈器具駒井商店		
同	煖房衞生其他阿波田貢之助商會		
第一五頁	屋根板大阪電氣分銀株式會社		
第一六頁	酸化鐵東洋鑛粉所		
同	平、波板大阪鐵板加造株式會社		
第一七頁	オーシーエレベーター		
第一八頁	照明燈カーバツアイス合資會社		
第一九頁	東コンクリート合資會社		

後附ノ部

位置	廣告主	位置	廣告主
第二九頁	池田建築事務所	第三三頁	増田清建築事務所
同	大阪建築相談所	第三三頁	眞設樂建築事務所
同	橋本建築事務所	第三四頁	西原衞生工業所
同	大阪建築所	第三五頁	池田勘藏
第二九頁	小笠原建築事務所	同	大倉土木出張所
同	岡部建築事務所	同	大橋開作組
第三〇頁	片岡建築事務所	第三六頁	龜谷工務店
同	石本建築事務所	同	竹中大塚川鐵丁
同	和田建築事務所	第三七頁	佐野村亥之助組
同	横河工務所	第三七頁	中伯藏
第三一頁	大窯業セメント株式會社	同	熊谷田熊次郎
同	阪宗建、築事務所	第三八頁	久保種吉
第三二頁	藤井工業所	同	松村取
同	國枝工務所	同	木藤工務店
同	安井建築事務所	同	木村工務店
		第三九頁	日本鑛泉合資會社
		同	内海工務店
		同	日本塗裝業株式會社
		第四〇頁	鐵高林組
		同	大住和一郎商店
		同	吉阪鐵筋凝土業所
		第四一頁	石川屋岡本工務
		同	池山組
		第四二頁	駒井喜商店鐵工部出張
		同	有安藤組出張
		第四三頁	湛便利五佐久間建材工業所
		第四四頁	各種鐵戸其他業建社
		第四五頁	SO商會
		第四六頁	改良便所其他一切須賀商會
		第四七頁	建築衞生フローンパルプ弁賀商會
		第四八頁	大阪耐リノリウム工業合資會社
		第四九頁	塗料剝離劑三菱造船所
		第五〇頁	內外ユレベーター株式會社
		第五一頁	材木北村梅七商店
		第五二頁	品川タイル
		第五三頁	佐渡島西店金屬天井部
		第五四頁	大阪鐵扉製作所
		第五五頁	屋根材野田幸三郎商店
			コルクタール高島屋吳服店
		第五六頁	セメント防水劑
		第五七頁	日本工帥株式會社
		第五七頁	煖房其他東亞鐵工所
		第五八頁	ステインドガラス玲光社
		第五九頁	水洗便利水洗歸米商店
		同	便利瓦其他梶田豐子
		第六〇頁	スチールシャッター其他大阪建材商會
		同	タッコマンゲユリヤ
		第六一頁	三井物產株式會社
		第六二頁	大連ドロマイド淺野物產株式會社
		第六三頁	防水劑マルー油脂化工社
		第六四頁	スチイルサッシユ其他阿部鐵工所
		第六五頁	日本建築紙工株式會社
		第六六頁	米材其他田村商會
		第六六頁	日本スレート販賣會社
		第六七頁	鞆柄大平工業所
		第六八頁	電力電燈淺海商店
		同	タイルとテラコッター山本窯業店
		第六九頁	汀東サッシ其他中昌司商店
		第七〇頁	床板伊丹商店
		同	テマンドグラベニス工房
		第七一頁	便所之改善城口研究所
		第七二頁	淺野スレート株式會社
		第七三頁	屋根材料木下商店
		同	日洋瓦株式會社
		第七四頁	矢橋大理石商店
		第七五頁	日本工具製作株式會社
		第七六頁	水道衞生煖房其他田中商店
		第七七頁	塗裝工事松本商店
		第七八頁	王子製瓦株式會社
		第七九頁	佐治タイル合資會社
		第八〇頁	煖房其他大和工業株式會社
		第八一頁	山中支那搬運商會
		第八二頁	米國貿易會社
		第八三頁	瓦商佐村木勝吉
		第八四頁	小野田ポルトランドセメント
		表紙第三頁	シッター其他東京建鐵會社
		同第四頁	建築金物商會

特許第七九三五號（延長許可）

大野式防火捲上ヶ戸

（特許大野式シヤッター）

這般の大震火災に於て兼て御定評を蒙り居り候日常開閉の至便、防火耐熱力優秀にして內外國同種類品中最も御安心相願はれ得可きものなることは左記事實に依り能く之を證明致候

一捲上ケ戸の閉鎖が咄嗟の間に完全に行はれたること

一戸鈑の連鎖堅牢にして烈火に面したる場所に於ても戸鈑各個の脫落、鎖鎖の破壞を來したるものなかりしこと

一戸鈑と戸鈑との間、戸鈑と溝金との間、上方捲込口煙返し等の密着充分にして間隙を生じたるものなく能く火炎熱風の浸入を阻止し防火の効を奏したること

以上數多の實蹟に徵し更に一段の注意を拂ひ御期待に副ひ可申確信の下に努力罷在候處幸ひ御承認を辱ふし他製品取換の御注文を始め有數建築物の復興工事新建築物防火設備等着々御採用を蒙り居候、何卒多少に拘らず御用命被仰付度奉希候

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地（電話高輪 長五五七七番 三二三三番）

出張員詰所・上福島中二丁目六〇 電話土佐堀二七二五番

庭園と

繪口

大阪・中之島公園より大阪城一帶を眺む
大阪・中之島公園より大阪市廳附近を望む
巴里・シヤンゼリゼーの大並樹道路より大凱旋門を眺む
伯林・王宮前の大寺と美術館
伯林・ウンテルリンデンの並樹道路
南獨・ヌルンベルクの濠
濱寺公園の正門樓
同　設計圖

◇◇◇

▼樹木の有つ自然味と建築……佳山生…一
▼現代都市と公園（都市の綠化問題）……工學博士　片岡安…二—四
▼庭園の實用化と藝術……會員　古宇田實…五—一〇
▼庭の建物に就て……大阪市公園課長　椎原兵市…一一—一八
▼時代の要求する新建築……會員　八木幸次郎…一九—二三

拾輯　建築　第拾號

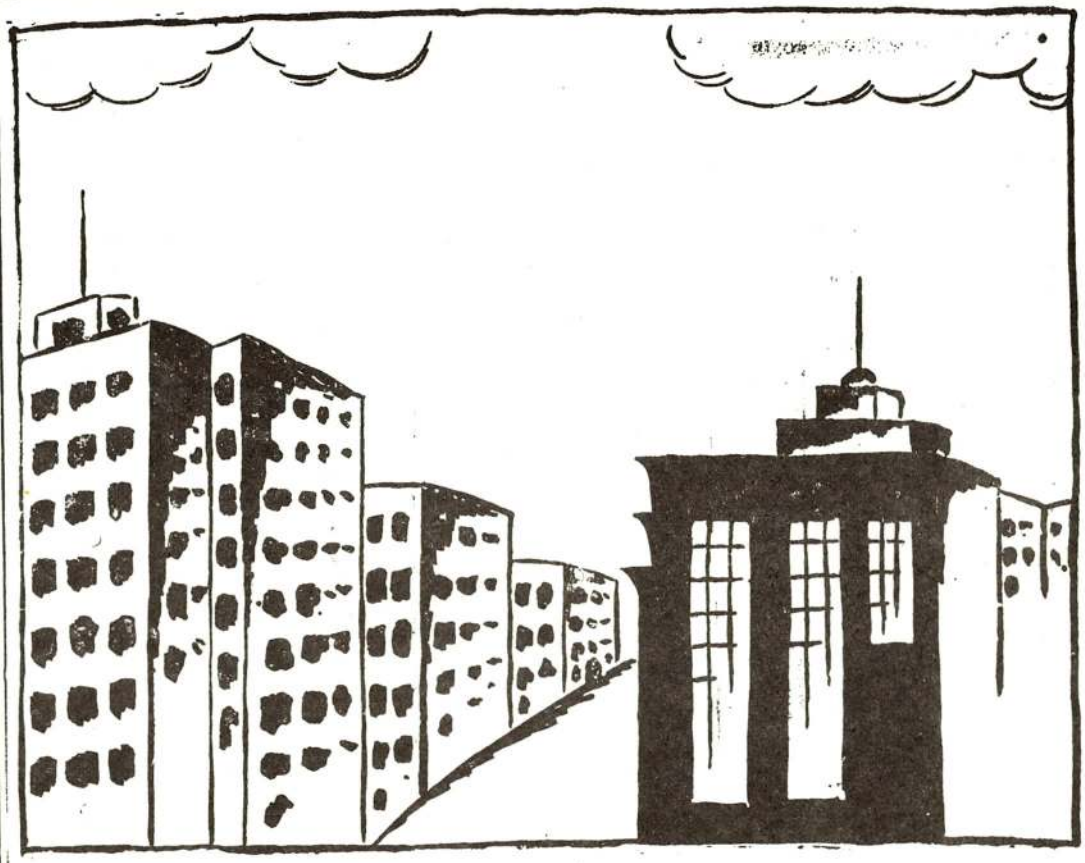
目次

▼衛生上より觀たる庭園……農學博士　大屋靈城…二三―二八
▼公園に於ける建築的施設……會員　加藤善吉…二九―四〇
▼街巷公園……東京市公園課長　井下清…四一―四六
▼都市の廣場施設……會員　方米次郎…四七―五四
　‖記念に適はしい好事業‖
▼都市の建築と造園……龍井松之助…五五―六〇
▼庭園は住宅の延長……會員　本間乙彥…六一―六八
　‖舊日本型から新日本型住宅へ‖
新刊紹介欄、訂正及正誤表……六九

◇◇◇

▼社團法人日本建築協會會報……

▼廣告早見表は表紙より二枚目會告裏にあります



IS

伊奈製陶株式會社

本社 愛知縣常滑町 電 二七〇五

土木工事用

各種陶板側溝
特地中電線管

建築工事用

テラコッタ
タイル
モザイク
タイプストリ
スクラッチタイル



秋の日は暮かゝつて居ます。木々の緑は愈々色を増して居ます、遙に夕陽に照り榮えてゐる大阪府廳の大白亜館と其の下の流とは共に悠久性を有つて相對して居ます。



左雲間に聳え立つて居るのは大阪市廳です、前方の公會堂、堂ビル、控訴院等の大厦と共に水面の小波、一帶の綠樹と相對してゐる所は確に大阪の一名所たるに充分でありませうc



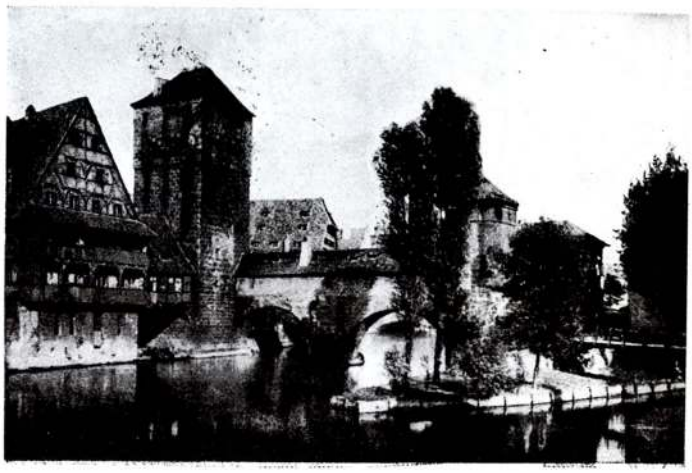
巴里・シアンゼリゼーの大並樹道路より大凱旋門を望む



伯林・王宝前の
大寺と美術館



伯林・ウンテルリンデンの
並樹道路



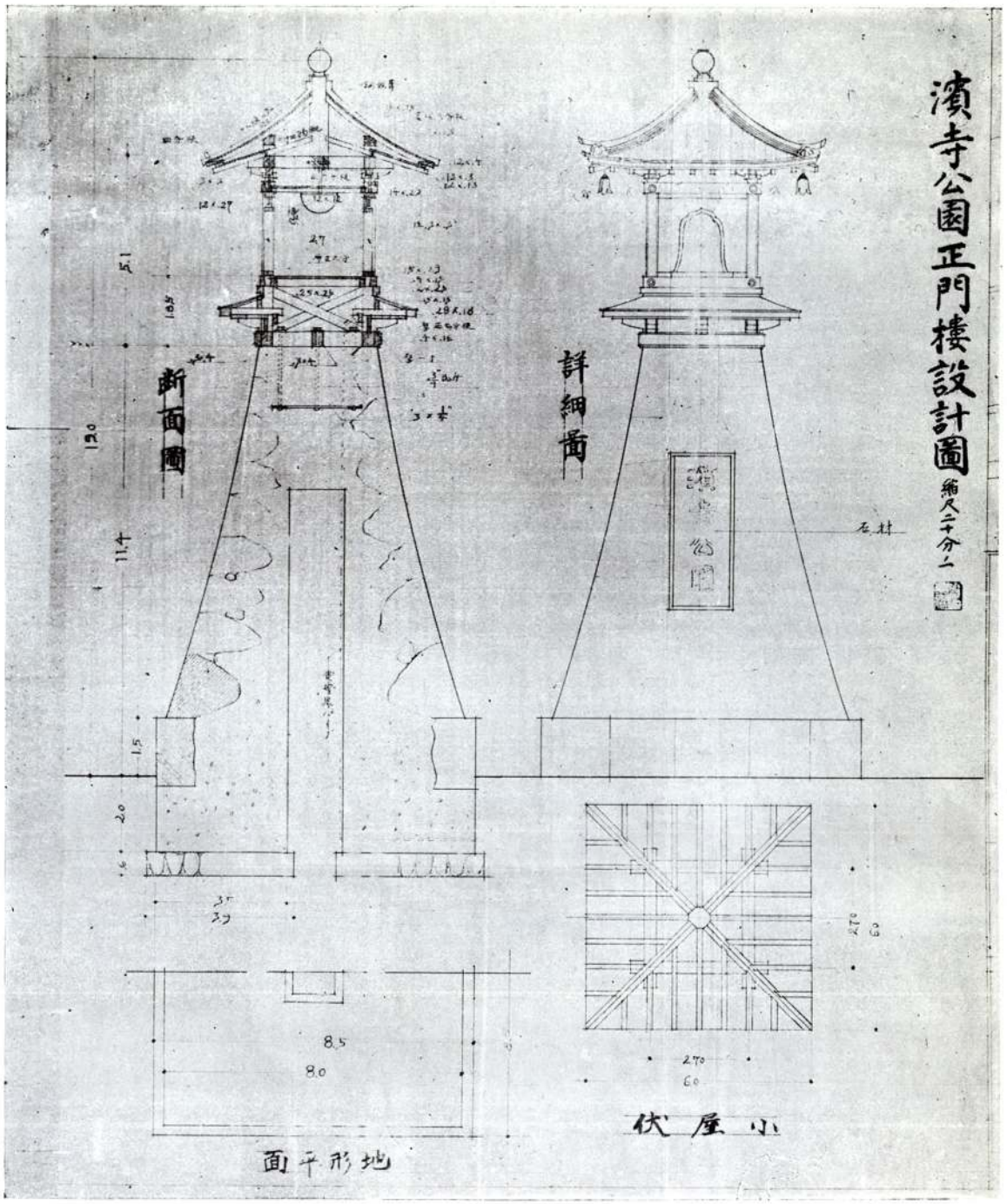
南獨
ヌルンベルクの濠



濱寺公園の正門樓

城吉靈善　博士　農學會員
屋藤　監督
大加　同　設計

住吉、濱寺の一帶は中古時代に於いては支那及三韓との航通と深き因緣のある場所である、コゝに航海の標識的な此様な高燈樓式の門が出現した事は面白い廻り合せではあるまいか、


濱寺公園正門樓設計圖
縮尺二十分一
詳細圖
斷面圖
地形平面
小屋伏



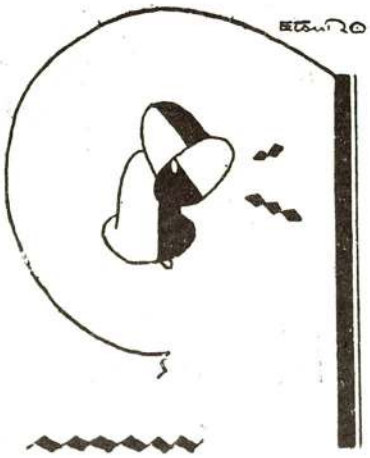
樹木の有つ自然味と建築

古來より樹木の有つ自然味に就いては春夏秋冬を通じて幾多の詩歌文章繪畫等によりて其味イを表はされ來つた從つて建築を對照としたものも少くない、「零餘子の春の句「硝子窓に色漲れる木芽かな」杯も樹木の自然味と建築との融合が如何にもゆつたりした氣持で表はれて居る、夏は新緑を讀み、秋は紅葉、冬は落葉、冬木立、寒梅と數限りなく美の對照物として實に忠實に觀賞せられて居る、次の古詩杯も亦建物と樹木とが板についた樣によい氣分を味はさゝれる、

見來梧桐上　風到楊柳邊
院深人復靜　誰共言此景

樹木は其成長の過程及成長後の容姿に於いて又は自己特有の色彩と花果等の關係上あらゆる人類に愛さるべき性能を具備して居る、只之を都市に於ける公園又は街路庭園等に植栽せらるゝ場合に於いては其都市獨特の氣候風土其他の關係上自ら適不適の生ずることは已むを得ざることであるが、今や如何なる都市に於いても植樹の必要なることは欠ぐべからざる重大なる要素となり來つた、今後に於いては植樹に欠除せる都市は眞の都市に非ずと言ひ得るのではあるまいか、特に我が國の都市の如く多くは舊城下又は舊府の所在地なりし關係を有する都市に於いては、ソコには必然幾多の惠まれたる名所舊跡名園と稱すべき場所少なからざるべく從つてソレ等のものを巧に活用し更に新味を有する施設とを併有するならば其の都市の美觀的價値を增加するは勿論都人の日常生活上非常なる慰安休戚となり併せて現代都人士のともすれば陷らんとする精神的疲勞症をも醫するに大なる力となるのではあるまいか。都人をして今少しく悠々の氣分の裡に活動せしめる爲に現代の都市をして大いに緑地帶の增加を希望して已まぬ次第である。

（二、九、二〇）佳山生



現代都市と公園

（都市の綠化問題）

工學博士　片岡安

近代の都市は其人口の增殖と其地域の擴大するを以て特徵とすると言はれて居る程、都市内外の進展は著しきものがある。最近四五十年間に或る都市の如きは其人口は三倍乃至五倍も增加し、地域も亦數倍に擴大された。變化の比較的少き都市でも最近の其發展の徑路は古き過去のそれに比して可なり速かなものがあるを普通とする。而して其動的變化即ち人事の輻輳、物資の集散に至つては人口の增加地域の擴大に比例して尙數倍又は十數倍の數字を示すようになつて來た。都市内部の雜沓混亂が近代都市の特徵であるように見へるのは全く動的變化の著しき其結果である。最近都市計畫熱の勃興せる最大原因は其雜沓混亂に陷らんとする都市の狀態を安靜にして且秩序正しき快活なる舞臺たらしめんとするにあるは言ふまでもない。

都市の著しき發展から生ずるあらゆる不利不便を取除き、同時にその發展を促進して、美しき便利なる且つ愉快なる都市たらしめんとする都市計畫は人類が古來甞て遭遇せざりし六ヶ敷き問題であると同時に、其立案及計畫の實施は最も壯快なる大事業であつて、且つ甚だ複雜なる關係をあらゆる方面に有するものであることを知らねばならぬ。交通、衛生、保安及經濟の各方面に亘りそれ〳〵施設の改善をなし其成績を擧げんとする努力は蓋し法律改廢の議論や經濟策の甲論乙駁によりて決せられんとするような簡單なものでないが、中に就て最近特に吾人の注意に値すべき難問題として現はれたるものを都市の綠化運動とする。

都市は街路を以て組み立てられ、建築物が充實して、そこに都市的活動が營まれるならば、都市建設の目的は完全に達せられる筈である。過去の都市は凡てそれであつた。しかるに近代に至り都市生活の變化は斯かる單純なる組み立てを以て滿足し得ざるようになつて來たのである。街路と建築が整備し、交通機關其他實用上の設備が充實することは都市の最大要素ではあるが、民衆一般の爲に其忙はしき急迫の狀態より生理的に又精神的に寬裕安靜に導くべき相當廣濶なる綠

園を設けることが急要なりと認められるゝに至つたことは、近代都市生活を向上せしむるの端緒であると考へらるゝのである。而して今日に於ては洋の東西を問はず、又其大小を論ぜず、如何なる都市に於てもそれ〳〵公園の施設を有せざるものはない程に此の傾向が徹底して來たことは又見のがし得ざる近代都市の特徴であると言ひ得る。

建築物法に於ては建築敷地内に相當の空地を存せしめることを規定して居る。その制限の方法は地域の制度により商業殷盛の部分には比較的寛にして、住居地域には可なり嚴格なる取締をなし、以て生活の急迫狀態を緩和すべくつとめるのを一般の通則とする。又街路の幅員を擴大して交通の利便を大ならしめる外に、綠樹地帶を設け、歩道の幅員を增大し、街路一般の目的以上に歩行者に悠々たる自適の氣分を與ふることを都市計畫の一大項目とするやうになつた。所謂公園道又は廣路の類である。最近亞米利加の都市には都市全體を通じて其中に散在する公園を連繫する公園道を開設したものさへもある。

公園の開設は今や都市には缺くべからざる必要條件となつて來たのみならず、更にその增設、擴大及改善を以て都市發展上最大急務なりと考へねばならぬ時代となつて來たやうに思はれる。既に歐米の諸都市は相當廣大なる公園を有して居るにも拘らず、其改善と擴大に就ては其市民は何れも最大の努力を拂ひつゝあるの現狀である。今試みに歐米の諸大都市が所有する公園の大さを擧ぐれば

	人口百人に付	都市面積の百分率
ワシントン市(北米)	約千八百坪	九%
カンサス市(同)	約八百五十坪	五%
ヂユッセルドルフ市(獨逸)	約八百二十坪	一四%
ボストン市(北米)	約五百九十坪	一三%
費府(同)	約三百八十坪	六%
倫敦(大倫敦)(英)	約二百七十坪	四%
ニユーヨーク(北米)	約百七十七坪	四%
巴里(佛)	約二百二十坪	二六%
伯林(獨)	約六十坪	七%
ミユーニツヒ(同)	約三百四十坪	八%

(以上は一九一二年度前後の統計に依る)

等、大小それ〳〵異るものがあるけれども我國のそれの如き貧弱なるものは殆んど見當らない。(東京市の公園五二〇エーカー百人に付き約三十坪)伯林は歐米都市中稀に見る公園面積の狹小なる都市なれども尙且つ我東京市のそれに比し二倍以上の廣さを有する。大阪其他の都市に至つては公園の面積設備ともに近代都市の特徴を發揮するに足らざること。東京市よりも更に甚しいものがある。

紐育市公園技師チヤーレス・ドーニング・レー氏は都市公園としての理想的面積は市民百人に付き一・五エーカー(千四百六十八坪)を適當とすると唱へて居る。而して彼は其面積の半バは天然林野の儘にそれを殘し置き、四分の一は野生公園とし其殘餘の四分の一を數十箇の小公園、小遊園地及花園となすを適當とすと附け加へて居る。北米合衆國のワシントン市の公園は彼の主張と全く一致し尙且つ餘裕あるものであるが、他の歐米諸都市の公園の現狀は其理想を去ること甚だ遠いのである。北米合衆國の如き廣大なる土地が比較的容易に

得られる土地柄にてはレー氏の如き理想は或は達せられるかも知れぬが、其他の國々にてはかゝる廣大なるものを開設することは不可能である。吾人の見るところでは漸くその五分の一位のものを適當とするのではないか。即ち市民百人に付き〇・三エーカー約三百六十六坪を程度として其開設改善に努力すれば先市民の文化生活に十分に添ひ得るものではないかと思はれる。

公園は之を廣き意味に解釋するを適當とする。即ち綠樹、草莽その他天然の光浴氣浴に繁榮する植物を以て滿されたる空地はたとへそれが個人の所有なりとも、又法人の管理なりとも、或は又交通を主とする廣道の一部であつても、都市全體としてはそれを公園と見なし得るのである。神社佛閣の境內、運動場、博物館、圖書館その他公館の周圍等は勿論、或は營利的に設けられたる遊園地等もその位置によりては凡て適當なる公園の一部と見て差支はあるまい。公園といへば池を穿ち松柏の樹木を植へ巨石を運び數奇屋造りの茶亭を配置せねばならぬように考へるのは誤まれるの甚しきものであるもとより一邸宅の庭園に於て斯かる計畫をなすことは一種の趣味として必ずしも排斥すべきではないが、都市の公園として其狹隘を嘆ちつゝある我國の諸都市に於て、今尙ほ斯かる企を見るのは如何にも時代後れの感なきを得ない。明治維新前に於て數奇をこらしたる邸宅の庭園が解放されて今は公園として其都市が管理しつゝある遺跡は大に之を尊重せねばならぬのであるが、新たに都市公園として開設する場合には決して日本式の庭園に擬すべきものではない。主として市民一般の神身を休め快活の氣分を養ふに最も適當なる綠地々帶となさねばならぬのである。

公園の配置及施設に就ては論すべきこと甚だ多いのであるが、現代の都市としては、其增設擴張及改善に就て、最大なる努力を拂はねばならぬ問題となつて來たことに先づ以て注意を拂ふの必要がある。殊に震火災その他戰爭等の異常時に思を致すときにその必要は益々深刻に感ぜられるのである。我國の如き都市外郊區域の地價が特に高率なる國柄に於て公園問題を解決することは歐米諸國の都市に比し更に一層困難なるを覺ゆるのであるが、都市民は協同一致の力に依り都市文化の向上の爲めにその難關の打開に努力せねばならぬのである。

庭園の實用化と藝術

會員　古宇田　實

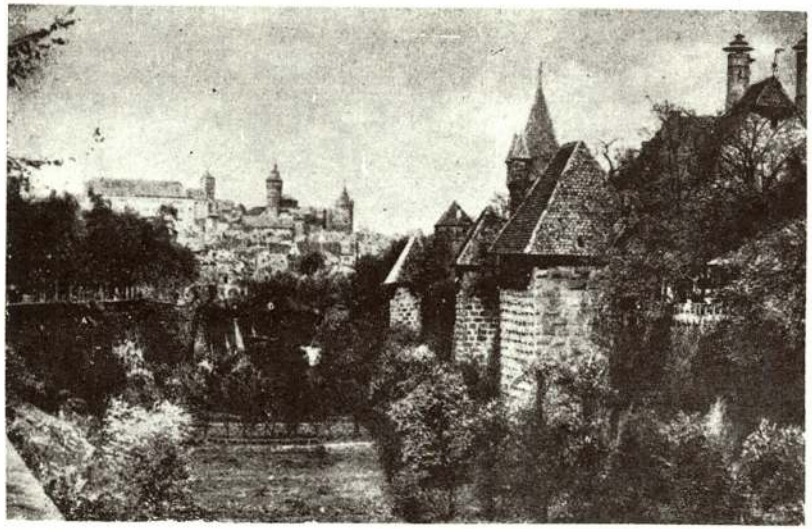


北伊太利マヂヨーレ大湖畔ストレサからイソラ、ベルラ島（ナポレオン一世の愛せる全部庭園に造れる「美しき島」を眺む

本誌庭園號に何か庭園に關する話を載せる樣にと賴まれたが、折柄の公務多端で、學術的な纏つたものを書く餘裕もないので、それは又の日に讓つて、二三の雜感を述べさしてもらふことにする。

庭園はこれを歷史的に見ると建築と同樣、全く實用に始まり、世の進步、文化の發展に伴つて、漸く藝術化し、遂に一の立派な美術として取扱はるゝ樣になつたものである、併も古代の埃及や巴比倫國に於ては約四千年の古昔に遡つて既に藝術的に構成されたもので所謂幾何的庭園を造つて居る、そしてそれ以來庭園は其國、其時代の文化の鍵ともなつた。故に古代に於て最も華やかなる文化を持つた、希臘、羅馬にあつては庭園も亦大に發達し、利用もされた、今日伊太利莊園として洋風庭園界に重きをなすものも、元は羅馬の別莊庭園から出たものである。又ルネッサンスの時代に宏大にして且派手な幾何的庭園が佛蘭西に流行したのも、彼の隆盛を極めた、ルイ王朝時代の文化の賜物であり、第十八世紀後英國から自然式の庭園が流行して歐羅巴大陸にまで影響を及ぼしたのもまた遲ればせに開けた英國文明の反映である、斯くて庭園は其國の文化を代表し證明するものともなつて、全く優れた美術とも見られた、我國でも同樣で、文化史上過去に於て最も華やかさを誇つた、藤原時代に寢殿造に伴ふ、南庭が生れ、室町時代には茶庭さへ起つて、庭園史上黃金時代を示した、それが今日では庭園は、贅澤物視され、繼兒扱ひにされるのも亦時代思潮で物質文明こそ

獨逸・ニュルンベルグの城廓外週



★ ★ ★

★ ★ ★

巴里・チユレリの
庭園上より西北を眺む

獨逸・ベルリンのケーニヒの廣場を
中心として北を眺めたる鳥瞰圖





進んだが、精神文明、眞の文化は反て振はぬの反映ではないかと思ふ氣もするわけである。乃ち何でも經濟、何でも實用と、それでなければ國が亡びる樣に騷ぐ人の多い時代にはこれも止むを得ぬことであらう、然るに近頃は又庭園が國防上衛生上、必要視され、近代文明の都市には缺くべからざる實用物となつて來た、

一　都市の庭園化と防拒施設

片岡博士が本誌に「都市の綠化」と題して論ぜらるゝことは多分、私の都市の庭園化と同じ意義と考へられるので、かれこれ說を述べる必要もなからうと思ふので、二三の歐羅巴の例として感じたこと丈に止める。

都市の庭園化はこれを都市の衛生的設備の一つとして、近頃極めて必要視されて來たことは論ずるまでもない、而も都市計畫が最近レヂヨナル、プランニングを必要とすることに傾いて來た際、殊にそうである、而して私の茲で云ふ都市の庭園化とは單に都市に公園を設けよ、小公園を備へよ、街路園を擴張せよと、云ふに止るのではなくて、田園都市の如く全都市を公園化すると云ふのである。公園、小公園の必要や設備等は、椎原氏、大屋博士の方々が、本誌に述べらるゝ筈であるから、それにも觸れぬが、要は公園と小公園を連絡するに街路園、アベニュー等を以てし、建築物、殊に住宅の如きはその大公園中に含まれて居る樣にするのである、然し斯くすれば自然庭園の面積を增大し建築の敷地面積を減じる結果になるから、都市の內容を同じとしても當然そこに都市の面積を增大せねばならぬ恐れがある、これに對しては日本の都市は現在の樣に、平面的に延びるよりも將來は高さに延すが至當であるので、斯くて其構造も鐵筋又は鐵骨のコンクリート造と改められ、交通機關は寧ろ短縮し、從て交通能率を增し　給排水の設備又自然餘裕を見ることが出來る、若し又現在都市の改造が困難であるとすれば附近に隣接して近代文化に適する科學的の新都市を築きて、茲に主要部を移し、徐ろに舊都市を整理改造してもよろしい、實にこれが又近代都市計畫の實行手段であり、且レヂヨナル、プランニングの實行にも適合する。

從來は徒に建築敷地を增し或は埋立敷地等によりて財源を作ることのみに沒頭して、かんじんな都市計畫そのものゝ本義を忘れて居つた傾向がある、故に舊城跡の濠があればそれを埋立てゝ敷地とし、唯にその地の歷史的名蹟を失ふのみならず、反て都市をして非衛生、不愉快となし、或は愛敬すべき名勝舊蹟も只表面上の經濟理論に囚はれて取除かれ、それで經濟的と唱へ、悔を百年の後に遺して顧みないうらみがあつた、東京の如きも彼の美しき宮城の御濠を埋立てろ、狹めよ、隅を切つて電車の通行に便にせよ、多門の如き不經濟なものは毀て抔とかなり極端の議論もあつて、大分世間の非難をうけたこともある、而してこれ等が多く專門家の集りであるべき當局關係から出て居るのに驚かされたものだ。そして地方にあつては今も尙此樣の說をなすものが少くないのである、それについて自分は如何に先進國の歐米都市が斯る點に注意し愉快なる都市を造つて居るかを一二紹介して見たい。

彼の誰れでも知らぬものない佛國の首府巴里、これは都市計畫上必ず、標本として引合に出さるゝものであるが、その

巴里の美は主としてどこにあるかと云へば、ルーヴル宮（博物館）を中心とし、それからチユレリーの庭、コンコルドの廣場、シャンゼリゼーの大並樹道路からエトアールの大凱旋門を通つてボア・ド・ブーロンの大公園に至る中央部の市街地、或はトロカデロの廣場、セイヌ河の沿岸市街ルクサンブールの街路園等が主要となつて居ると云へ様、世界一の美都市の名は實に此等によつて得たるものである、そしてその多くはルイ王朝及ナポレヲン以降の改造、所謂シテー或はカルチエ、ラタン（羅甸部落）は今だに、羅馬時代から、中世紀へかけての遺蹟は勿論、古汚い、かしいだ長屋、裏店まで殘つて居る、要するにそれ等の歴史的遺蹟はこれを大に尊重しまた面倒な處は觸れずに新規に別に時代に適合するものを設けたのである、そしてそれが一面、巴里の歴史を誇り、巴里の美を語る材料となつたものであるがその美は寧ろ建築美よりも庭園化によつて得た賜物と云はねばならぬ。

獨逸の首都伯林は現代都市の最も優れたものゝ一つで今尚所々、整理が行はれ都市計畫上の一の手本とされて居る、然し實際に見た處では、冬枯に於ける此都市は、チアガルテン王宮、前の大寺、美術館と王宮を園としての廣場抔を除いては、彼の重苦くるしい、陰氣な塗家の町抔あまり感じの良いものではない、建築の如きはこれを巴里やウヰーンのそれ等に比しても新味こそあるが、藝術的に見て大分劣つて居る、故に建築的に見た伯林市街はこれを巴里、ウヰーン、ブダペスト等に比しては決して肩を並べられぬ、然るに夏分になつて、並樹は葉が繁り、街路を覆ふ季節になると、實に氣持の良い、そして美しい新鮮味のある都市となる、感心せぬ市街建築の多くは隱され、茲に世界に於て最も、感じの良い都となる、蓋し全市が緑化されるからであると云ふことになる。

獨逸のヌルンベルクも亦世界で名高い工業都市で、その生産物、器械等に依ては我國も大に便を得て居る、然るに此街が又獨逸では第一位に、しかも世界中でも最も優れた美しいそして興味ある都市として獨逸の誇りとされて居る。それは何によるかと云へば重な點は、舊城廓内の、歴史的建造物は寺は勿論、町屋、店舗でも、よく保存され、家の外には創建の年號が美しき額飾り又はブロンヅ文字に依つて張つけられ市街電車は極めて少數に制限されて、舊態を損せぬことに氣をつけ。城の濠は或は其水や城廓をいかして、景色を整へ、埋め立てゝは、樹木草花を植へて、庭園とし、工場や新市街は皆、城廓外に整つたる都市計畫のもとに新様式に依て建造されて居る爲で、丁度市街の中央に一帶一廓の美しき庭園があつてこれによつて新舊市街を連絡し又は區別もして結局庭園化して居るからである。

同じく獨逸　プレーメンの都市も亦獨逸内最美しき都の一つであるが、その主要なる理由も舊城廓をアンラーゲとなし濠は其儘利用して居ることで、これもプレーメンを庭園化せることによる。

都市の庭園化が如何に必要で、如何に現代的であるかは右の例でもわかるが、近年、年々に發達し行く米國の都市に於ては殆んど茲に重きを置いて居る様に見える、而して都市計畫の聲漸く盛に而もこれが實行期にはいつて居る我國の都市に於ては、まだ經濟的に許されぬ點や、實際上計畫委員達に

眞に都市計畫の意義や其性質を知られぬ爲か、實行が非常に遲れて居る感がある。

而して都市は火災の患、其他の災害の最も多い點から、耐震耐火的の建築とせねばならぬこと勿論だが、尙は大都市にあつては多くは其地理上の關係から、一朝外國と戰爭を開く場合、直に攻撃の目標とされる、併も將來の空中戰に於て第一に脅かさるゝものは、東京、大阪、名古屋、神戸等の海港地大都市である。海岸地の都市は何れも海と其都市の中央に貫く大河川により、飛行機爆彈の最も好き的となる。そして今の木造都市は半日にして燒滅さるゝ恐れがある。而も單なる鐵筋コンクリート造の高層建築とても、屋上より下階まで打貫かれ、爆發される患は、今は夢でないのである、然らばこれが防拒は如何にせばよろしきや即簡單なる手段としてはまづ屋上に庭園を設けて綠化し、所謂都市の林野的カモフラージュを行ふにある、歐洲大戰亂に當つて佛國が僞村落を本村落から離して造り、野原にカンバスを布て道路のカモフラージュを造つて村落の破壞を救ひ、繪畫の戰爭化を行つたことは名高い話であるが、我國の都市も一面かゝる用意に心を向けることも必要ではあるまいかと思ふ次第である、而して漸くして、建築は理想の鐵筋、鐵骨コンクリート造ともなるこれが自分が、都市の庭園化、實用化を高調する所以である

二　庭園ニナショナリテー

庭園は都市に於ては既に實用以上の大なる役目を持つことは前項に述べた、而してこれが扱ひ方は、野原ではない、空地的のものでもない。實用から見てもこれを裝飾的即ち藝術的に扱ふべきものであり、また然かすることが決して不經濟とはならぬ、而も是れによりて人々の精神を和げ、慰籍を與へることに至ては社會的に大なる使命を有つ、況んや庭園によりて都市の美觀と品格とを具ふるに於ては、もはやお飾物視すべきではない。

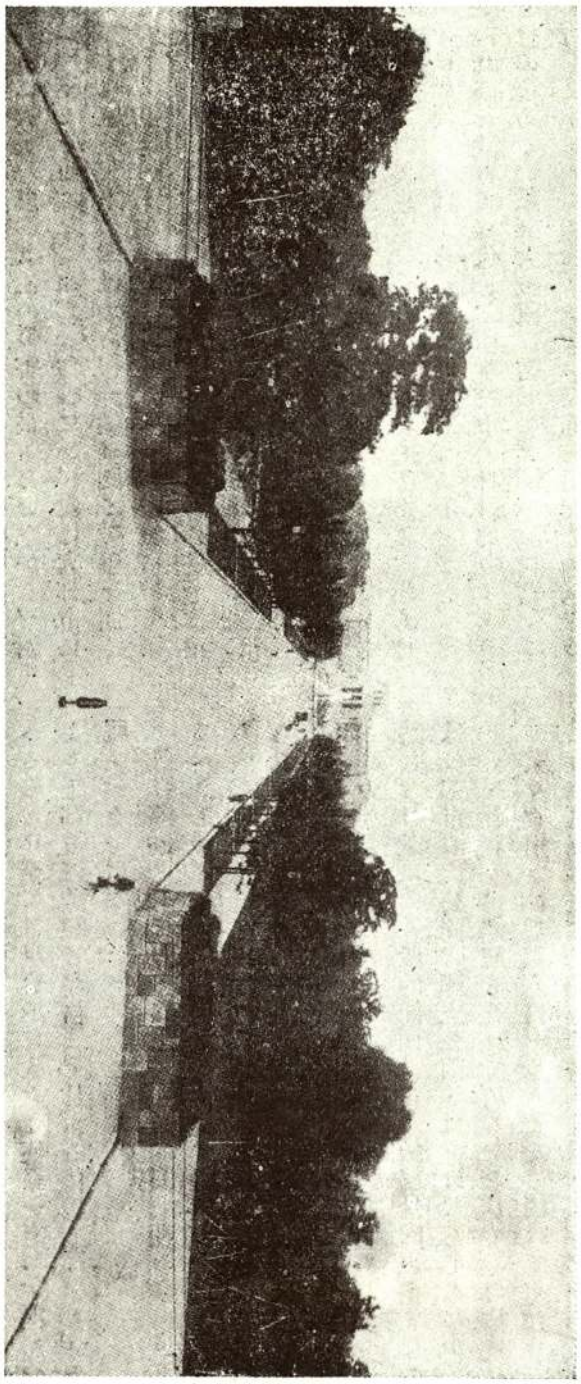
既に藝術として見る以上、そこに國民性の發揚があつて然るべきものと思ふ、藝術上から見て庭園の形式は、歐羅巴にあつては埃及、巴比倫以來數千年の歷史を有つ幾何的庭園と第十八世紀後英國から流行して歐米に及ぼした、自然風の庭園との二大別及びその折衷、混合の樣式とに分けらるゝが、それ〴〵その國に於ての特色乃ちナショナリーテイがある、然し今日歐米の一般的傾向は自然的風景園が主となつて居る殊に都市の大公園、國立公園等はそれならではなか〳〵纏り惡くゝもあり、歡迎もされて居る、そしてその結果日本庭園が處々利用されて、人目を惹きよろこばれて來た。

日本庭園は既に約千年の昔から自然風の庭園形式即ち南庭が出來て以來、一貫して自然風を以て特色として居る、無論歷史はそれ以前にも遡れるが、やはり自然風のものであつた近時洋風建築に伴ひ、幾何的形式のものが部分的に用ゐらるゝが、見るべき程のものがない、反之、茶庭の如きは室町時代即ち約四百餘年の昔から大なる發達をとげ、極めて一少區劃に、深山幽谷の樣を寫し、或は頗る宏大なる景色の趣を表はし、自然の風景、天然の心持を寫すことに於て、世界に於て卓越せる技術を示して居る、而もそれは獨り一少區劃に限らるゝのみならず、かなり廣き面積にも應用されて居り、能くそこに我が國民性を表はして居ると見ることが出來る、私

はその精神、風情を以て泰西の庭園を扱つたならば、これをあしらふ對照物が洋館であらうと、日本屋であらうと良く調和し得るものと信ずるのである。

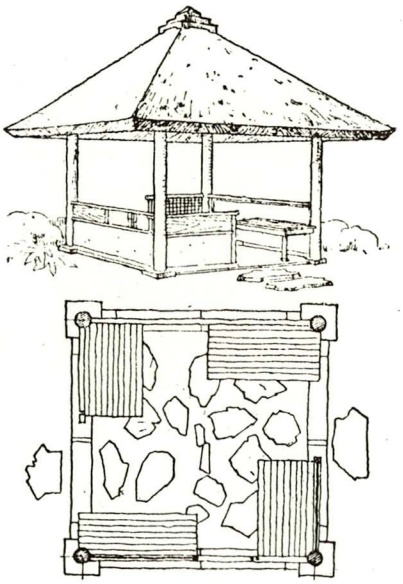
然し強て茶庭を應用せよと推賞するわけではない、近代の文化住宅が徒に歐米の安値バンガルーを眞似て、後悔を來たして居るものが多いと同樣に只西洋風の幾何的庭園を眞似てハイカラがり古來の優秀なる日本庭園を箱庭視するに及ぶと云ふのである。獨逸や和蘭に於ける長屋建築を眞似て最新式と唱へそれを寫して公共建築、官衙建築に新味をよろこぶと同樣に只洋式々々と眞似は愚であると思ふのである。既に、歐米が一般に自然式風景園を歡迎さるゝ際　自然式に最も優れたる技術を示す日本庭園を利用し、その精神を活すことに始めて、我國の庭園として意義あり、そこに藝術として眞價を見出すと云ふのである。

（昭和二年九月未稿）



明治神宮外苑

青山口正門より表參道記念競技場を望む



カットの説明
卍字亭は一名四ツの腰掛とも稱へ桂離宮内景勝の一角にあり、當初の御建物は全く廢頽に歸し、現今のものは文化二年の再建にかゝる。柱は杉丸太、屋根は方形茅葺、外部四周は吹抜き腰砂壁、内部に卍字形板張り四ツの腰掛を設け、天井は凡て化粧屋根裏の數奇を凝らせる御建物で、特長とも云ふべきは四ツの腰掛の配置の妙を得たるにあると賞せらるゝ

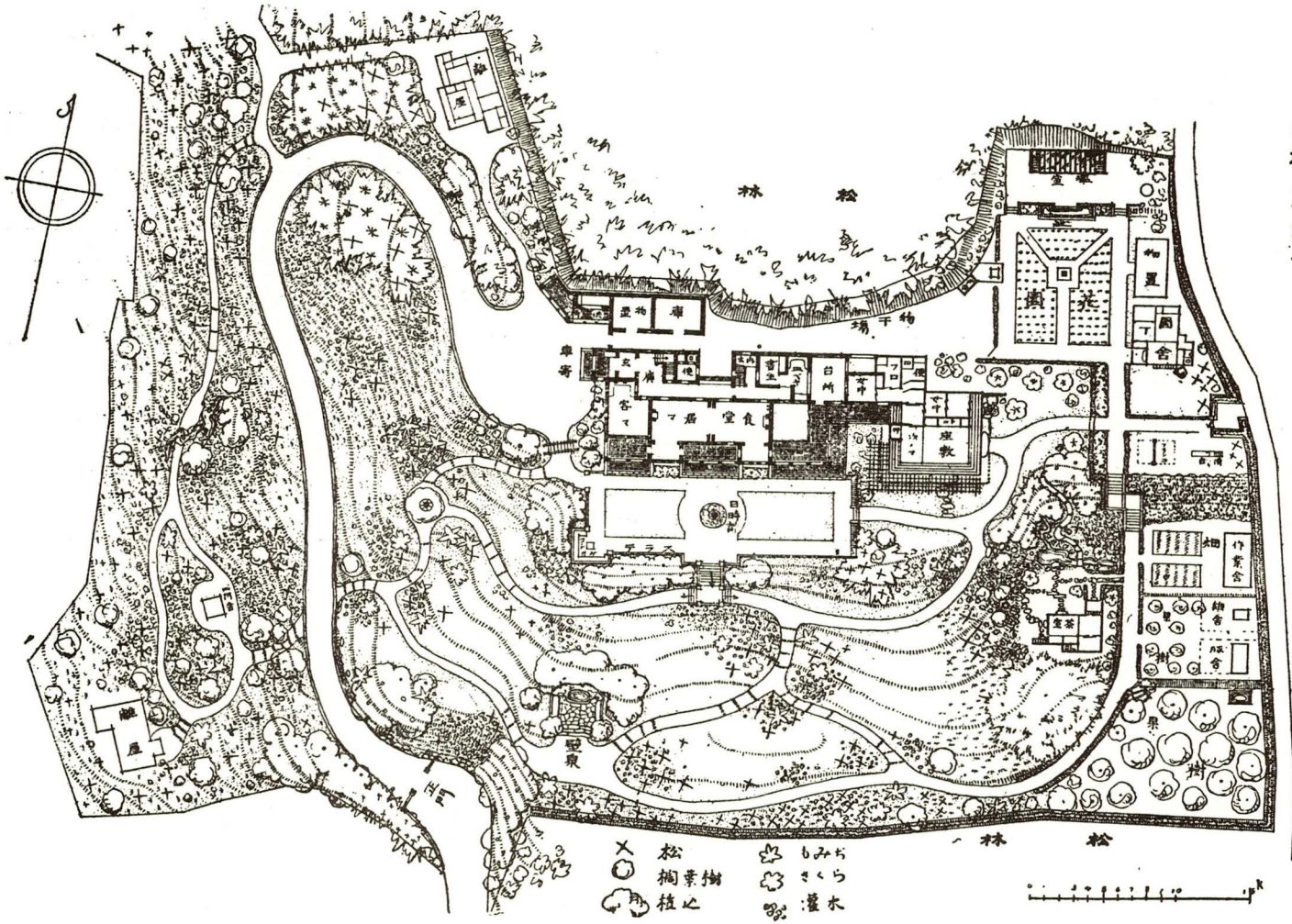
庭の建物に就て

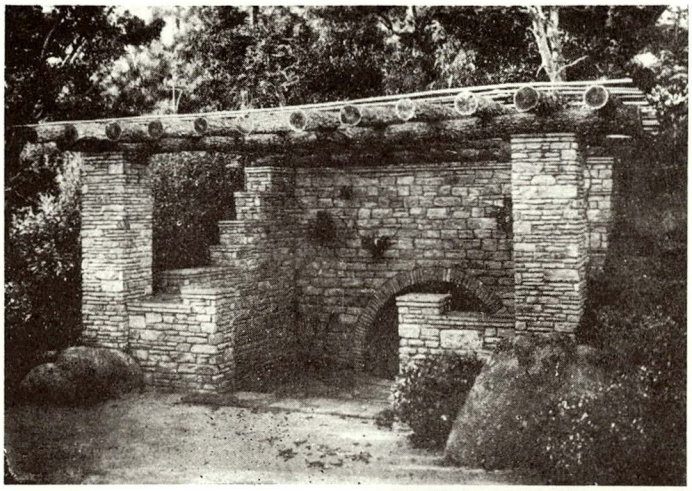
大阪市公園課長　椎原兵市

庭園が綜合藝術である以上、單に生きたる樹木や草苔、又は無生物であつても比較的自然性を保有する水や土石を主とした風景だけでは其の綜合美は達せられない。また庭園が我々實生活に融合して使用さるべきものである以上、實用の上から無生物たる石とか木材、セメント將又金屬を以て構成せられた造營物が必然の材料となり、必須の設備となるのは言ふまでもない。

殊に住宅庭園に於ては住居の本體たる建物と庭園とを引くるめて一丸となし、廣義に於ける一つの建築となり、庭園となるのである。即ち何處迄が建築であるか、何れからが庭園であるか判然たる區別が出來ざる迄でに相互が融合して、始めて其の實用も、其の觀賞も滿足を得られるのである。かるが故に、今一段建築家は庭園を、造園家は建築を研究し、互に理解を以て同一標的の爲めに努力されむ事を、我が建築界と造園界に熱望してやまない。彼の不世出の小堀遠州の如く、又は例を歐洲に求むれば、佛のル　ノートル、英のウイルアム　チンバー、伊のバルトロメオ　アナマッチの如き何れも建築家にして造園家で何れも非凡の傑作を殘してゐるではないか。我國の現今の如く建築と造園が殆ど沒交渉に行はれてゐる間は、何れも眞の發達は期し難い、斯の道にあるもの昔時に學ぶ所あらねばならぬ。

偖て一概に庭園建造物といつても、勿論和洋兩式によつてソレ〴〵の特長があるから、同一に論ずることは出來ぬが、畢竟するに茲でいふ建築物は、一つの獨立した建物（例へば茶室等）といふ嚴格の意義でなく、造園上必須の工作物と、庭園構成の上に必要な、庭園家具等も併せて汎い意味を含ん


林　松
林　松
林　松
面積三千五百坪
松　山
播津、芦屋
山本静次郎氏庭園平面圖
松
掬景物
植込
もみぢ
さくら
灌水



山本邸の
ペルゴラと
テレスガーデン



だものである。

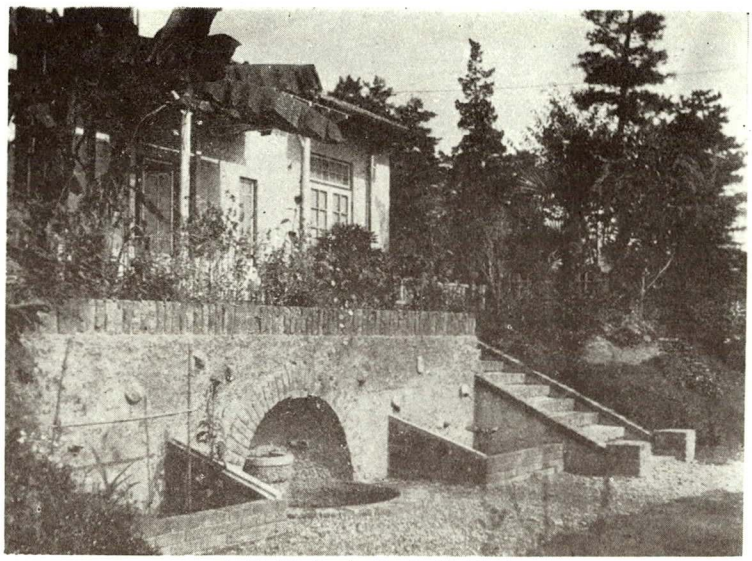
そこで庭園建造物には造園上から起つた造營物、或は庭園を利用する上に必要な實用的の設備であるものに、色々意匠を凝して美的加工を施したものと。もと〳〵實用的に立脚しながらいつしか裝飾化したもの、及び全然それ等と立場を異にした、裝飾否觀賞本位の添景物との區別がある。前者に屬するものは階段、石垣、庭橋、亭榭、後者は噴水池、花鉢、立像等でその中間に位するものは、燈籠、手水鉢、飾井筒等の如きものである。

然るに現今の時勢からこれ等庭園建造物の使命を考へて見ると、元來庭園の目的は自然を寫して吾人の生活に融合せしむるにあるので、その構成材料は主に木材、石類の素材を求むべきである。即ち櫟、栗、檜等の皮付き丸太や、挽き材そのまゝにて鉋削を施さゞるもの、又は石材にしても成るべく天然裸をそのまゝ使用すべきである。が餘りに自然に偏重して日常生活の實用性を全然沒却してはならぬ。そこで自然と人工との適當な調和を保ち、家屋と庭園とを結び付ける連鎖たるべき大切な役目を果たす爲に、各種の庭園建造物は樣式の如何を問はず、造園上缺くことの出來ぬ重要な任務を持つものである。

今庭園建造物の種類を例記して見れば。觀賞を本位とした日本庭園に於ては石燈籠石塔、手水鉢、井筒、庭橋、庭門、藤棚類綠亭、袖垣、垣根、各種亭榭、茶室、雪隱供待、階段、飛石等であるが、洋風庭園には、此の他露壇池泉、噴水、壁泉、綠廊、綠門、鋪石道、花臺、花箱、花鉢、腰掛、

楊、日時計、塑像、鳥浴臺、飲水塔、照明塔、音樂堂、野外劇場、其他スタンド等各種あり各々其の造なり意匠なり十分の考究を重ぬべきものがある。

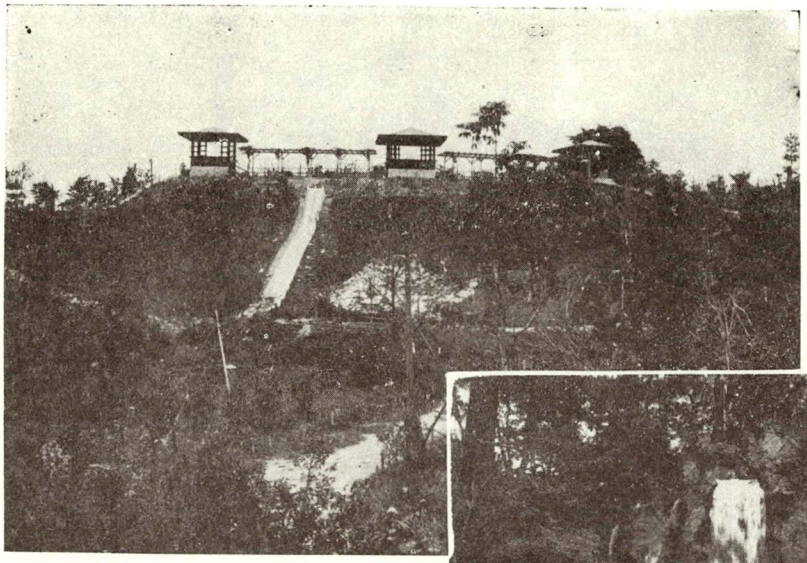
次に之れ等建造物の配置や意匠は、その庭園の樣式と主なる建物の形式とによりて、適當に考究され按配されるものであるが是れからの庭園は新興日本式建築の出現と同時に新裝の庭園建造物も之れに追從せねばならぬ。徒らに泰西の美を憧憬して歐風そのまゝを移入しても、又茶道式に重きをなした、雅趣一點張りの和風をそのまゝ採りても、その當を得ざる時は所謂「木に竹を繼いだ」樣な弊に陷り易いのである。要するに古來の典型的のものを十二分に研究し先人の努力の蹟をよく考察しての上で將來進むべき思想に適合する新工風を凝らすべきであらう。



千里村片山松本邸壁泉

次に建造物の實例を寫眞に照して述ぶれば、多くの場合庭園建造物は『適材適所』の金言の如く、その敷地の地勢より土木上または庭園の構成上、將又實用上の必要に應じて始めて設くべきもので、之れを利用する上からも實用と觀賞の兩方面から色々と應用工夫し、意匠を凝らし『生きたる』建造物とするのが要適である。

松本邸の壁泉——寫眞が示す如く地形が二段の臺地（約六尺五寸の差）より成り、上臺は平坦地が狹く壁泉の前後の如きは通行にも支障を來し、建物保存上からも土留壁を必要としてゐた。處が斜面の中腹に土留兼用に噴水池を持つ垂直壁を設けたところ上部には花箱、下部にはプールの左右にフレーム迄設けても尙十分なる餘地を造り得たのである。而して餘り廣からざる庭園に於て單に廣場、花壇、壁泉フレーム等の庭園構成上の價値を發揮せしめたのみならず一種の建築的風景を作り得たのである。尙中央は芝生で左右に半圓形の花壇ありてこれ等が整形式の通路を以て形ち造られ、その外周は常綠樹を主とした植込みの極めて簡單な庭園である『テレス　ガーデン』之は高一尺八寸巾一尺五寸、腰部は丹波石三四寸より尺迄の野面ものを、可成平らな面を表に使ひ積上げ天端笠石は鐵平石厚一寸五分巾廣のものを一枚列べに張つてある。又鋪石は同じく鐵平石大小取交せ不規則にシックイ粘土にて張付け、目地は殊に廣く巾二寸乃至三寸となし芝生を植へて鋪石道のやゝもすれば俚化せんとする感じを柔かく融和せしめむとした。



千里山遊園地の瀧と大滑臺



法で何か庭園建造物に應用して見たいと心願してゐた、幸ひ山本氏は拙案を入れて呉れて願意が達せられた事なのである。何分石割や積石の職工が初めてなので、折角のものも初めの程は思ふ通りの成績が出ず、漸く半ば頃より職工も熟達した有様で可なり積み方には苦心した石採りは云ふ迄もなく、薄く長く割りて大小取交せ目地大に不規則ながらも水平に積み上げねばならぬ。石の産地は新和歌の浦の崎に當る雜賀崎村である。

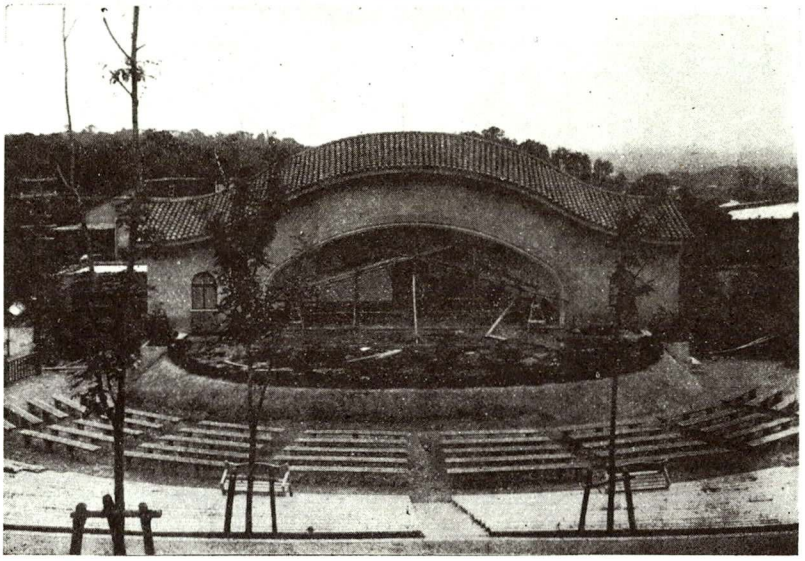
松本邸の壁泉

ラパー瀧——も一種の建造物であるが、地勢と誠に恰好の地形を發見せしにより利用して見た。瀧高約三十八尺餘瀧壺約二十坪、護岸の岩は、靜岡縣産の黒砂石、硬質で赤味のある黒い熔岩（ラパー）で、此の石の特長とする處は、數個を組み合せて、如何なる大きさの岩石でも造り得て、その石と石の繼ぎ合せ目が目立たない處にある。故に瀧等の大岩石を造るには最も適當な石材で價格も安値に運搬も手輕のものである。此の石は京阪神地方には餘り使用されてゐぬが東京地方には可なり古くより使用されてゐる。黒砂石で思ひ出したが、帝都の明治神宮の神橋々臺に使用されてゐる天然石は從來造園にかき感じのする青味の細石積みの塀や石垣を、ペルゴラは夏季の涼室として冬季の温室として工風した休憩所である。

自分は曾て和歌の浦に遊びし都度、彼の郷土の家敷廻りに見る柔あのまゝの手



千里山遊園地の二階を有つ四阿舎と音樂堂を兼ねた野外劇場



のを運搬上から數個に切取りて再び現場に以前と同一の形に組立てゝある。一見せし處、如何にも運搬上不可能の大石として驚嘆させられる。如斯庭園建造物もその材料の選定が必要で未だ〳〵適當のものが發見さるべきであらう。

大滑臺——この滑り臺も地形を利用し、專ら其の附近の風致に調和せしめんと工夫して築造したものである。コンクリート製で巾四尺(二列)延長九十餘尺、傾斜角度四十五度より二十七度位までを波狀形に依りて連絡統一した。先づスタート附近は四十五度の角度なるにより使用者は急速に滑走をなし得べく其の惰勢に依りて下方、緩傾斜部を一氣に突破し得べき裝置である。

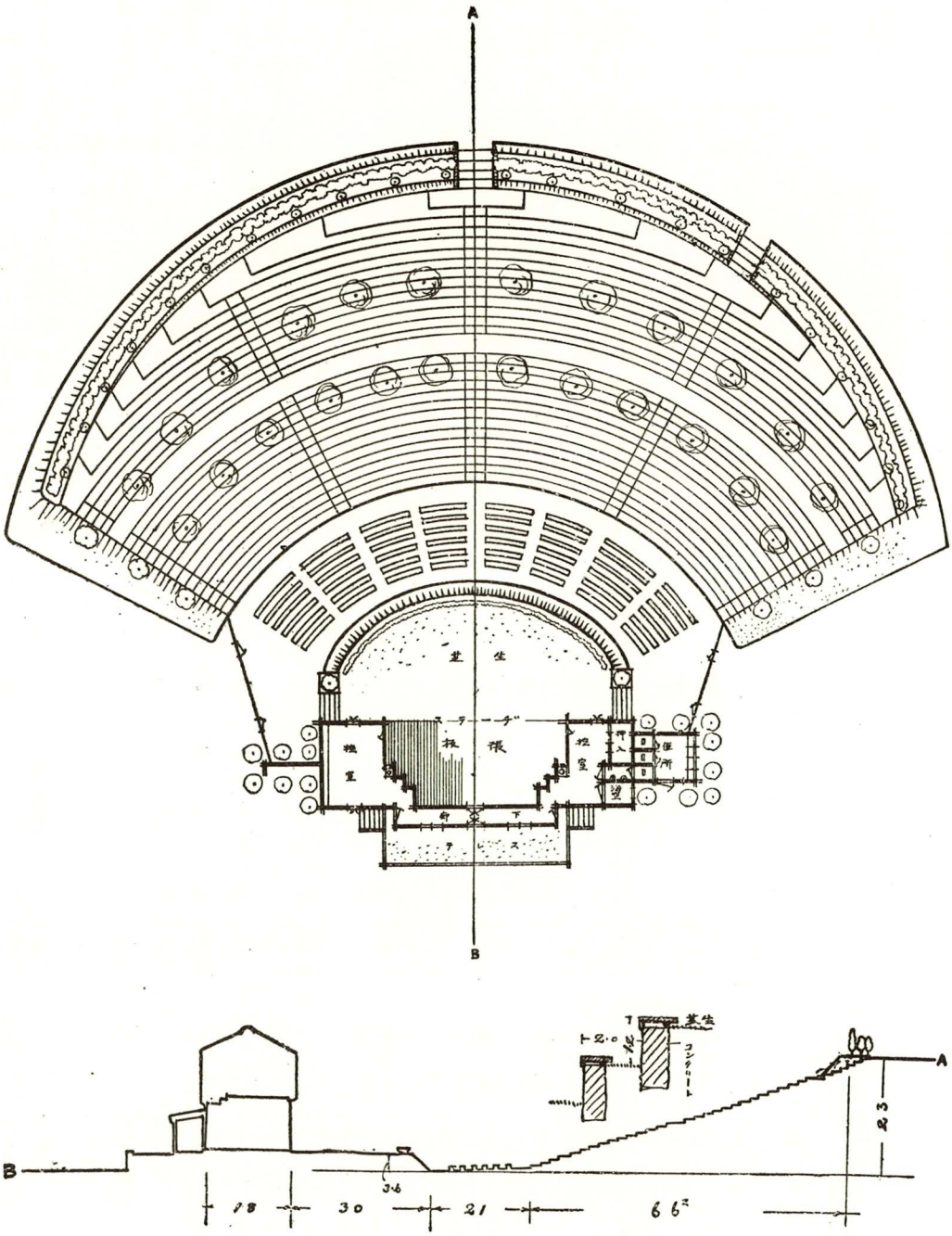
は使用せられざりし大谷石を使用してゐる。これは石山の天然のもの

音樂堂とスタンド

音樂堂を兼ねた野外劇場、建物としては三間に六間半のステーヂと他に芝生ステーヂを配し(挿繪參照)其の他に控室、廊下、押入、浴室、便所等である。

ステーヂに芝生を使用したことは努めて野外の氣分を表は

千里山遊園地野外劇場平面圖と斷面圖



千里山遊園地は新京阪電鐵の經營になるものにて昨年七月より改造工事に着手し本年九月迄約十二萬圓を投じて完成せるもの。

園内には大瀧、泉池、大芝生地、樹林擢草地、花壇等の風致的設備より、運動場、徒渉池、遊戲場、動物園、野外劇場、迷園等の体育、智育的の設備、並に展望臺、飛行塔、休憩所、喫茶店等完備せる近代的遊園地ならむ。

したい積りで音響を傳へるには多少の障害となるがコンクリート鋪裝よりもやわらかい音を傳へる事が出來る。ステーヂよりスタンドの外邊まで約百尺あるが微妙なヴワイオリンの音を聽くことが出來た。

スタンドは多くの土工を用せずして斯の如き地形を得た。廣さは約四百坪にして二十七段のコンクリート階段と其前面に配備した腰掛により三千人の定席あり尙通路等を利用すれば更に七八百人の人員を收容することが出來ると思ふ。

スタンドの中腹には放射形にアカシヤを植へ日蔭を作り外圍にはサンゴ樹の生垣を設く、スタンドの踏面は芝生を張り付けたことは夏期の灼熱と美觀の効果を收めるため。

二階を有つ四阿舍、これも地形を應用した一例で上段下段の廣場は共に兒童の遊戲場に當てられてゐて最も人の多く集まる處で利用上の便宜はもとより二階よりの眺めもよく又左側の渉水池に影する容姿も至極風雅である。



時代の要求する新建築

會員　八木幸次郎

好ましからざる文化の發達

此の四五年の間から東京や大阪のやうな都市の、シビックセンターを歩いて居る人が、最も變つた現象として眼に映るものゝ中で、汗苦しいものは何と云つても滿員鈴成りの電車と、織るが如く疾驅して雨天の時には遠慮なく一張羅に泥濘を浴せ掛ける自動車の激增であらうと思ふ。尤も自分は下層プロの一人だから餘りこの現象には好感を持つてゐないのみか、寧ろ貧者の嫉妬から憎惡して居る一人であるが、裏翁の馬が、リンドバーグの飛行機に變つた今日、やがてブルの御仲間入りをすることがあれば、この汗苦しいブラサガル悲哀も、一張羅を汚す心配も無くなつて、涼しい顏をして居られるかも知れぬ。

つい先頃東京の眞中で子供の時に珍らしかつたマッチ箱のやうな電車の車掌が、切符を切りにでも中へ這入つたものか車掌臺を御留守にした瞬間を利用して飛乘飛降をやつて、警官の御目玉を頂戴したことも覺えて居る。又道路と云ふものは我々の唯一の遊戲場で、最も面白かつた少年時代を樂しい遊戲で暮さしてくれたことも覺えて居るが、今日の少年に到底此の氣分は味へぬものとなつたことを考へて見ると、成程都市の綠化運動とか公園の必要とか云ふ問題は、痛切に頭に響いて來るやうな氣がする。此の種の問題は私の考では、今日の成人の如きその少年時代を街路遊戲で暮して來た上に、人口過剩の爲の生存競爭に追はれて居る樣な者に、百萬遍御說敎をしたとてつひ現實のみを考へるのが人情で餘り效果がないものと思はれるが、飜つて樂しかつた腕白時代を追想するに及んで、茲に何人も否定することが出來ぬ都市問題の妙味が生れて來ることであらう。從つて田舍育の御歷々には都市の綠化運動なんか、自分の家の猫額的庭園の綠化よりもつまらぬことゝ思ふものがあるかも知れぬ。

文化の發達誠に結構のやうなものだが、往來を濶歩するに命懸でなければならない理屈は餘り感心出來ないものと思つて居る。神は人間の濫造に對する制裁を交通の危險を以て調節する思召かは知らぬが、調節される者もされぬ者もひとし

く文化の發達がやがて人間の呪ふべき運命を暗示してゐる樣な氣になることであらう。

健全にして偉大なる體軀と美しい人情を持つた我が祖先が日に日に痩せ衰へる倭小な體軀と利己的に神經質な感情を持つものが多くなつた後裔を視る時は、過去の無智なるが爲に起つた不幸よりも、現在の悧巧なるが爲に生ずる禍の方が遙に危險で、文化の發達といふものは已むを得ぬものとしても最早これ以上には不必要なものであると思ふことであらう。

私は今日の如く文化の發達に貢獻することを以て、人間の義務と心得て居る者が多い樣では、人間が好んで自らの呪ふ可き運命を開拓しつゝある樣な結果になりはしないかと、密に心配し出し度くなるものである。近き將來に於て文化の發達をば如何にすれば停止せしめ得るかと云ふ事を考へる必要も生じて走やしないかとも考へられる。親は子に子は孫に浮世の辛味をば益深刻化しつゝ傳統する現狀は、どう考へても面白くないのは情ないことではないか。

自動車の激增と市街地に於ける格納の苦心

自働車は增加する益多くなるに違ひないとは誰でも考へて居る處であるが、之を都市の中心に於て如何にして格納すべきかと云ふ事は愈困難な問題になるに違ひない。成程都市の中心になんか置くのは野暮と云へば或は野暮かも知れぬ。御本尊は迅速に走るのが生命なのだから四哩や五哩位離れて置いても差支ないかも知れぬ。けれども自働車といふものは運轉する者が居なければ動く譯にはいかぬし、運轉手だつて年中車中に生活して居る譯にはいかぬから、これが都市の中心迄出勤するには大々相當な時間はかゝる譯である。現在では二三十分位の時間は大部分の人々には餘り貴重なものではないかも知れぬが、末恐ろしいのは文化の發達だから、將來必ず一刻の時間でも甚だ貴重なものとならなければならぬもので、何と云つても都市の中心に車庫を持つと云ふ事は最も必要なる條件の一つになるべき筈であらう。自働車といふものは道路を走つて居る間は、圖體は餘り大きく感じられないが之を格納するとなると邪魔な程面積をとるものである。高價なる土地、益騰貴すべき傾向にある借地權、愈面倒になるべき移轉料の三者に更に建物の價格を賠償して後車庫を造るといふ事は、今後容易ならざることゝなつて、當然借家にて我慢しなければならないことゝなつてしまふであらう。であるから勿論隨分高い家賃を拂はねばならぬことは自然の道理でなければならぬ。

茲に於て建築としては簡單で濟む性質で工費低廉にして相當收益のある、人間相手ではなくて自働車相手の車庫ビルと云ふ好ましからざる文化の發達の產物が建築界に出現することも遠くはあるまいと思つて居る。

平面的の平家建ガレーヂでは迚も收容し切れないとすれば比較的安い建築費を以て足る未成品のやうな車庫ビルの出現も已むを得ぬことではあるが、建築の藝術的價値を疑はしむる樣なものは誠に有り難くないものである。更に在來のビルヂングを車庫ビルに變更する方が有利になることも有り得べき事であるとすれば、建築として一層面白くないのを見ることになるであらう。

そこで車庫ビルのやうなものは成る可くエレベーターを利用して、樂天地のやうに自働車昇降口を外に出すことは避けたいと思ふが、外に出す方が經濟且便利であるとすれば、自然の勢で不細工なビルヂングが出來上る譯になつて來るだらう

私は文化の發達誠に當然至極と思つて居るが、日に日に便利上經濟上といふ生存競爭の原理の爲めに已むを得ざる理由から建築の藝術的方面の特色が次第に淺薄皮相の觀を呈する樣になり、實用方面にのみ重きを置かれて行く傾向を見て、純眞愛すべき性質の所有者である幼年が、成人するに從つて卑しむべき幾多の性質を兼備することの樣に考へられて、すくなくともこんな事を書いて居る間は頗る不滿に堪えない樣な氣がして、所謂昔のギリシヤ、ローマが戀しいものか何とも云へない氣持がしてならないのである。

而し乍ら未だ藝術を味ふやうな餘裕が出ないせいか、不滿堪え難しといふ樣な過激な文句を使ふ氣にはならないが、好ましからざる文化の發達の禍がそろ〳〵各方面に具體的に表はれて來た樣な氣がして、如何にも浮世といふものが住み難い殺風景なものであるといふ感が年を逐うて深刻に考へられて來るから、自分ながら生存競爭の敗者かなとも思つて見ると、天理敎や金光敎の存在も成る程ねと考へられた。

上海の名所龍華塔大破す

落雷の爲め見物人死傷



【上海三日發電通】上海名所の一たる龍華塔（西曆紀元前二三十年前建設の七重の塔）に九月二日午後九時頃落雷し折柄見物中の一名は感電即死し、一名は負傷したが、塔は大修理を要する程の損傷を蒙つた（寫眞は龍華塔）

高樓まさに崩る

家と地震と戰ふ實驗室

黒幕で閉ざされた暗室の中で、幻燈のやうに様々なレンズの仕掛のある器械。前方のスクリーンに虹のやうなものが、映つてゐる。

『試驗片に力を與へると、それ、向ふへ色が變つて映るでせう。そこで力の分布狀態が解る。光線によつて力學を應用した光彈性試驗器といつて建物の横に出たとか曲つたとか太い所とかつまり不連續線を研究すのです』

東大工學部層築學佐野利器博士の實驗室である。

博士は人も知る建築學の權威、復興途上にある官公立の建造物とは大抵深い關係をもつてかまどから油を吹き込みそれがガス體となつて火事以上の攝氏一、二〇〇度位の高熱を送る。そこへ試驗物を當てる耐火試驗裝置。コンクリートの熱の傳導率の研究等々……地震國を背負つてゐるだけに博士の研究は專ら耐震に注がれてゐる昨年の汎太平洋學術會議で外國學者が興味と注意を起し世界一だと賞揚したのは耐震構造についての研究であつた。その外國學者が『これはすばらしい是非……』と云つて博士の研究室から設計圖を持つて歸つた實驗機械がある。

『振動臺』といひ『人工地震動機』とも云ふ。スヰツチを入れるとひとりで地震を起す。ハンドルによつて地震が强くでも弱くでもなる。そこで臺の上に七階建國技館のやうな丸い建物、或は塔等の模型を置き、地震の振動周期と建物の振動周期との關係を研究する。

博士はそこで鐵骨七階建の模型によつて實驗して見せてくれた。ガタ、ガタ、ガタ……今この七階建は實際にゆれ始めるそれ地震だ！　二三階が最もゆれてゐる其のうちにガラ〳〵と來る。アッ！　と模型ながらそのゆれかたにびつくりするこゝが地震の振動周期と建物の振動周期との合つた第一次の最も危險な時だん〳〵地震が强くなる　搖れはさう激しくない。とまたガラ〳〵と來る。これが第二次の周期が合つた時。だが大抵は第一次でやられるとのことだ。だから建物はこの周期の合はないやうに建築するのが第一。それには逆に重く大きくすればいゝ。がさうすると反對に遠方——たとへば臺灣とか樺太とかの地震に合ふからやつぱり輕くぎつしり締めてゐるのが一番安全なことになる。

これを見ては外國學者が驚嘆の聲を放つのも無理はない。所が最近又『實動臺』といふ機械が博士の實驗室に出來た。それは實際にあつた地震の記錄を眞鑄のシリンダーの上に寫してその廻轉によつて再び地震を現し模型により振動の研究をするのだ。

これをまた外國學者が見たら『おゝ』と叫んで眼を丸くするだらう。兎も角博士の耐震構造研究は地震國に生活するわれわれの最も意を强くするところだ。

（國民）

◇　◇　◇



衛生上より觀たる庭園

農學博士　大屋靈城

（一）

衛生上より觀て住宅に庭園の必要なるは主として通風と日照と空氣の清淨と云ふこの三つの點である。暗い陰氣な濕氣の多い小さな部屋に住む人は顏色青く頰骨出張り骨格軟化して佝僂病リューマチスの如き病的體格となり所謂筋骨薄弱の狀態となる。この影響は子供の時代に徹して脊丈や胸圍の發育狀態に大なる差異が顯はれる。

今その一例として學校衛生官が東京の學童に就て調べた調査の結果を擧げて見よう。

東京に於て山ノ手の富有區の代表として學習院、女子高等師範附屬小學校、曉星小學、精華小學、成城小學、二葉小學誠之小學の男子二、〇五〇名、女子一、六五一名及び貧乏區の代表として萬年小學校、鮫ヶ淵小學校、芝浦小學校、靈岸島小學校、玉姫小學校の男子一、六九八名、女子一、六六三名に就て調査したるに明瞭にこの兩者の間に身長、體重、胸圍に就て富區は貧區に優つてゐる。

一、身長（單位尺）				
年齡（歲）	富男	貧男	富女	貧女
七	三、六三	三、五四	三、六一	三、四八
八	三、八一	三、六七	三、八〇	三、六三
九	四、〇一	三、八四	三、九七	三、八二
一〇	四、一七	三、九八	四、一二	三、九三
一一	四、三二	四、一三	四、二七	四、一一
一二	四、四七	四、二六	四、四四	四、二五
一三	四、五二	四、三七	四、六三	四、三七

二、體重（單位貫）				
年齡（歲）	富男	貧男	富女	貧女
七	四、七七六	四、五五三	四、七六四	四、四九六
八	五、二三八	五、〇〇七	五、二〇〇	四、九五二
九	五、八四九	五、七六七	五、八〇二	五、五八一
一〇	六、三一九	六、一三一	六、二四二	五、九二六

一一　七、〇八六　六、六〇二　六、八九二　六、三二〇
一二　七、七六二　七、一八一　七、六一〇　七、二一九
一三　七、九八四　七、六二四　八、五三九　八、〇二九

三、胸　圍（單位尺）

年齡（歳）	富　男	貧　男	富　女	貧　女
七	一、七九	一、七八	一、七二	一、六八
八	一、八一	一、八三	一、七八	一、七六
九	一、九〇	一、八九	一、八五	一、八三
一〇	一、九七	一、九三	一、八八	一、九一
一一	二、〇四	一、九九	一、九四	一、九三
一二	二、一一	二、〇六	二、〇一	二、〇〇
一三	二、一一	二、一六	二、〇七	二、〇九

以上の成績より見れば明かに富區の兒童は貧區の兒童より優秀な體格を有するがその原因は果して何にあるだらう。勿論食物其他生活程度の差異にもよる事であるには違ひないが主として住宅環境の差異から來たものであると私は信ずる。卽ち山ノ手は一般に住宅疎にして樹林鬱蒼として一見田園の如き觀あるに反して下町は蒸し返す如き甍壁の波である。そこに何等のグリーンなく僅かの空地も見出されぬ、而も漾々たる塵埃と煤煙に蔽はれ太陽の光線其物に於ても山ノ手の如き汚染しない眞のスカイライトを受ける事が出來ない。

この原因が主として庭園、樹林と云ふ如き空地的環境にある事は次の調査によつて尙一層確かめられる。それは同じような調査を大阪の富區（船場　島の内）と貧區（九條、福島、堀江）に於て行つた結果は貧區の方が身長、體重に於ては東京と同じく富區に劣るが胸圍のみは却つて富區に優つて居ると云ふ豫期せぬ成績が顯はれた事である。これ全く大阪の富區である船場島の內地方は空地的には貧區と大なる差異がなく庭園樹林又は空地も空氣の新鮮度に於ても東京の山ノ手の如き觀を呈して居ない爲に生じた結果だと思ふ。

卽ち成績は次の如きものである。

一、身　長（尺）

年齡	富　男	貧　男	富　女	貧　女
七	三、六〇	三、五一	三、五二	三、四九
八	三、二八	三、七三	三、七四	三、六六
九	三、九五	三、八五	三、九〇	三、七五
一〇	四、〇七	四、〇二	三、九九	三、八九
一一	四、二一	四、一四	四、二四	四、〇九
一二	四、四〇	四、三〇	四、三四	四、二七
一三	四、四五	四　三六	———	———

二、體　重（貫）

年齡	富　男	貧　男	富　女	貧　女
七	四、八〇	四、七三	四、六四	四、五五
八	五、二〇	五、一五	四、九九	四、八五
九	五、八九	五、八四	五、五六	五、四五
一〇	六、一七	六、二一	六、一一	六、〇四
一一	六、九二	六、七〇	六、八一	六、四九
一二	七、六六	七、五一	七、四〇	七、二六
一三	七、四五	七、四五	———	———

三、胸　圍（尺）

年齡	富　男	富　女	貧　男	貧　女
七	一、七四	一、七六	一、六五	一、七二
八	一、七七	一、八四	一、七二	一、七六

九	一、八五	一、八七	一、七五	一、八一	
一〇	一、九〇	一、九四	一、八一	一、八八	
一一	一、九四	一、九六	一、八八	一、九二	
一二	一、九四	二、〇六	一、九四	一、九九	

斯の如く環境は人間の體格に徹しき影響を與へ特に婦女子にはその缺陷の爲に勞働に耐ゆる力を失ひ分娩を困難ならしめる等の悪い結果を及ぼすものである。

（二）

陽光が不充分であれば乾燥も遲々として思はしくないから家の中は暗くて冷やかで濕潤に成り勝ちとなる。水は常に空中に水蒸氣となつて發散するがその際には多大の熱を吸收することが必要である。即ち一瓦の水が氣化する爲には五三六カロリーの熱が要る譯であるが、これだけの熱はその周圍の何から取り去られなければならぬ。若し人が濕氣の多い疊の上や壁の傍に座して居るとすれば人體の表面からこの熱が奪はれるのである。從つて體溫を保つ爲に如何に厚着をしても火にあたつても體の溫たまる手段がない即ち絶えず體溫が失はれると惡寒を覺える。又厚着や摩擦によつて皮膚を損ずると外溫の變化に對する調節機能が鈍くなるからインフルエンザ、リユーマチユ、肺尖等に罹り易く濕氣がある爲に破傷風や結核病の細菌の繁殖が徹しく促進され傳染の機會を多くする。

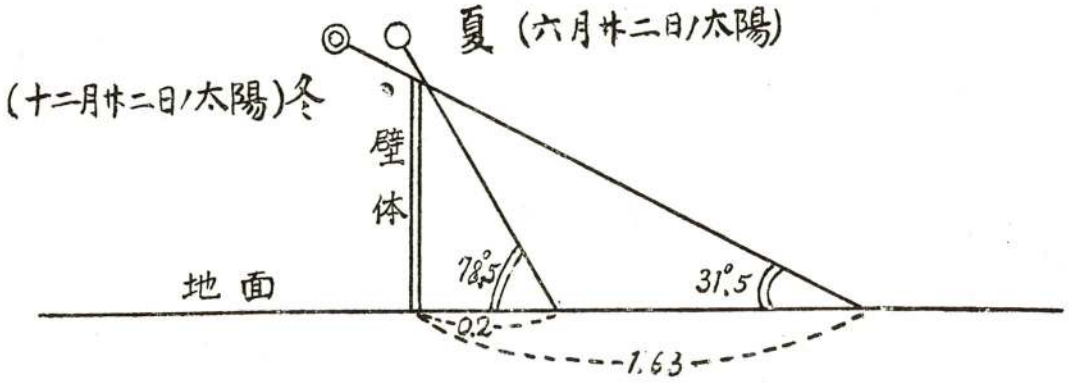
これ等の水濕は多く樹木のない地下水の高い場所で周圍が壁を以て圍まれた日當り惡き地點に多いから庭のない暗い家に住んで居ると害される譯である。

又陽光其ものゝ人體に及ぼす影響の大なる事は想像以上であつて今日の衛生學者は一に陽光二に空氣三に食物であると云つて居る。即ち人體には食物と云ふ事榮養と云ふ事以上に光線及空氣と云ふものが重大なる關係あるものであるとされて居る。陽光に依て最も人體内に著しい變化は白血球の增加である。即ち體内の新陳代謝がこの陽光を空氣との刺戟によつて盛になれば消化吸收等は自ら良好となる譯である。されば住宅は成るべく空氣の流通をよくし太陽の光線の室内に直射し得る如き施設を必要とするのである。これが爲には如何にしても建物の周圍に相當の空地を保留して近隣の家屋との分離を計らねばならぬ。茲に於て庭園の衛生的價値が生ずるものである。

吾人々類の生棲に一定の空氣の絶對容積が必要なる事は申す迄もないがその空氣が常に換氣によつて新鮮なるものと交代せざれば住宅内の爽かさを保つ事が出來ない。

この空氣をして常に新鮮なるものとして住宅の各室内に送り込ませる爲には家の周圍が相當の植込みや芝生によつて繞らされる事が最も都合よいと思ふ。新鮮なる空氣は海上か高山の頂に行けば苦もなく求められるが都會の内部ではこれを得る事は容易でない。植物の葉面がこの空氣を濾過する一種の不可思議な力を持つて居ると植物學者は說くがそれは單に化學的のみならず物理的にも然る事が信ぜられて居る。

陽光の種々の細菌に對する殺菌作用の大なる事や新鮮なる空氣が體内の血液の洗滌に如何なる力を持つかと云ふ如き事は余が茲に說くを要せない程明白な事實である。吾人は住宅の樣式換言すれば生活の樣式を一に食物二に太陽と云ふ如き從來の過つた主義から改めて一に太陽二に空氣三に食物と云



ふ立て前に改めなくてはならぬ。即ち建物本位の住宅を捨てゝ庭本位の住宅に移らなくてはならぬ

（三）

然らば如何程の庭を住宅の周圍に用意するを適當なりとするやと云ふに日照、通風、空氣の清淨と云ふ三點より考察して大體次の如く論ぜらるゝと思ふ。

今假りに太陽の影足を考へても我國では冬期に最も長く實物の長さの一、六三倍まで來る。これは北緯34°—35°の地點で十二月二十二日頃に顯はれる數である。

若しこの地點に家を建てるとすれば其の南方には他の建物からの蔭が來ぬように少くとも建物の高さの約一、六三倍の幅の宅地を殘す必要がある

又東西側面及び北側面に於ても建物の高さの約二分の一の空地を置く必要がある。即ち若し玆に五間四角の家（二五坪）で高さ四間のものを建てるとすると周圍の庭は

南方……24×1.63＝6.52

東西側……4×½＝2.0

北方……4×½＝2.0

間は少くとも必要である、即ち空地は

南北……6.52＋5.0＋2.0＝13.52

東西……2.0＋5.0＋2.0＝9.0

13.52×9.0＝121.68

一二一、六八坪必要である、これを建坪の二五坪に比較すれば正に四、八倍である。

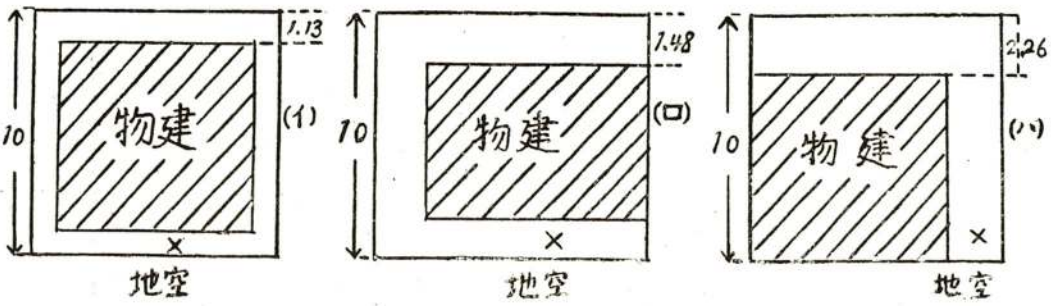
又建物の樣式が洋館の如くフラットなると日本家の如く棟式なるとでは多少の差異もあるが先づ四乃至五倍が適當となる。これは主として陽光の關係から出したが通風及空氣の新鮮を保つ點から推算してもこの位の數字が出ると思ふ。

これを現行市街地建築法に規定せる宅地内の空地制限の『空地は少くとも宅地の四〇%を保有すべきである』に比較すれば餘りに差異が有り過ぎる。如何に本邦都市が地價に於て歐米都市に比し高價であるからとは云へ斯の如き僅かの空地を住宅に保留する法律を永く適用するは餘りに無謀である。

殊に中小都市に適用せる市街地建築物法緩和規定には空地の項目を全然削除し又近年に成つて商業地域工場地域内の住宅に對しては特にこの四〇%の制限をも撤去したのはどうも合法とは考へられぬ。

參考

六割の建物と四割の空地（如何に空地の割合の少いかを注意されたし）



市街地建築物法施行令

第十四條　建築物ノ建築面積ト建築物ノ敷地ノ面積ニ對シ住居地域内ニ於テハ十分ノ六商業地域内ニ於テハ十分ノ八、住居地域及商業地域外ニ於テハ十分ノ七ヲ超過スルコトヲ得ズ但シ商業地域内ニ於テ行政官廳特ニ指定シタル角地其他ノ地區ニ於ケル建築物ノ第一階及地階ニ付テハ此ノ限リニ非ス

主トシテ住居ノ用ニ供スル建築物ハ住居地域外ニ在ルモノト雖前項ノ規定ノ適用ニ關シ住居地域内ニ在ルモノト看做ス

（大正九年勅令第四百三十八號）

彼の英國に起つたガーデンシチー又はガデーンサバーブに於ては多く一エーカーに對する建物の數を八乃至十二位に限定して居るから凡そ一つの宅地は平均一〇〇坪となりその中に二五、——三〇、坪の家が建てられてあるから、建坪の四倍位の庭が何れの家にも保留されて居る譯である。これは余の前述の理論と合致せるものである。何人と雖も自分が充分に金を持つて居る場合又宅地が自由に選ばれる場合は自己の住宅をせめてこの位のユックリした建て方にしたいとは希望して居ないものはあるまい。只今日では經費の點から止むを得ずこれを實現し得ないに過ぎぬのである。

多少これが費用を要するとも眞に庭や空地が住宅に必要であるものとせば今少しく嚴重な法の制限を設けてこれを各戸に強制してもいゝものでないかと考へる。

以上は人が衛生上無害に住み得る宅地の最少限度に就て述べたのであるが現今の東京大阪等の大都市には斯の如き餘裕ある住宅地を形成せる町は殆んど見られない。

これは全く我國の都市が土地所有者と家屋所有者とそこに住む住居人とが各々異なつて居て市民の八九割までが借家住ひをして居る爲に家屋を一種の企業として營利の目的を以て建つる家主の設計に委せて敢て顧みない結果斯の如き密集都市が形成されるものと考へる。將來は都市に於ける市民特に住宅の研究者が團結して斯の如き不合理な家を驅逐する方法を講ずる手段に出る事が最も緊要である。

今參考の爲大阪市内に於ける住宅が保有せる空地の如何に小なるかを表によつて示して見よう。

	建坪(%)	空地(%)	街路(%)
南久太郎町	六九、五	一五、八	一四、七
北新地	六四、三	一九、五	一六、二
糸屋町	六八、九	一六、八	一四、三
周防町	六八、七	一七、四	一三、九
北堀江	七四、一	一二、二	一二、七

九條	七五、〇	一二、〇	一三、〇
信保町	六七、二	一〇、一	二二、七
天神橋	五六、六	二九、九	一三、五
九郎右衛門町	六九、二	一五、二	一五、六
木津	八七、一	一八、〇	四、九
難波	七三、三	一〇、五	一六、三
中本町	六五、九	二二、八	一一、三
西野田	五三、九	三三、七	一二、四

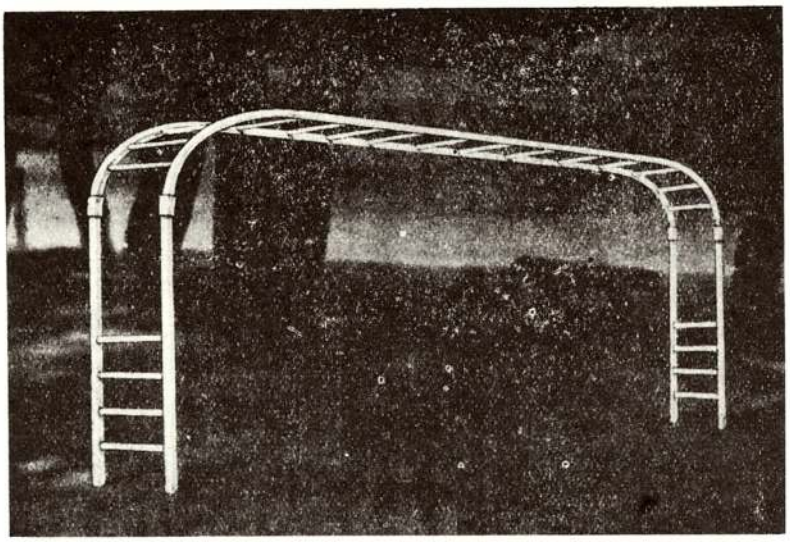
以上の如く殆んど空地として認めらるゝものは皆無である斯の如き過群の都市にありては今更これを破壊せざる限りは住宅の改造により空地上より見たる都市衛生の改良は不可能である。從つてその應急の手段として隣接せる五戸乃至十戸の宅が一ケ所に共同の庭を作りこの庭園をその一群の家族によつて使用し又その家族の爲の空氣の清淨機關として保存するの途を講ずるの他に良策はないのである。

斯様にして出來た共同の庭園は即ち市内に於ける公園を形成するものである。公園の歷史上に觀るも個人の庭等が開放されこれが近隣のものに共同に使用さるゝに及んで初めて公園となつたものである。從つ公園は或る場合各その庭園の集合體と看做しても差支ない。

斯の如く論ずる時は庭園とか公園が市民に如何に衛生的効果を持ち來すものであるかが諒解されるであらう。將來都市の住宅も田園の住宅も空地や庭園を無視しては決して衛生的のものとはなる事は出來ない。

公園に於ける建築的施設

吉善藤加　會員



「これは雲梯の一例を示したので、住吉公園及濱寺公園に設けてあるものは木造梳子はカシの如き堅木を使用してある、この金正舍のものの圖は鐵パイプ製である」

時恰も秋である、秋の色は紅葉をもつて表徴し得るであらう。この紅葉は歐米に於ては黃葉があるが我が國の如き深い緋色をなす樹に至つては到底見ることを得ないと云はれてゐる。この紅葉の國としても誇り得るわが國に於て箕面公園の樹は尤なるものであつて殊に老樹の多きことに於ては日本一である。私は將に滿山紅葉の美を發揮し更にまた斷崖絶壁十餘丈を落ち來る瀑布が或は瀨にはまれ岩にくだけて綿なす紅葉を縫ふて流れる光景を想ひつゝ私の職務の一端として關係しつゝある箕面公園、住吉公園、濱寺公園に例を採り公園に於ける建築的施設に就て少しく述べて見やうと思ふ。既に周知のことではあるが順序として公園の一般的問題より考ふるに近時公園の問題が都市計畫上重要視せられて來たことは最も注目すべきことであつて事實市民の保健衛生上都市には必要缺くべからざるものである殊にかの關東大震災に於て斯の如き天災時の避難の場所として市民を擧げてその必要を痛感せしめたことは新たな記憶である、然しながら公園本來の目的はかくの如きものではなく更に重要な意義を有つてゐる、即ち休養慰安・體育運動、敎化訓育等重大な職能を有つてをるのである。由來公園なる語は學術的に種々な意義を有してをり其の用語に關しては學者間に論議せられつゝあるやうであるが私がこゝに謂ふ公園は常識的に一般人が稱へ又認められつゝある所謂公園であつて深き意義、廣き意味をもつてゐるものではない。即ち一般の稱する公園とは其の位置の地勢或は使用目的に因つて自ら趣を異にするとはいひ觀賞本意、風景本意の公園は別としてその主たる目的は都市に於ける凡

ての階級の人々が自由に相互に他人の權利を侵すことなく有益にして最良の實際的休養娯樂の手段に供せらるゝものであらうと思ふ、かくして物質生活に苦しむ人間苦も必ずやこの公園の懐に抱かれて生々とした氣分に立ち歸り得るのである今公園を使用目的に依つて分類するならば、一運動を主とするもの、二休養を主とするもの、三娯樂を主とするもの、四觀賞を主とするものとなし得るであらう、尚外に兒童の遊戯を目的とする兒童公園或は國家的景勝の地をトして國家の力を以て維持する國立公園等もある。而して都市の公園を位置に依つてこれを分類すれば、一市内公園、二郊外公園とすることを得るであらう、又市内公園も地域の異なるに因つて趣を異にする、即ち住居地域内にあるものは自然的情趣を多く採り工業地域の如きは煤煙臭氣のために樹木の種類も強きものを入れ商業地域内にあるものは實用的たるを要する等種々の工夫を要するものである。又郊外公園も市内よりの距離によつても内容を異にする、又風景を主とし延えて休養娯樂の用に供せらるゝものがあるが之れは地勢既に幽すいであつて天然の美を豊富に藏する所謂大自然の展開する地勢を必要とするのであつて大阪に於ては箕面公園に指を屈するであらう斯の如く位置、地域、使用の目的等に依つて各その公園の職能を異にするから從つて其の建築的施設は勿論一般的施設も異ならざるを得ないのである。左に公園の施設として必要なるものを擧ぐれば

一、休養的施設としては

テニスコート、運動場（トラック）、鐵棒、廻旋塔、雲梯、シーソー、鞦韆、遊動圓木、固定圓木、廻轉椅子、滑臺、砂場、並行木、渉水池、高跳場、複式梁木、バレーボールコート、スケート場、相撲場、跳下臺等である。

二、智育的施設としては

温室、禽獸舍、草花苗圃、像、記念碑、植物園、尚少しく大なる公園に於ては公會堂　水族館、動物園、音樂堂、美術館等も施設され市内公園にあつては圖書館等の施設を見る。

三、娯樂休養的施設としては

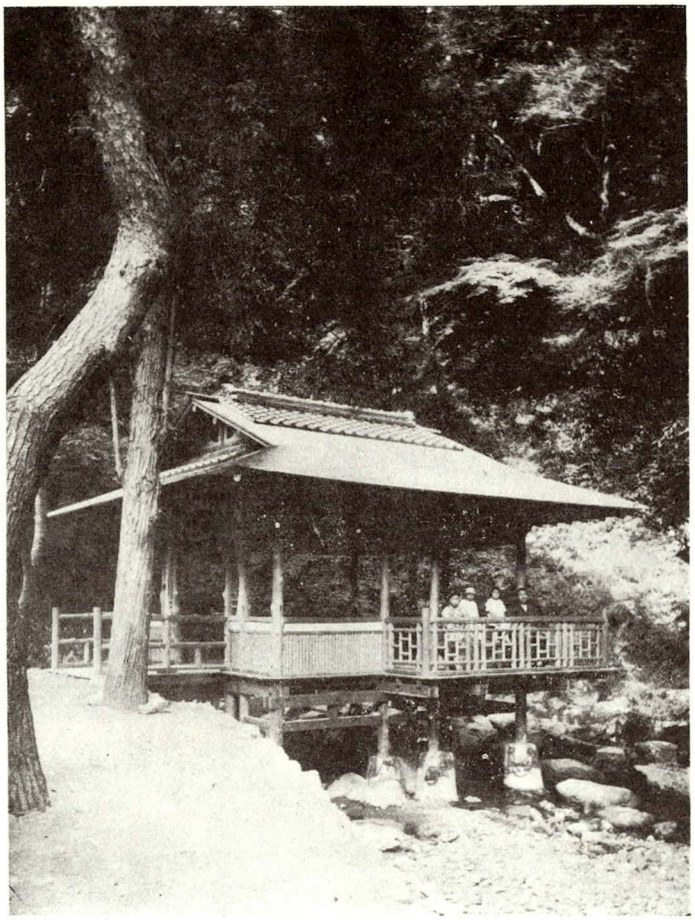
四阿舍、亭、休憩所（四阿或は亭の内に含むものであらう）藤棚、ベンチ、水呑臺、旅館、料理店、賣店等である。

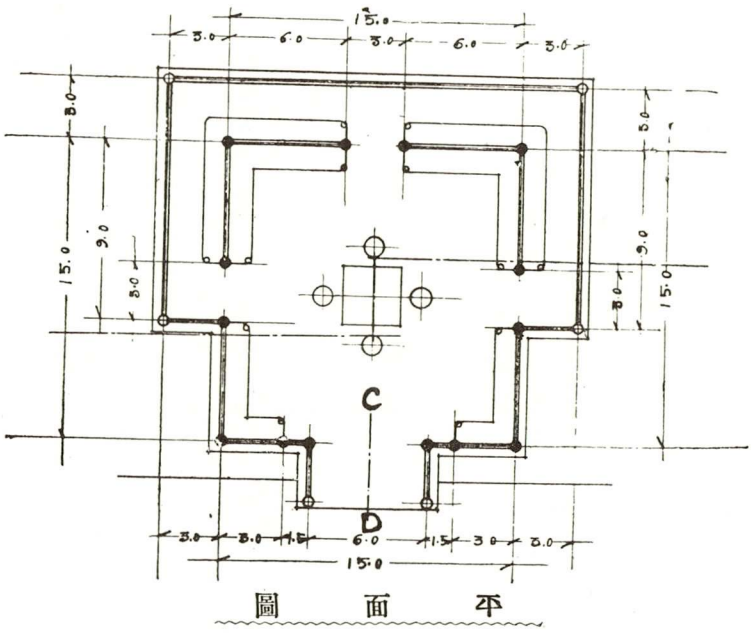
四、維持管理其他の必要よりの施設としては

公園事務所、園丁舍、公衆便所、手洗用噴水、照明燈、棚苗圃納屋、郵便ポスト、公園名標、町程標、名木標、地名標、橋等である。

以上揭げた種類のものが公園の位置、地勢、面積及使用目的に從つて適當に取捨撰擇せられるので且つ其の數も公園の内容に應じて決定さるゝものである。適當なる配置相當なる數に關して十分考慮すべきものであつて例へば便所の位置及個所數等は直接その公園に遊ぶ人々の便不便を齎らすものであるからその公園に參集する人々の數を顧慮し其の數を決定すべきものであらうと思ふ。而してこの建築的施設も實用上より來てゐるものではあるが常に美的考慮を閑却してはならぬ即ちこれ等の建築物或は建造物は一つの獨立したものにあらずして公園構成上それ〳〵一分子を成して居るから良くその公園の樣式又は特性に調和均衡を保ち得るものでなければならぬ、殊に建築物に於ては種々なる樣式あり、樣式と云ふま

「この寫眞は箕面公園中腹に於ける渓流の上に設けられた無料休憩所(四阿舍)である、この流水が年々雨期に氾濫することがあるので柱根元を十分堅牢に基礎を固着せしめる必要があつたのであるが全体として優雅な趣を表はすべく勉めた、柱其の他主要材は檜を用ひ殊に柱は出節丸太である、屋根は酒柿葺で一部瓦伏をしてある、床は四方よりの寄木とし天井は格天井中心にシーリングライトを附け、腰は竹張壁は水色としてある。中央に卓を設け周圍にも腰掛を作り廻廊は三尺張出しとして丸太又はナグリの手摺を構成し別しての趣を表はしてある。(筆者設計)」





平面圖



「この寫眞は箕面公園瀧の附近に設けた休憩所である、傾斜崖を利用して下は四阿式になつてゐり上は露臺のかたちである、構造は凡て鐵筋コンクリート造で仕上は自然木に擬したもので本公園の傳統的日本式建築との調和を破らぬやう力めたのである前に見ゆるものは下の四阿に行くべき階段である。これも大屋博士の指示で筆者の設計である。」



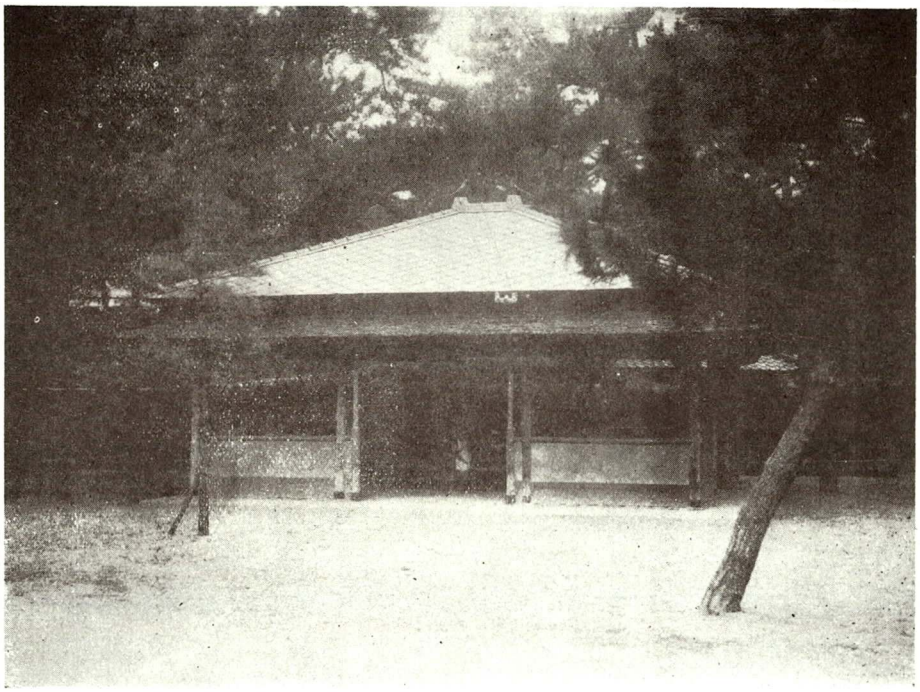
「この寫眞は箕面公園の橋の一例で凡て木造檜丸太を使用してある」

「この寫眞は釜形亭の例として實物を掲げたのである、これは箕面公園のもので六角形をなしてゐる」



この寫眞は箕面公園に於ける大山辷り臺であつて田中清志氏の設計である延長三十間に亘るものでコンクリート造タイル張り溜場は丸太材の雅味ある木造である兒童の娯樂のみでなく青年の之に遊ぶものが多い。

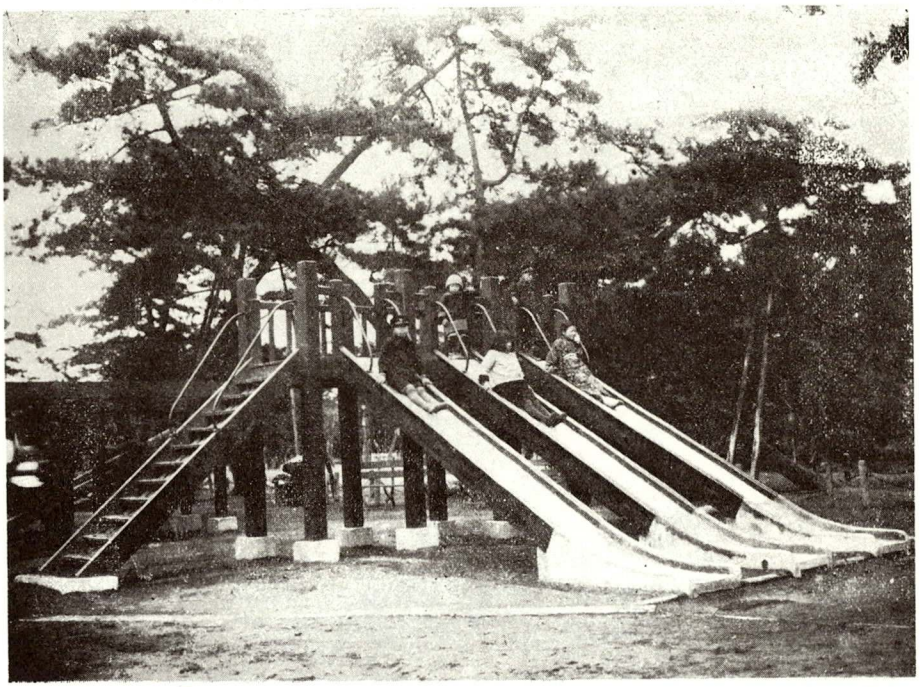




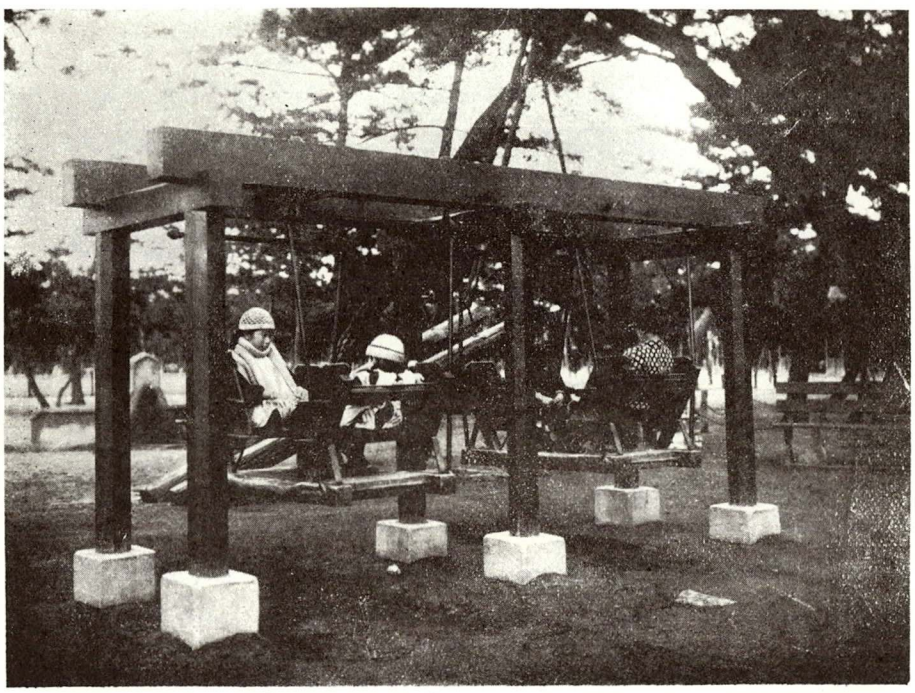
これは濱寺公園の休憩所で久下氏の設計で木材は大体に於て檜材を用ひ屋根は石綿板葺、庇は洒柿葺である。



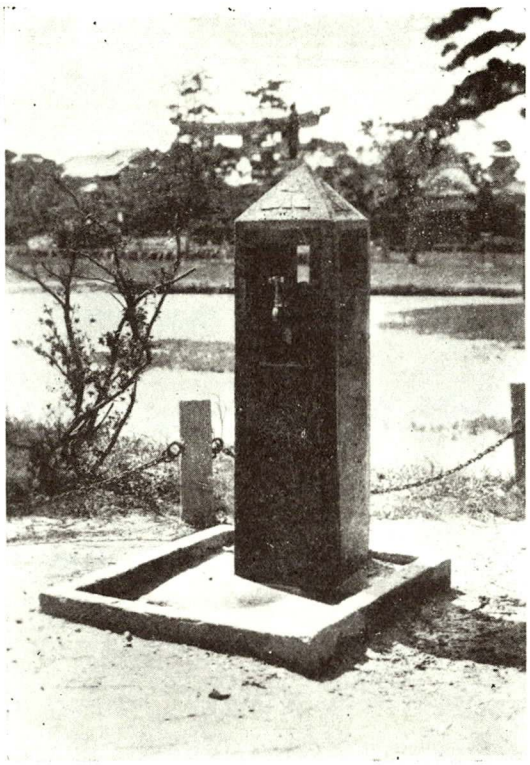
「この寫眞は住吉公園に設けた公衆便所の一例で從來の煉瓦を再び使用したために腰壁が厚過ぎる感がある、更に今これと同樣のものを建築中であるがこれは腰を鐵筋コンクリートとしてある、上部は木造で凡てペンキ塗屋根は綠色瓦で葺上げてある。公衆便所で注意すべきは出入口ドアの締金物は實用的な堅牢なものを附けることである、これも筆者の設計に成る」



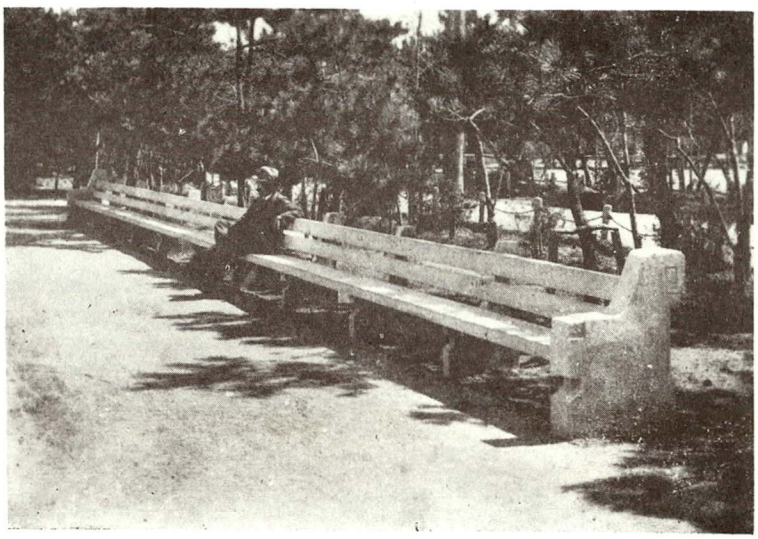
「この寫眞は住吉公園に設けてある滑臺である、木造で材料は檜を使用し滑臺は三個連續してあり階段は兩方に設け順を追ふて滑走することが出來非常に愉快な運動が出來る。滑臺は波形と直線式とあるがこれは直線式でその傾斜の勾配は三個とも夫々異にしてある、即一つは六寸、一つは六寸一分五厘、一つは六寸三分勾配としてある。これは大屋博士の指示で筆者の設計したもの」



「この寫眞は住吉公園に設けた鞦韆である、このブランコは向合乘りで二人づゝ都合四人乘である、互に愛らしき顏を見合て靜かに動搖するので兒童の喜びは想像の外である、近頃は鐵骨板張りものが工夫されてあるがこゝにあるブランコは凡て木造で只釣り鐵物が鐵棒である、構造ト注意すべきはこの釣棒で其の磨滅の程度の甚しいのは驚くの外ないから此の點の構造に注意すべきである。これをチエンにて吊り下げたものも多く見る」（筆者設計）



この寫眞は住吉公園内各所に設けた水呑栓である鐵筋コンクリート外部は鐵平石を貼り下は流場を附してある。（筆者設計）



この寫眞は住吉公園と濱寺公園に設けた鐵筋コンクリートの長ベンチで新しき意匠を凝らしてある（筆者設計）

でなくも和洋式あり、或は折衷式と云ふやうなものもあり、或は我國古來の傳統的の雅趣あるもの等ありて同一用途の建築物に於ても相異れる趣をもつてゐるからよく公園の内容を考察して之れに適する建築意匠を撰ぶべきであることは言ふまでないことである。元より凡ての建築物の設計はその人の個性を發揮すべきものであるから必ずしも從來の範型を固守する必要は毛頭ないが徒らに奇を好み妙にてらへ不調和なものを添へることは人々の不快を招くばかりでなく公園其のものゝ價値に大なる影響を及ぼすものである。故に何れの場合も同樣ではあるが公園に於ける建築的施設の設計に當つてはよくこの邊の事情を洞察し自らの心がその公園の人とならねばならぬ。公園に於ける諸施設の配置及數等の參考として箕面住吉及濱寺公園の例を掲記し大屋博士の下に於て私の設計したるものその他二三の建築の寫眞及設計圖（つまらぬものではあるが）掲げやう。

一、箕面公園　大阪府下箕面村にあつて森林、溪流、瀑布、櫻楓を以て有名である。

目的　休養、娯樂、觀賞、遠足登山

面積——二十五萬六千百五十三坪、外に國有林内廻遊道路延長三千百九十八間利用面積約二十五萬坪あり

地勢——山間の谷地箕面川の川岸に沿ひ兩側山頂に及ぶ

體育的施設として大山滑臺（長延三十間）

智育的施設として箕面植物園

娯樂的施設として休憩室九ケ所、腰掛九十二ケ所、茶店三ケ所、旅館十三ケ所、料理店一ケ所、賣店八ケ所

維持管理其他として事務所一ケ所、取締宿舍一ケ所、公衆便所六ケ所、手洗用噴水一ケ所、照明燈十九ケ所、納屋一ケ所、郵便ポスト一ケ所、巡査派出所一ケ所、公園名標町程標、名木標、地名石標等多數

本公園内に於ける建築物は凡て純日本式であつて四阿、休憩所、便所等も凡て寫眞及圖に見る如く風雅なるものゝみであつて最近竣成した瀧前の斷崖を利用して建築した休憩所は鐵筋コンクリートを以て構造したのであるが一見自然木造の如き仕上げをなしたるは環境と調和を保たしめるためである

二、住吉公園　住吉町にあつて都會より餘り遠からず自然風景の傷げられず心地よく遊べるところである

目的——運動並休養娯樂

面積——三萬八千五百三十七坪

地形——平坦地

體育的施設として庭球場一ケ所、運動場二ケ所（内一ケ所は二百米トラック）芝生二ケ所、鐵棒二ケ所、廻旋塔二ケ所、雲梯一ケ所、シーソー三ケ所、鞦韆八ケ所

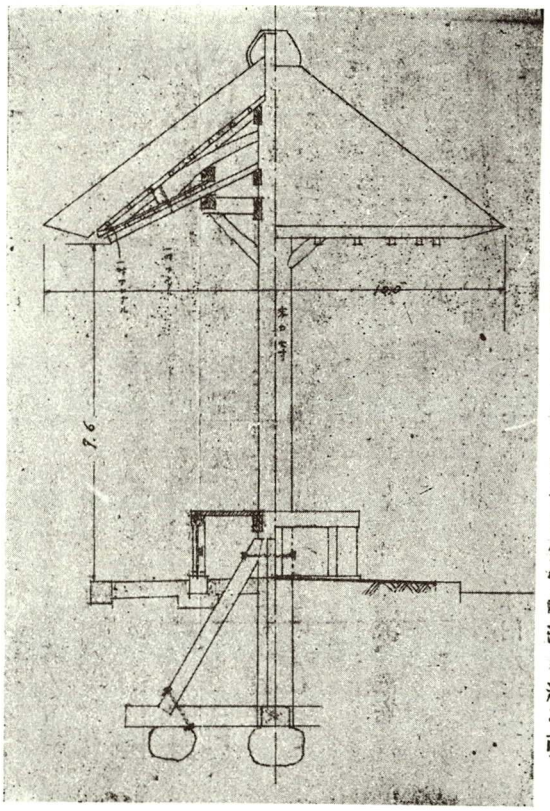
智育的施設として猿舍一棟、草花苗圃一ケ所、溫室一ケ所銅像一ケ所

娯樂的施設として休憩所五ケ所、藤棚四ケ所、共同腰掛百二十脚　茶店三十六軒、茶店兼旅館十四ケ所、料理店二戸

維持管理其他として事務所一棟、園丁舍一棟、苗圃納屋一ケ所、公衆便所五ケ所、巡査派出所一

ケ所、案内掲示所一ケ所、郵便ポスト一ケ所、照明燈（二百燭光）二十五ケ所

本公園の建築物即ち四阿の如きは概ね瀟洒なる日本式建築であるが公園事務所、便所等は幾分洋風のものあり花壇の如きも洋式によるものあつて本公園は箕面公園の如く純日本式でなく相對的に幾分洋式を加味したる點がある、而して滑臺鞦韆等も木造固定式であるが、猿舍は鐵骨構造に網を張りたるものである、ベンチの如き概ね木製であるが最近鐵筋コンクリートの固定長ベンチを設けた。（寫眞參照）



「この圖は傘形亭の構造を示すために掲げたもの木造にして屋根は茅葺で住吉公園に設けた設計圖である」

三、濱寺公園　濱寺町高石町にあつて海を擁し夏季海水浴盛んである。

目的——運動、休養、娯樂

面積——十四萬七十三坪

地勢——海岸に臨む平坦砂地

體育的施設としてテニスコート三ケ所、鞦韆七ケ所、シーソー三ケ所、鐵棒二ケ所、廻旋塔二ケ所、雲梯二ケ所、滑臺二ケ所

遊動圓木三ケ所、他に南海鐵道株式會社經營に係る金棒二ケ所、シーソー一ケ所、鞦韆二ケ所、遊動圓木一ケ所あり、夏季に於ては海水浴開かれる。

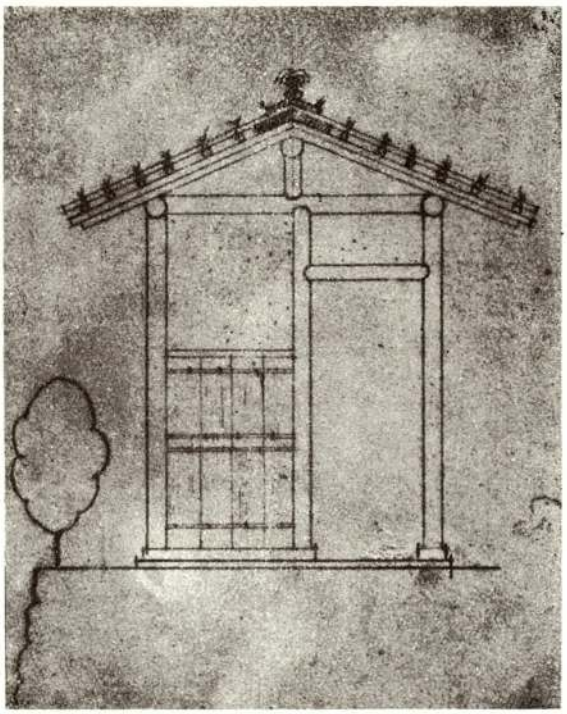
智育的施設として記念碑二ケ所、公會堂一ケ所（南海鐵道株式會社經營）

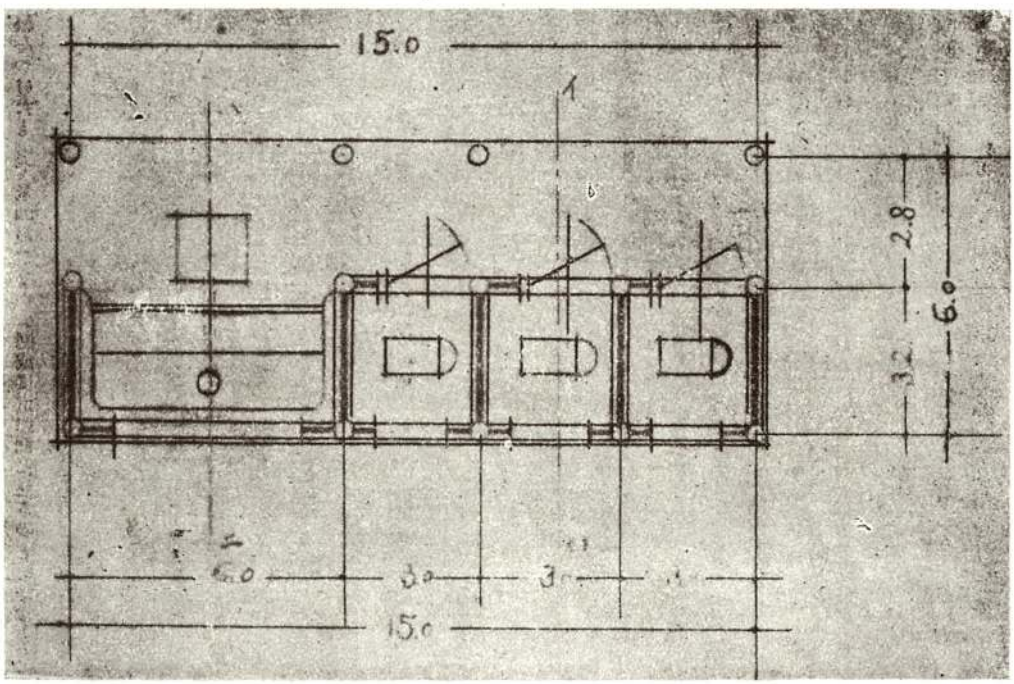
娯樂的施設として休憩所十一ケ所、腰掛二百十四ケ所、茶屋二ケ所、旅館六ケ所、料理店四ケ所、食堂（南海鐵道經營）及南海遊園地がある。

維持管理其他として郵便ポスト二ケ所、事務所一ケ所、巡査派出所一ケ所、公衆便所六ケ所照明燈（二百燭光）三十ケ所、正門燈樓一ケ所がある。

本公園の建築物は概ね住吉公園と大同小異であつて主として日本式であるが便所等は洋風を加味してある。最近建設したる公園入口正門燈樓（筆者設計）は高さ地盤上頂點まで十九尺あつて臺はコンクリート花崗石張りで上部は木造檜材を以て構成し純日本式構造である、屋根は銅板葺となし花燈窓を設けて内部は二百燭光の電燈を附し一種の照明を兼ね公園の

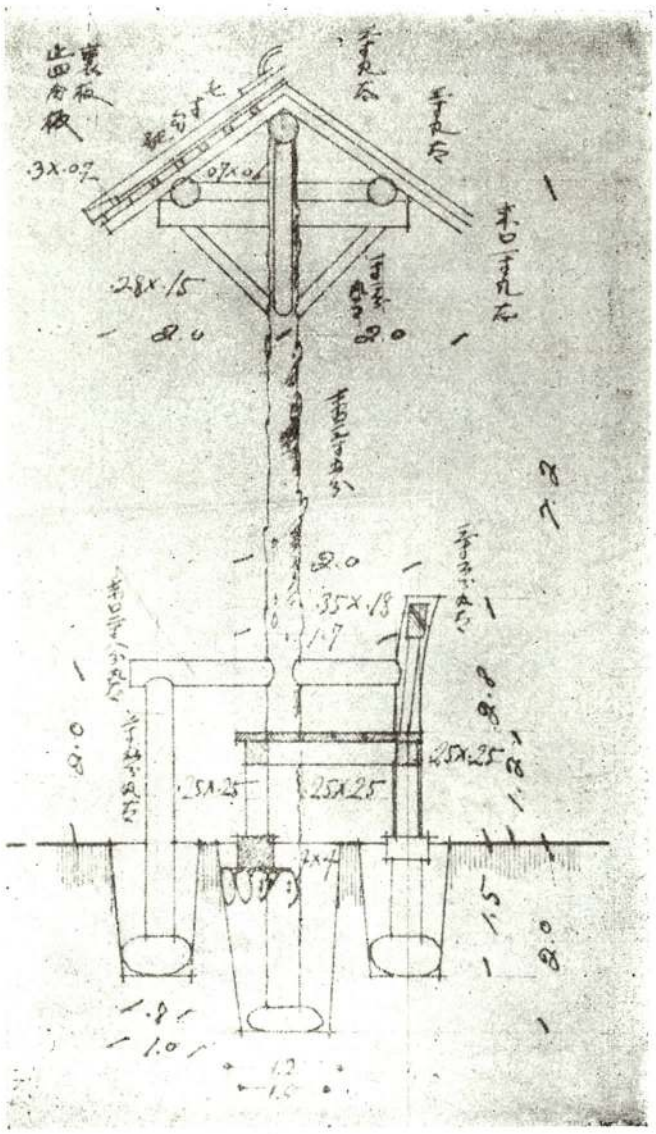
「この圖は箕面公園の公衆便所の設計圖で建築は既に出來上つてゐる、凡て檜又は杉丸太を用ひ腰は杉皮張り屋根も同樣杉皮葺である頗る瀟洒であつて一例ではあるが住吉公園の便所と比較すれば一目その公園の趣きを察し得るであらう。（筆者設計）」

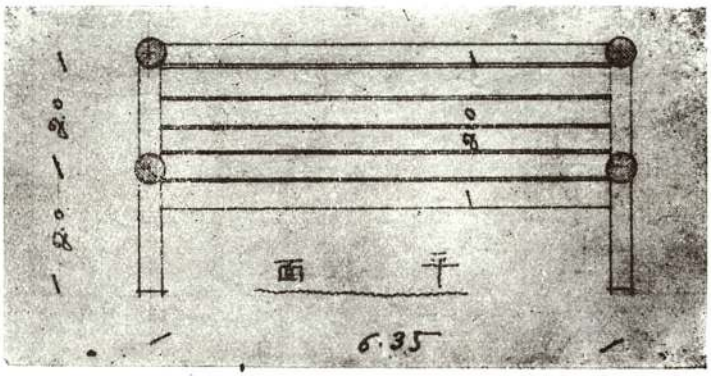




平面圖

「これは享の一例で一昨年箕面公園に同時四ケ所設けたものである、ベンチに屋根をつけたもので米國あたりの公園或は道路側に見るのと匹様なもので只それが日本情趣の構造としたものである、小ちんまりした氣持よきものである、更に今屋根を茅葺とするものを設計中である。（筆者設計）」





美觀を添へしめたのである、又礎石の一方には濱寺公園と一方には公園の沿革的碑文を彫刻したのである其の書は毎日新聞社の本山社長の筆になつて居る。（口繪寫眞及設計圖參照）以上で大體の說明を試みたのであるが尙幾多の實例と寫眞があるが餘りに貴重な紙上を費やすを恐れてこれで擱筆し後日改めて又記述しやう。終りに臨み本稿を草するに當つて寫眞其他材料を提供された畑浦濟美氏に感謝の意を表する。

（二、九、一九稿）

街巷公園

井下清　東京市公園課長

街巷公園などゝ云ふ名稱が適當であるや否かは相當の日時の後に定まることであらうが、今茲で研究して見たいことは都市公園の內で繁華な市街地の間に介在散布される都市修飾的の小公園であつて英米の Square 獨佛の Platz, place と稱へて居る種のものである。

海外の大都市を觀た者は敢て專門家で無くとも彼のスクエヤーが都市の美觀と休養に著しい効果を擧げ人々に好い感じを與へ居るを見て羨望せぬものはなく、我國に於ても同樣な施設の必要を說き何故に我國では其れを作り得ぬかを論ずることが尠くない。

都市に於ては公園としての種々な要求を完備する大公園は勿論必要であるが、方面的に附近の人々が朝夕利用するもの又は街路の美觀と保安の上から設ける小い公園が我々の都市生活に、より密接な關係を持つて居り公園組織の第一線に立つて、其上に完備した大中の公園と運動觀賞其他特殊な機能を持つ公園と郊外の大自然公園などを最も合理的な系統の下に組織して初めて完全な公園組織を持つと云ふことになる。

此の公園組織の第一線にある小公園と稱へられて居る種のものには種々の性質の異つたものが單に便宜上、面積が小く地方的であると云ふことだけで總括されて居るのである。其內の主なるものは方面公園とも云ふべき一地方の人々が一の共同庭園の如く朝夕散策休養と運動の池とし又觀賞の對象となる小公園であつて、近代に於ては特に兒童の安全な遊戲場として必要な施設を加へ、更に進んでは大人本位の型式が兒童の遊園を主とし一般の



巴里・プラス　デラ　ナシヨン　　圓公の位本致風の形圓るあに心中の叉交形星は路街



街路の星形交叉の中心に在る長方形の新しき公園
ベルリンのバイエリッシエルプラツの一部



一ブロックを公園とした方形のもの。桑港市ユニオンスクエヤー



二ブロックを占めて居る長方形公園
伯林・ホーヘンツオレン プラツク



ーヤエクスタースエシレのンドンロとしと園公をクツロブーの街市

休養慰安を從とした設計を施されることになつて居る。此の兒童の利用を主とした方面的小公園と、兒童專用の遊園地との區別は管理經營上の別であつて實質とは大なる差異はない程度に進んで居る。公園は老幼男女共に自由平等に利用することを原則とするが、兒童遊園（プレーグラウンド）は兒童だけの遊園であり指導敎養の施設である相異は明にする必要がある。兎に角此の利用本位の方面的公園は敢て大街路に面する要もなければ風致ある位置を選ぶ必要もなく其れを利用するものに可及的便利な位置であればよいのである。東京の復興計畫の一事業である五十一の小公園が小學校に隣置して設けられる如きは好き實例である。

街路の要衝に位置を占め市街のオーシスとして都市美の骨子と爲し面積の大なるものは休養散策の地ともなり得る街巷公園は前の方面公園とは大いに趣が異る。見方に依つては時代遲れな贅物であつて之れを利用本位の方面的公園に改造するか又は古い都市としては得難い公館の敷地に交換利用するを適當と見られるかも知れない。現に東京の區劃整理に於て宅地の減歩を緩和する爲めに、街巷公園として絶好の位置を占めて居つた小公園にして廢止されたもの二箇所、裏町へ縮小移轉されたもの三箇所、他に合併されたもの二箇所を算へ謂所街巷公園とも見るべきものは影を潜めたことになつた。

茲に於て都市街路の要衝に在る公園——歐米大都市に於て其美觀の要素を爲し其市民の誇として居るもの——は現代に於ては不必要なものであるか、又將來此の種の公園は營造する必要は起り得ぬかと云ふ疑問に逢着する。

利用本位の小公園が此の種の風致を主としたものに代るべき時代が來たと見るのは時代の思潮であるかも知れぬが兩者

の類は異つた機能があり、大建築樣式の推移などから見ても其れが無視さるべきものであるとは考へられぬ。

街巷公園は其特色としては街路の要衝に在つて都市美の核心となるものであつて高衙愉比し僅な空地もない市街地に一の空地を設け通風採光と廣濶な風致を作り其處に自然を受入れて、屋内生活から脫れた慰安の處となり之れを圍む壯麗な大建築の美觀と相對照して市街のォーシスとなり、又此の空地有ることが都市の保安上至大の効果を持つものと云へる。又繁劇な都市生活は老幼病者でない限り悠々公園を利用する時間に乏い間外から活動の途上公園を通り拔け其傍を通すがつて慰を得、清々した氣分に浸る必要があるのである。

此の樣な公園は地形は方形に宅地割をした處では其一ブロックを其れにあてる爲めに方形又は長方形であるが、放射路を設くるものにあつては其星形に交叉する中心又は二線の合する光端の三角地を占めるものが多く周圍は必ず道路に依つて圍まれて居る。然し最近には大街路の中央に嶋嶼の如き位置を占めて居るものは交通整理上不可であるとして街路の通景の外に設けて居るものもある。樣式としては中心に噴水、池塔などを置き其れより直線路を放射し、幾つかに割られた園地は美しい芝地樹林と爲し自然的な手法のものと建築的に營造したものとあるのが多いが、風景的な方面公園を兼用したものであり、新しいものにあつては傳統的な型を脫した建築的な意匠のものがある。通路と外周に沿ひ露床を据付け休養に備へて居る。然し面積の小なるもの又は一の意匠として全然、園地内に入ることの出來ぬ外部から觀賞するだけのものもある。

之等のものは明に都市の美觀と保安に基礎を置き人の慰安



ツツプラセイルヤリトクピのンルベ園公の形圓隋いし新るあにの心中の叉交形星の路街

保健の爲めに設けられるものであつて面積は小であるが全市的性質を持つて居るものであると云へる。從つて其方面の人々の意志のみで存否を決すべきものでなく都市全體の美觀品位の上から、保健保安の上から見るべきものであるまいか。

この地價の高い目抜の場所に在る街巷公園は如何にして設けられたかと云ふことは、將來如何にして此種の小公園が設け得らるゝかと云ふ難問題を解くものである。

歐米の例を見るに古來の存置された廣場を裝景したもの、街路の整理擴張に依つて生じた餘地又は三角地等を利用したもの、公館寺院墓地などの移轉に依つて敷地を得たものもあるが多くは街路計畫を立て新に宅地を造成する際に街路と共に當然必要なるものと設定されたものである。之れは我國の如く古い都市で土地所有權、地上權が極端に重く、宅地造成に際し道路公園を先づ設定すべき强力な法規の不充分な國に於ては將來とても莫大な經費を投せねば實現することは難い遺憾がある。

ロンドンの名物と云はれて居る七百程のスクエヤーは府、區等の管理に移つて居るものもあるが、尙四百五十程の私有公園がある、其維持管理は附近の限られた人々だけの負擔であつて其家庭の者のみは其內に入ることが出來るのであるが元來が路上の小庭園であり周圍には相當な鐵柵を設け樹木鬱々として居るので其周圍を散策し眺めるだけで充分生新な自然味を味ひ得るのみならず、街巷の風致、保安と間接的な効果に於ては他の公設公園と同樣な働をして居る。此の私有のスクエヤーは其の附近の宅地造成の際。地主が自ら其土地繁榮策として設けたものであつて、地價を高め人々を誘致する資料としたものである。斯くして各所に數百の約千坪前後の街巷公園が生れ出でたのであるが、之れはロンドンのみでなく英國の他の都市に於ても屢見る處の制度である。

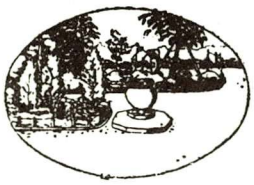
獨米などの都市で場末の新開町に壯大な街路と共に其要衝に街巷公園を設けて居るのも同樣な見地から地主なり經費負擔者が土地政策上進んで營造して居ることは羨望に堪へない

我れに在つては公園は云ふまでもなく街路すら宅地造成後に於て都市計畫事業として家屋を取拂ひ施行される結果、莫大な經費を要することになるので必要止むを得ぬ程度に甘んずるのは當然であるとも云へるが遺憾なことである。

街巷公園でなく方面的な裏町に於ける東京市の學校に隣接する五十一の小公園の實經費は約千五百萬圓で一箇所實面積平均八百坪餘で約三十萬圓を要して居る。而して之れは區劃整理地區內であるから此區外にも略同額の經費を投じて均霑的に配置する必要があるのみならず大東京制を實施して現在の隣接町村が編入されるときには更に數倍の方面公園を要し同時に若干の街巷公園を計畫さるべきは必然的のことであるが、耕地が宅地となり家屋が建設された後に於て實施される運命に在るは既往の例に徵しても明であるから果して幾程の實現を見得るか寒心に堪へないものがある。

せめては土地會社、大地主に於て宅地を造成する際にでも彼の伯林市に於けるハーバーランドが現代街路と小公園の範となるべき立派な多くのものを設けた如き偉大な計畫を遂行することは出來得られぬであらうか。土地政策からして充分採算の出來ることであり、市當局又其れに相當の援助を爲すなれば比較的容易に新市街に美觀と保健保安の施設を充分に設け得るのではあるまいか。

要するに此の街巷公園の如き街路の要衝に在つて初めて其存在の意義あるものは今にして何等かの實現し得べき計畫が無かつたなれば遠い將來に於ては益不可能な事業であることは明であるからせめては今後造成される新市街に於てゞも之れに就て考慮を加へられたいのである。（二、九、十八）



近代都市の公園思潮

九大助教授 永見健一

近代の都市には公園思潮とでも稱すべき公園に對する一種の新しい思潮が流れてゐる。勿論此の問題は相當の人口を有する都市に於て論ぜらるべきもので少くとも十萬以上戚は五十萬以上の大都市に於て論ぜられる時に、はじめて有効であり價値あるものである。日本でも近年公園研究にて可なり努力しつゝある六大都市を始め各大都市に於ても今から話そうとする近代都市の公園思潮に對しては深い注意を拂つてゐるようである。

過去の公園　卽ち十九世紀前半頃までに設けられた公園は都市の中央に廣大な敷地を擁することを以て理想とした所謂大公園集中主義のもとに建設せられたものばかりである。然るに都會本位の近代文化は都市の樞要の地が廣大な敷地を擁する公園の爲に占有されることは第一社會的經濟上、これをゆるすことが出來なくなつたのみならず技術上からみても煤煙や其他の障害物の爲めに樹木が損はれたり公園本來の目的とする自然的美を保つとか民衆を靜かに休養させる等のことが出來なくなつた。斯うした多數の原因で近來では大公園集中主義時代は旣に過去のものとされ、そして此處に小公園分散時代といふ思潮が新しく擡頭しようとしてゐる。

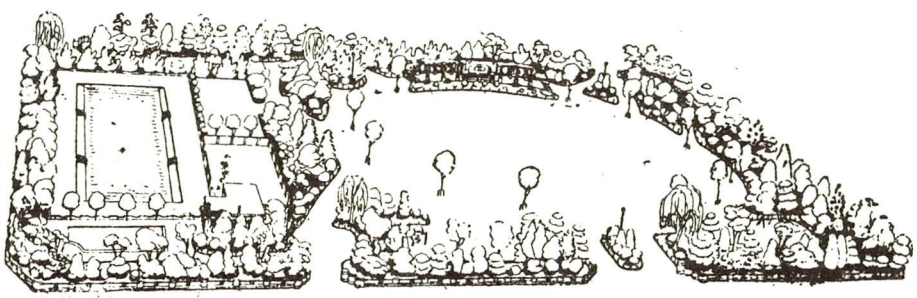
小公園主義　小公園分散といふのは五百坪から一千坪程度の小公園を都市内に局部的に各所に數多く設ける意味のものである。大都市に於ては中央に如何に大公園を設けても其の數が僅一つか二つでは其の公園附近の居住者はそれを利用することは出來ても遠隔の地に居住する者は時間や經濟上の關係から簡單に、その公園を利用することは出來ない。それで規模は小さくても小公園が方々に分散して設置されてゐれば。その都會に居住する全部の人々が容易に、これを利用することが出來るわけである。

實際問題として小公園分散といふことを研究してみるとその實現は程困難なものではないと想ふ

小空地活用　都市計劃や區劃整理を實行しつゝある日本の各都市には整理の結果各所に除地が出來てゐることは誰も知るとほりであるが。その除地が三角形だつたり其他の色々な事業で實際の使用に堪えぬような場合、たとへその土地が猫額大のものでも周圍を樹木で包み、中央に廣場を設けるなどして公園化したならば、附近の居住者は適當な休養場所を得て隨分救はれることであらう。斯くの如く除地のみならず其他の土地でも小さきものであれば建設するには經濟上困難なことでもあるまい。斯うした風潮は日本のみならずアメリカをはじめ歐洲の大都市では旣に續々實現されてゐる。

東京市の試み　小公園分散主義を選んだ東京市では震災後の復興事業と共に、この方法に更に研究工風を加へて小學校附置小公園事業と稱するものを現在行つてゐる。これは當時の震災で燒失した百餘校中から約五十の小學校を選定して、其小學校の隣接地に小公園を設ける事業で五十個所の總經費として一千五百萬圓が支出され昭和三年末には完成される豫定になつてゐる此方法は未だ世界にも先例のない事業だが、その設計は小學校と小公園とを隣接せしめて設け、小學校の授業中だけは道路側に設けた門を鎖して公衆の入園を防いで公園内の廣場は專ら兒童の運動場に充て午後の放課時後は小學校と公園との境界ある小學校の門を鎖して道路側の公園の門を開放して一般人の入園を迎へることになつてゐる

さて此の小公園に就いて考へてみるに旣に敷地が狹小であるから此の小公園によつて自然の風致や綠草のスロープ或は泉石の幽なども求めようとするのは無理であるこれは從來の築山式の眺望本位のものでなく公園の周圍を繁茂した樹木で包みて樹の間に休養の爲めのベンチを置き中央には廣場を作つて子供達の安全な遊び場所に充てる程度のものより外に期待することが出來ない。（福日）



（東京市設計の小公園の圖）

都市の廣場施設

（記念に適はしい好事業）

會員　方米治郎

一、廣場の意義

巴里市の中央に儼然と立つ凱旋門の偉容も若しあの宏大なエトワール廣場が無かつたならば、その美觀も數等見劣りその價値も遙かに減ずることであらう。都市の廣場は美觀上からも又實用上からも入用なのは勿論、又都市の歴史的記念物としても欲しい施設である。近代文化の恩惠に浴し改善されつゝある現代都市に於ては當然なくてならない施設の一つであらう。試みに世界に於ける著名な廣場を調べてみればパリ市ではオペラ座前廣場、同トロカデロ宮殿前廣場、同エフエル塔を含む廣場、ロンドン市ではレセスター廣場やネルソン記念像を繞るトラフアルガー廣場、ニユヨーク市では摩天閣前廣場、ベルリンではケーニツヒ廣場、カールルーヘの王城前廣場、ベニスのサンマルコ寺院前廣場等々こうした廣場の名稱を數へあげる丈けでも限りない程澤山ある。それに轉じて本邦を顧みると御辱ずかしいが廣場らしいものは殆ど見當らない、强ひて求めてみるならば大連市の大和廣場を筆頭に東京驛前の廣場、貧弱ながら須田町の廣瀬中佐銅像を含む廣場、京都では之も驛前に一寸廣場らしい空地を見られるが大阪に至つては未だ一つもないと云つてよい。最近に小公園をかねたものが一ケ所、（上本町の大軌電車乘場前）出來て僅かに申譯が出來る位の現狀である。名古屋にも横濱にもその施設を見ず、神戸では港川の三角地が之も又廣場らしい體裁を備へてゐるに過ぎない。六大都市の現在がかくの如くとあれば他の中小都市に於ては勿論廣場らしいものを有たないのに不思議はないであらうが、本邦も今や都市計畫法が實施されて幾十の都市が改善の途上にあるのであるから、少くとも一都市に二つや三つ位の廣場の施設をして欲しいものである。

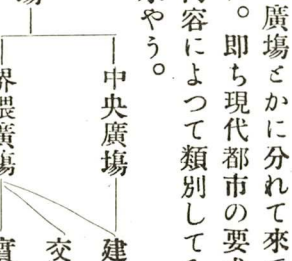
廣場（廣辻）は英語の Place（或は Square）に、獨語の Platz（又は Markt）に、佛語の Place に相當してゐて、狹義に解釋すれば市内に於ける街路交叉點、三角空地、建物前等に設けらるべき一種の小公園に準ずべきもので、廣義に說明す

ればこの他市内各所に介在する各種の空地や濠端、河岸地等苟も緑化し裝景し利用し得らるゝ土地は、凡て之等を都市の廣場或は除地公園（或は道傍公園）の名稱のもとに抱含せしめても差支へないであらう。之等都市の廣場若くは小公園として取扱ふべきものの名稱は歐米に於ても實はその内容によつて種々に區分されてゐるやうであるが、嘗て上原林學博士が米國で調査された報告を抄記してその概要を説明してみやう

A スクエーア
街衢がブロック式に排列されてゐる市街で、その一つ若くは二つの區劃を犧牲にして作られたもの
B クレッセント
之は半月形の廣場を特に呼んだ名稱
C オヴアール
橢圓形をした小廣場をかく名附けてゐる
D サーカス
圓形のものに限つた名稱
E クロッス
街路の交叉點に於て取り殘された一區域を指すもの
F コートヤード
建設物の前の廣場に限られたのが意味を廣めたもの
G プレース
主要な街路に挾まれた場所を有して交通緩衝の使命を果たすもの
H グラウンド
比較的面積の小さい廣場を指して呼ぶ
I フヰールド
郊外の廣い空地から初まつた言葉であるが今日では小さい廣場にも用ひられる、（但し以上は主として英米都市に於ける名稱であるが、獨、佛、伊等にも之に匹敵して類別してゐるやうである）

二、廣場の沿革と種類

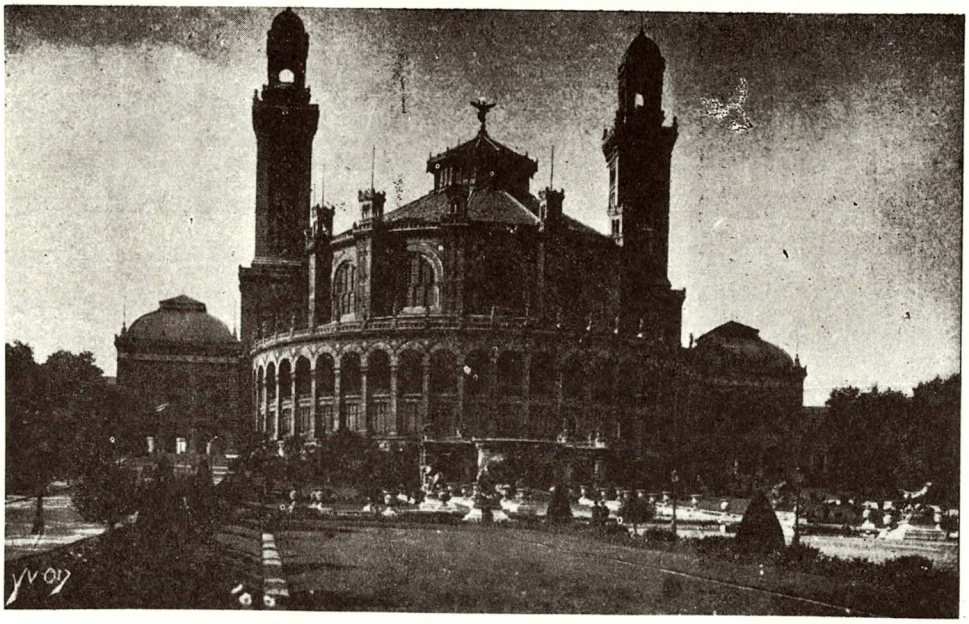
西洋の造園史に表はれた廣場の沿革を誌してみるに、遠く古代文明の淵叢地であつた希臘の都市に於ても既にアゴラ（Agora）と呼んで戰捷の祈願祝賀や祭典、儀禮に使用した廣場らしいものがあつたやうである。想ふに當初日用品交易の市場とも見られた空地が進んでかゝる用途にも供せられたものであらうか。かくてローマ文明の時代に移るや各市に漸次公衆用の廣場が造られ或ものは宗教上の諸儀式に又は裁判所の法廷に使用され、或ものは純然たる今日のマーケットに使用されて、夫々特異に發達したものである。更に中古を經て文藝復興（ルネッサンス）期に入ると建物を主體とした宮城前の廣場とか寺院に附屬した廣場とかに分れて來て愈々用途別に分類出來るやうになつた。即ち現代都市の要求してゐる廣場なるものをその用途や内容によつて類別してみると普通は次のやうな形式で分類出來やう。



以下簡單に之等の内容に就て解釋してみやう。

中央廣場は主もに記念的建物を中心とした所謂建築廣場たるべきもので都市の核心地區を卜して設けられる、例を示せば、記念塔や凱旋門を圍繞したもの、宮城前、大寺院前、公館前等に裝飾本位のものを施設せらるゝ場合が多いのである

交通廣場と云ふのは交通の緩衝を主目的としたもので、從つて殷盛な街衢の交叉點とか埠頭や驛前に設けられてこそ有効である。實用廣場は或ものは公會堂や大劇場の前に駐車場として廣場を設くるとか、或は又公設市場前に群衆の混雜を緩和する爲めに設置する廣場の如きを指すのである。運動廣場



王宮前の廣場
（パリ、トロカデロ廣場）



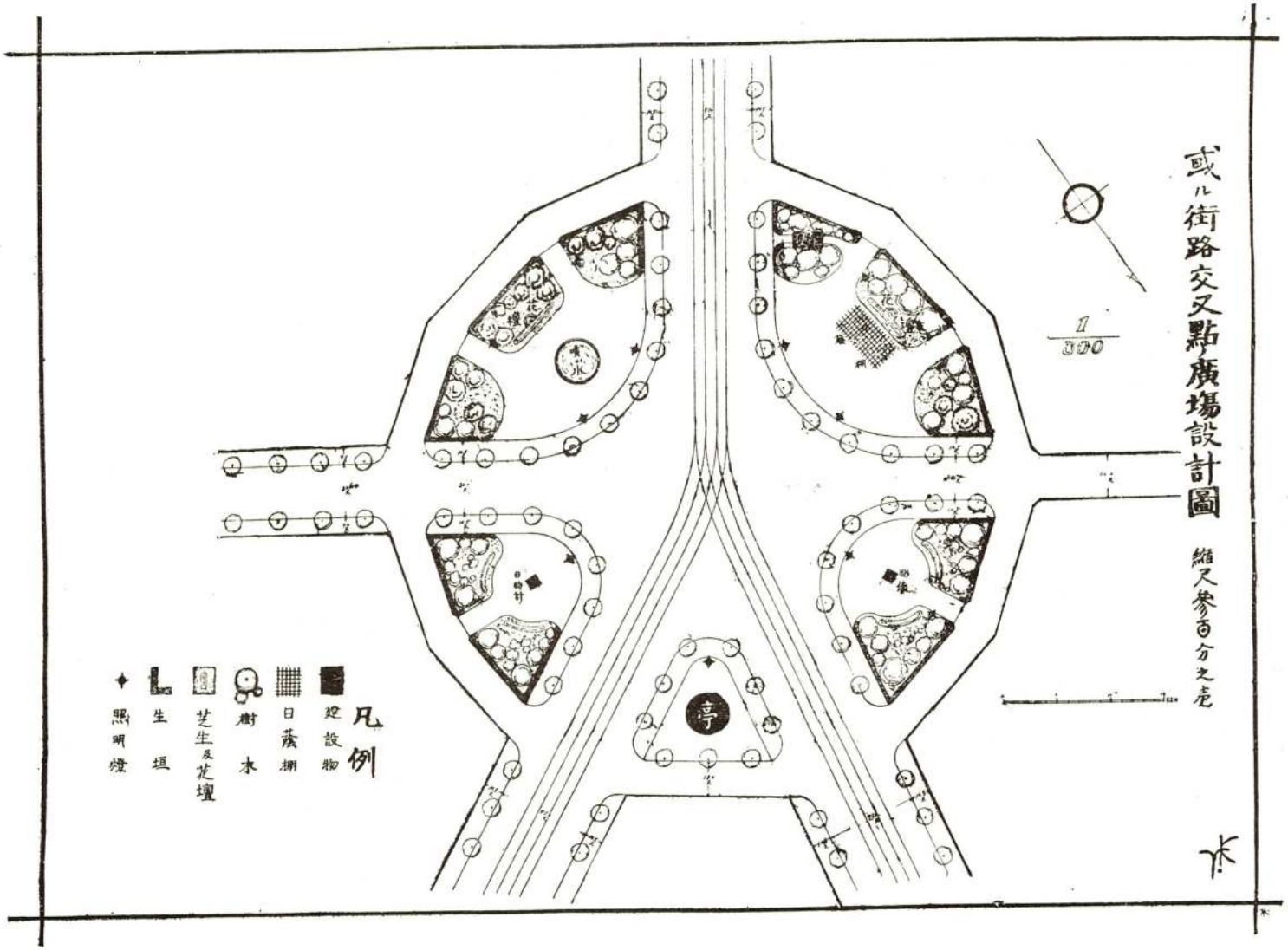
記念建築物を主體とした廣場
（パリ、エトワアル廣場）



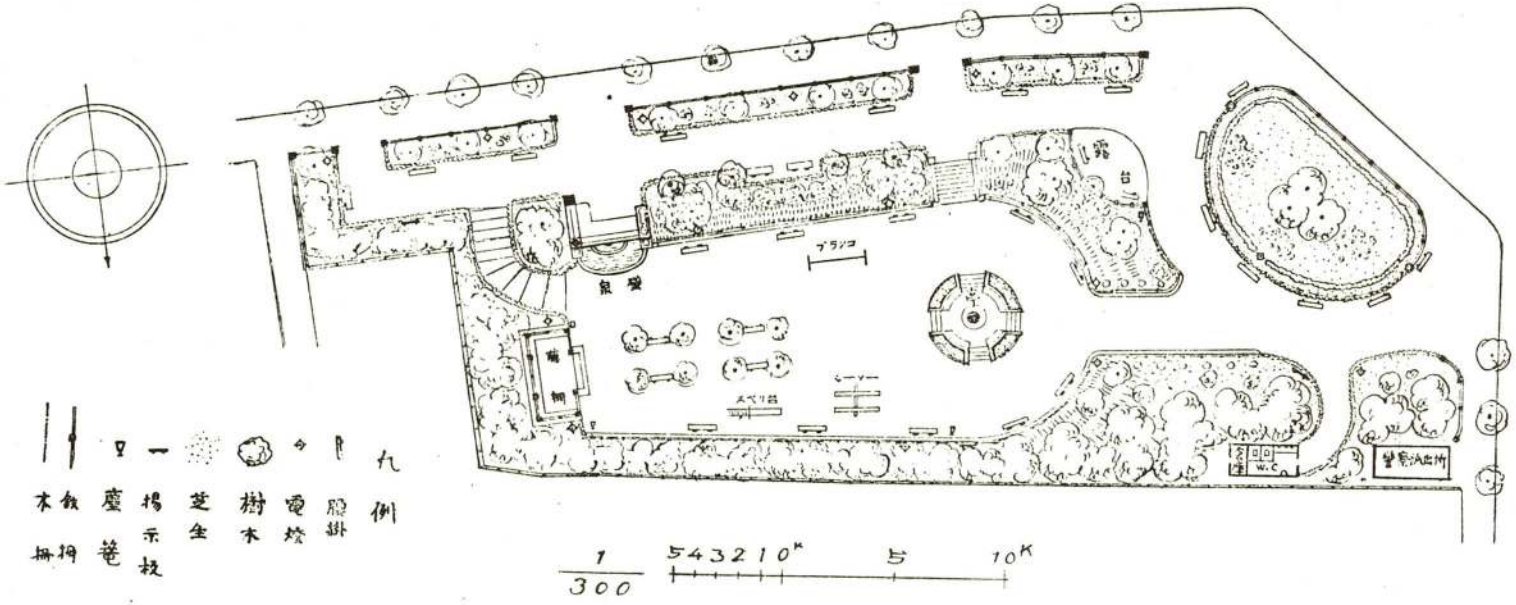
記念塔を中心にした廣場
（ロンドン、トラフアルガー廣場）

殷盛地域に介在する廣場
（ロンドン、レセスター廣場）




或ル街路交又點廣場設計圖
縮尺參百分之壹
1/300
凡例
建設物
日蔭棚
樹木
芝生及花壇
生垣
照明燈
花壇
噴水
時計
亭

上本町六丁目街路廣場



上本町六丁目廣場(大阪市天王寺區上本町六丁目) 大軌電車乘降場前に交通緩衝を主目的とした廣場で小公園を兼ねた施設がしてある面積約八百五十坪で地況は街路交叉點に直面した平坦部と遊戯場になつてゐる低地部とに分れてゐる、設備費は約二萬圓を要した。

は面積も相當廣く要し、市民の保健の向上を計る爲めに設けらるゝ準公園で、芝生地や運動具を要し、天災事變の際の避難場所としても當然役立つことが出來やう。

三、廣場の設計方針

廣場を設計するには先づ第一の條件としては周圍の建築物や街路等とよく調和することに努めることである。そしてそのプランが必ず交通上の實際を無視せない便利なものでなければならないから、設計者は實用第一主義に考へ、裝飾は第二に讓らねばなるまい。即ちその形狀、その大小、その地割を定むるには之等の各事項凡てが實用に基調を置く必要がある。

プランニングに際して最初に注意すべきは樣式の決定で、之はその周圍や地形や街路との接觸等の關係を考慮して實用本位の主幹路を中心に全體のプランを立てればよい。それで廣場の樣式はどうしても整形式の幾何模樣風なものになり易いのが當然である。形狀は大きなものは圓形若くは楕圓形(オヴァール)のタイプを、又小さなものには矩形(スクエーア)(三角形)又は半月形(クレッセント)等が適當してゐるやうである。元來廣場の大小は人家稠密の核心地區では到底大面積を占有することは許されないから、普通交通量の繁度とか建築物の大小とかに基調を置き、周圍の建物の高さの三倍位の幅を標準として決定すべきである。裝景の大要は種類によつて一定せないが建築廣場の如きは比較的面積が小さいが中心となるべき記念的建造物を主體にして、之を繞つて裝飾本位に裝景すべきである。又大きい地積のものや住居地域内に設置するものには一般に造園的施設を充分にせねばならない。之等の主躰たるべきものは主な建設物の他銅像、記念碑、噴水、時計臺、亭榭等で、樹木、芝生、柵照明燈、腰掛等は補助として用ふのである。勿論こゝに植栽すべき樹木類は多くの場合丈夫な常綠樹の喬木灌木を併用して可なるも、小數の整型したものを選び徒らに多數のものを混植せない方が好ましい。又實用廣場や運動廣場は交通廣場同樣夫々の目的を主眼に設計すべきことを忘れてはならない

四、廣場設計の一例

今大阪市の或る街路交叉點を想定して理想的に交通緩衝を主目的とする交通廣場を設計してみたのが插圖に掲げたものである。地勢は平坦地でその形狀は大體圓形に近い多角形であつて、電車軌道のある幅員十二間の主幹道路が中央で二叉に分岐してゐて、更に八間と四間との補助道路が橫貫してゐるからそれが爲に五つの部分に區分されてゐる。

廣場の周圍を商店の櫛比した三間巾の街路で圍繞してゐるこの廣場設置の目的は交通緩衝にあるからこの點に主眼を置き建造物の如きも裝飾と實用とから是非共無ければならないもの丈を設けることにした。即ち休憩所としての亭榭と日蔭棚、便所と、裝飾をかねた噴水池、日時計(或は時計臺)、彫像等でその他には芝生、花壇、生垣、柵、照明燈、飲水栓、樹木(ヒマラヤシーダー、クス、シヒ、サンゴジュ、モツコク、ウバメ、ヤツデ、ヒラド、アカシヤ、プラタナス等々)位が所要材料である。廣場の大さは道路を含めて直徑約五十間、この面積約二千二百坪で道路との境界にはカーブストンで境界線を作り、床面をアスファルト舖裝を施し、植込地と

の境は玉石緣取を施すことにしてある。この工事費には約二萬圓を要するであらう。

近く復興の東京市を始め各都市で廣場らしい廣場が實際に造り出されることであらうが、一つの都市としては記念事業としも洵に適はしい施設であると思はれるのである。曩に大正天皇御即位の大典に際し京都市では下鴨町に記念植物園を設け、大阪市では記念小公園七ヶ所（清水谷、北野、阿波座、西野田、御藏跡、木津、九條の各小公園）を市内の各所に設置した實例がある。都市が記念事業として廣場を施設することは恐らく古くから歐米の各都市でやつたことで今更こと新らしく提唱する限りではないが、明年は畏くも　聖上御即位の御大典をあげさせらるゝの折柄、自分はこの千秋の好機に於てこうした記念事業に適はしい施設を各都市で實施せられんことを希望するものである。そこで茲に本稿を草した所以であるが說明が簡に失し、各位の御了解を得るには內容が餘りに貧弱であることを恥ずるのである。不充分な點は何卒挿入の圖面や寫眞を御參照の上御諒知あらんことを望む。

（二、九、二〇）

都市が市民の保健、保安、敎化、慰安等の目的の爲めに施設すべき造園事業に屬する項目を列擧してみれば

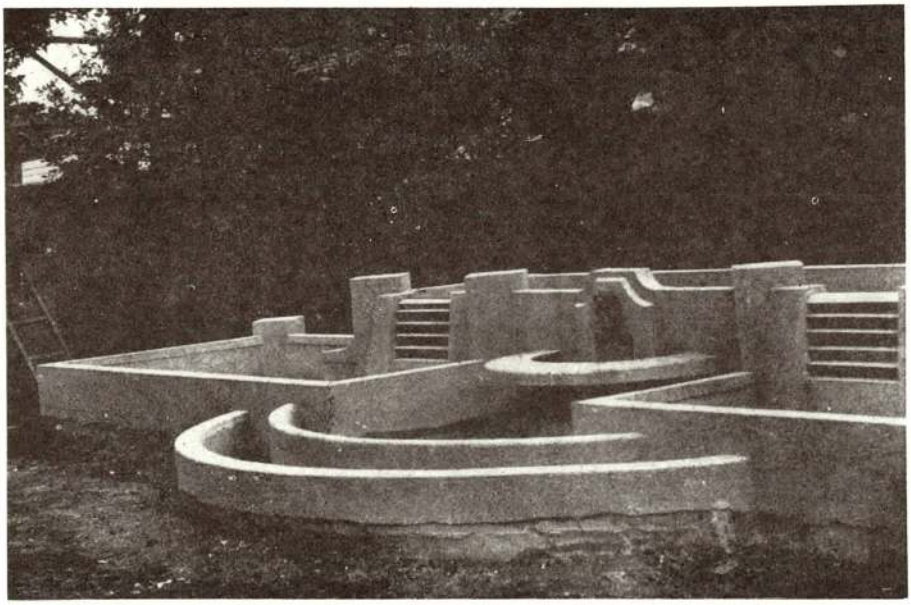
公園――廣場――競技場――公園道路――墓地園――遊園地――植物園――動物園――等々――澤山ある

今や本邦でも國立公園設置の議さへ熟して國家が形勝地や天然記念物の保存を計るやうな傾向を來したことは洵に嬉ばしい趨勢である。

都市計畫（シチープランニング）は更に一步を進めて地方計畫（レヂョナルプランニング）を要求してゐるやうな狀態で、文化の進展は日に新たなりと云ふ古い言葉そのまゝを實在に示してゐる。一つの大都市を中心に周圍に散在する近郊一圓の諸小都市を糾合して、當時の流行語を以てせば公園聯盟（○○○○）とでも稱すべき、理想的な大公園系統（グレートパークシステム）を現出するのも、決して架空なことではあるまい。恐らく畢竟ずるに時の問題のみであらう。それは既に米國では一八九三年の昔に於てマサチューセット州法で定められ、ボストン市を中心に實現してゐるのである。吾人は鶴首してこうした施設が本邦の各地で實際に見得る日を待たう。（YK生）

都市の建築と造園

龍井松之助



西洋風住宅の日本風庭園との接觸點に造れるプール――上段の池がパイプを引き左右から水が溢れて落ちる、のみならず正面小さなマスクから壁泉が落ちる、下段は正面、左右三個のプールとしてある、こゝにはリリーを入れてある(筆者設計)

建築と庭園とは極めて密接なる關係を有するものであるから、兩者の間には宜しく調和がなければならぬとは誰も云ふ所である。殊に最近さうした主張は一般から聽く所である、それにも拘はらず、實際問題となると日頃の主張とは似もつかぬ不調和なものを所々に見せられるのは、どうしたものであらうか。

私はこの事について屢々考へさせられたこともあるが、要するに造園なるものが世人によく理解されぬことに基くことが多いらしい、即ち建築は最近日進月歩の有樣で、其の樣式に於いてもまた其の構造に於いても大に誇るべきものが生れて來る。而して大都市のみならず地方的の小都市に於いてさへ、新らしいものが數多建造せられるのである。これ等の建築は何れも建築家の設計によつて造られたものだ平面や立面は勿論、之を修飾する裝飾乃至紋樣に至るまで、設計者の頭腦の働きが具現せられたものである。

然るに之に伴ふ造園はどうか、それは余りに無計畫であり、無主張である。即ち建築家が造園は自己の專門外として之を造園師に任せ過ぎるからである加之建築こそは專門家ならでは手も足も出ぬが、造園方面となると素人でもある程度まで口を出し度くなるものである。この建築家の遠慮と造園師の因襲的手法と而して素人の容喙とによつて造園が肝心の建築と不調和なものとなる場合は極めて多いと思ふ



（下）西洋風住宅建築ポーチ附近に造られたる日本風庭園（筆者設計）

（上）純西洋風の住宅の前庭として造られたる日本庭園（筆者設計）



之が個人の住宅といふ如きものならば、まだよいが、公共的建築にも往々見らるゝ現象たるに至ては大に考慮せねばならぬと思ふ。

まづ公共的建築から述べれば、其の建築が如何なる形をなしてゐやうと、更に考慮する所なく、玄關前に車廻を造り、建物の前や左右に庭木を植栽する、それ等のことは普通住宅の庭を造ると少しも違はぬ方針と手法とによる場合が多い。そこで車廻の中心に枝振りのよい高價な庭木が必要になるのである。それを少しも不思議と思はぬ程一般に造園工事に對しては無關心である。この傾向が甚ては都市の街路樹にまで及ぶことを思ふ時、私は小さな問題なりとして輕々しく看過し能はぬと思ふ。

然らば之等のものを如何にしたらばよいか、私は第一に專門家の設計を要すると思ふ。

建築が專門家の手によつて設計せられる以上、之に附隨する造園も專門家の手によつて設計せらるべきである。而して若し彼等が眞劍の立場にあるならば、必ず先づ建築そのものと其の環境を見て、如何にも其の建築に相應しく、渾然融和するのみならず、それあるが爲めに一層その建築美を發揮せしめ、延ては其の所在地を美化することゝなる。

次に彼等設計者は其の材料についても充分の考慮を拂ふべく、決して間に合はせ材料で滿足せぬであらう。其所で如何なる材料を選ぶべきかといふ問題が起る。而して更にそれが經濟的方面からも考慮せねばならぬことゝなるのである。そこに設計者の苦心があるのである。

現今東京の所々に見らるゝ官衙、銀行會社、病院、アパートメント等は大抵その庭を有つてゐる、少くとも入口には造園的施設を有してゐる、けれどそれ等のものゝ中、果して私どもが見て感心し得るものがどれだけあるであらう。而してこれから後も造園的知識の缺けたるが爲めに、如何程多くの立派な建築がその本當の美觀を發揮し得ぬのであらうか。

從來公館造園の共通的錯誤を見るに、たゞ〳〵樹木を以て窓を隱し、腰を蔽はんとするに汲々として、其所に植栽せられたる庭木そのものが形成する美觀、殊に綜合的美觀といふことについては一向無頓着である。それ故樹種及び樹姿の選擇を誤るものも少くないのみならず、並植せられたる樹木の間に、何等調和を有せぬ灌木類など植えて、只管穴を埋めやうとする。私どもから見ると滑稽な努力と云はねばならぬ。

東京のある建物の前にヒマラヤシダーのかなり立派なものを並べ植えてゐる所がある、私どもはそれだけで結構であると思ふのに、その間にツツジやサツキを植えて穴潰しに汲々としてゐるので、打ち壞してゐる。この類は決してこゝばかりではない、澤山類例を見るのである。かうした傾向は東京に多く見る所で、彼の明治神宮表參道の並木などもその一である。あの立派なケヤキだけで充分であるのに、その下には凡そ十種類程の灌木が混植され、如何にも雜然として引き締らぬ。判然と記憶せぬが、あそこには、アヲキ、ヤツデ、ヒヒラギ、ホウリウ、イヌツゲ、サツキ、ドウダン、メギ、ハクチャウゲ、アスナロ、アヂサイ等實に多種類が用ゐられ、灌木の見本園の如き觀を呈してゐる。若しあれが二列のケヤキで、其の下を芝生帶にでもしておいたらどれ程雄大なものとなつたであらうか、私はこの表參道を通る度毎に遺憾に堪

へぬのである。

それから、今一つの例は之も丸の内にある有名なる建築であるが、其の周圍に種々雜多な庭木を植ゑて大に建築美を損ふてゐるのみならず、ポーチの左右に均齊式の植栽を試みてゐる、而して其の材料の選擇を誤ることが甚しい爲め、殆んど噴飯に堪へぬと云つてよい。

また近頃東京市には到る處立派な小學校が建てられるが、その入口などにコンクリートの固さを軟げる心算であらう、盛んにソナレを塀上などに鉢植式に植えることが流行してゐる。私どもの目から見れば實に不調和も甚しい、成る程餘り固いものであるから、曲線的な、而して綠色鮮かなるソナレを以て調和せしめんといふ心持は一應受取れぬでもないが、もう一歩進んで考へたならば容易にあんなことは斷行出來るものでないと思ふ。

要するに現今公館造園の缺陷は無設計なることであるが、單なる前庭ぐらゐの計畫ならば建築家の手によつて行つた方がよい、彼等は最もよく其の建築の長所を知つてゐるので、之を活かさうと殺さうと、その方法は充分知つてゐる筈である。それ故造園は建築家の手を出し得ぬものと早合點して造園師に一任するのは宜しくない、若し一任するなら充分素養ある本當の造園技術家に依頼すべきである。

然るに其の材料となると幾分專門的知識を要するので、如何に美觀を呈するものと雖、地方によつては用ゐられぬ所もあり、また同一場所でも日光の充分なる場所と不充分なる場所、また高燥なる土地と低濕なる土地とによつてそれ〴〵材料を異にせざるを得ぬのである。これ等は充分專門家に相談するがよい、而して餘り多種類の樹木を同一場所に用ゐることは兎角失敗し易いものたることを承知しておかれたいと思ふ。

かく建築物を修飾するための造園は飽くまで建築が本體であるといふことを忘れてはならぬ以上、其の設計も建築本位にせねばならぬ。而して使用材料も其の形、色等が建築と如何なる交涉を持つかといふことも大に考慮せねばならぬので單なる流行等に惑はされることがあつてはならない。例へばある建築にシユロが如何にもよく調和した爲め、西洋風の建築にはシユロが最もよいなどゝ考へるのは早計である。同じく西洋風の建築と云つても水平線の勝つたものと、垂直線の勝つたものとではその造園材料も大に違つて來るので、そんなことは一概に云へたものではない。

次に住宅について少し考へてみやう、これは公館と違つて個人の趣味の最も多く加へらるゝものであるから、私も大抵主人の希望によつて設計してゐるが、どういふものか近頃は建築が西洋風になりつゝあるに拘はらず、其の庭は日本風のものを好む人が多い。これは私が日本風庭園を手がけてゐるといふので依頼者が、自然さうした人のみであるためかも知れぬが、兎に角西洋風建築の庭として殆んど純日本風の庭園を造る場合が多い。

其所で我々の間にも、西洋風建築と日本風庭園とは調和し得るかどうかといふ疑問さへも起つたことがあるが、私の經驗では、調和は勿論、土地經濟の上から云つても、それは甚だ都合がよいと云ひたいのである。

併しながらこゝに考ふべきは飽くまでも其の建築美を破壞

せぬといふことである。そのために充分用意されたる設計の必要が起るので、私は無設計の庭を造つたことがない。之は單に其の完成した場合の姿を豫め知らしむるのみならず、豫算を組む上に於いても必要缺く可らざることである。

純日本風の住宅は云ふまでも無いが、縱令それが西洋風の住宅であつても、今日では多くの場合其所に日本風の一部を伴ふやうである。從て同一住宅でありながら一部は西洋建築であり、一部は日本建築であることが極めて多い。それ故庭そのものもこの二つの異れる樣式の建築の間に介在して兩者の何れとも不調和であつてはならぬ、それが狹い庭であればある程注意深く攻究せられねばならぬのである。かゝる場合に日本風の庭を造ることは最も好都合である。

造園材料は主として自然材料である、それ故、その取扱如何によつては最も自由に種々の人工的建設物と調和せしむることが出來るので、西洋風建築なるが故に直に西洋風の庭を造らねばならぬと思ひ、意匠拙劣なる日時計を置いたり、建築そのものと全然かけ離れたる花壇を造るなどは愚の骨頂である。

私は勿論西洋風庭園を否定するものではない、けれどもそれがあらゆる場合に無條件に造らるべきでない、寧ろ日本庭園を造り得る場合よりも、それが少いと云つて宜しいと思ふのである。このことに就いて詳しく述べれば、相當意見もあるが、こゝには省略しておく。

さて都市の住宅庭園を見るに、その敷地が地方の如く廣くないのを常とする、其所でその狹い土地を如何に美化するかそれは設計者の手腕に待つ外ないが、樣式から云ふと日本風の庭園が比較的便利であると思ふ。殊に茶庭風のものが存外西洋建築とよく調和するなど興味あることである。私の經驗からいふと、建築と庭園との接觸點に最も注意を拂ふことが必要で、たゞ西洋風建築と日本風庭園と二者が何時でも調和するといふのではない。私はヴエランダから庭の飛石に移る個所など常に相當の注意を拂ひ、建物前のペーヴメントなどは非常に六ケ敷いものであると思つてゐる。

右の如く私は從來庭師が何等深く考へずに西洋建築の庭として日本風の庭園を築造するが如きとは稍々趣を異にしてゐるので、常に建築そのものを本體とし、その如何によつて筆法を變へてゐるのである。この點は誤解なきやうに願ひたいと思ふ。

それからもう一つ將來の都市庭園について考へたいことは土地節約の結果だん〳〵內庭が狹められて、終には圖案的のリリープールとバーゴラぐらゐの切り詰めたものとなり、それも許されなくなると壁面を利用する各種のウオール、ガーデンが流行するやうになるかも知れぬ、つまり平地が狹められると庭園が立面的に發達して行くかも知れぬのである。さうした場合には必ず入口の前庭が重要視せられることゝなるであらう。現今も都市の住宅では稍々この將來の事を思はしめる傾向が見えて、門、墻などを中心とする前庭に力を入れてゐるものを見受ける。たゞ今日ではそれが未だ綜合的に研究されて居らぬのを遺憾とする。

今後都市の發展は止る所を知らぬであらうが、さうなると庭園はだん〳〵狹められ、綠の色は公園かプールバール以外に求められぬやうになるかも知れぬ、かゝる場合に一層前庭

の必要を感じて來るであらう。

以上は極めて思ひ付きの儘を述べたものであるが、最後に少しく都市の造園材料について述べておかう。

造園材料の最も重要なるものは樹木である、けれど有害瓦斯の多い都市に於いて、また日當り宜しからざる場所多き都市に於いて、その天然の美觀を保ち得るものに如何なる樹種があるか、それが第一に研究せらるべき問題である。

例へば東京市内外は江戸時代の庭園が多く殘されて居つた私の子供の頃にはまだ麹町、牛込、四谷、赤阪邊には隨分幽邃な庭が殘存してゐたやうに思ふ。

然るに現今の有樣はどうであらう、彼の大震災なくとも之等の古い庭園は樹木の枯死によつて何れも滅びねばならぬ運命を有つてゐたのである。

昔江戸の庭にはモミやスギ、ヒノキの大木を有するものが多く、殊に其の最も重要なる部分には盆栽の如く雅致あるアカマツが多く用ゐられてゐたものである。それが今日ではどうであるか、モミやスギの大木など東京市内外の何處の庭に殘つてゐるか、何れも煙害を被つて枯死して了つたのである而してアカマツの立派なるものも同樣の運命の下に、だんだん失はれて行くのは事實である。

右の事情は何時まで續くか分らぬが、今後も容易にモミやスギやアカマツの生存に適する狀態にはならぬと思ふ。其所に都市に用ゐらるべき樹種が攻究せられねばならぬ必要を見出すのである。

されば と云つて、モミやスギやアカマツを失へる日本風庭園は全然飛び離れたる材料を用ゐることを得ぬので、最もよくモミ、スギ、アカマツ等の趣を出し得る代用品を見つけねばならぬのである。之はホンの一例に過ぎぬが、かうしたことは今後も都市に於ける庭園築造の上にかなり重大なる問題であらう。

今日私どもの用ゐてゐる樹種は極めて多いが、それ等のものは何れも都市の惡い條件を考慮して選擇したもので、必ずしも古來庭木として用ゐられてゐるものばかりではなく、新らしい材料も用ゐるのである。（外國種といふ意味でない、昔から庭木として用ゐられなかつたものを總稱するのである）殊に日蔭に堪へる樹木は都市の造園材料として最も貴重なるもので、これ無くして都市に於ける庭は造り得ぬと云つても宜しい。

尤も日本固有のもの丶外、外國の樹種も用ゐるが、之を用ゐる場合には他の樹木との調和をよく考へぬと失敗することがある。

それから樹木といふもの丶外に、材料として岩石がある。これも矢張り造園上重要なるものであるが、之は自然形で用ゐるものと、加工して用ゐるものとある。併しその形や色は建築と而して樹木の形や色とよい調和を有つものが宜しい。加工材料としては水鉢や燈籠など日本在來のものも西洋風建築の庭に用ゐて少しも不調和でないと思ふ。要は造園が綜合藝術たることを忘る可らずといふことにあるのである。

庭園は住宅の延長

——舊日本型から新日本型住宅へ——

會員　本間乙彦

原始人の生活に遡りて

人類がこの地球上に出現した時代が茫漠として久遠な昔であるのに比して、現代人の持つ有史後の文化は極く僅かな年代を經ておるに過ぎません。この數萬年或は十數萬年と云はれる永い間の原始人の生活はどんなものであつたか。温暖な氣候の續いた時代には彼等は終日屋外に生活し夜は樹下石上に寢ね、全生活を大氣中に送つて醫藥を知らぬ彼等にして猶野獸のやうな健康を保つたでせう。其後割合近い昔まで續いた氷河時代の酷寒に彼等は始めて本能的に暖を保ち安住の場所を得る必要から自然の洞穴を求め粗末な小屋を營んでこゝに外氣から區切られた室内生活を知つたと考へられます。然し其時代にも彼等は食をあさるために殆ど終日を屋外に暮し、洞穴や小屋は唯夜の寢所であり風雨其他の危害からの隱れ場所に過ぎなかつたでせう。

即ち優れた文化をもつ現人類の祖先たちは獨占的庭園こそもたなかつたが廣大なる大自然を彼等の庭として、のび〳〵と生存したのであります。

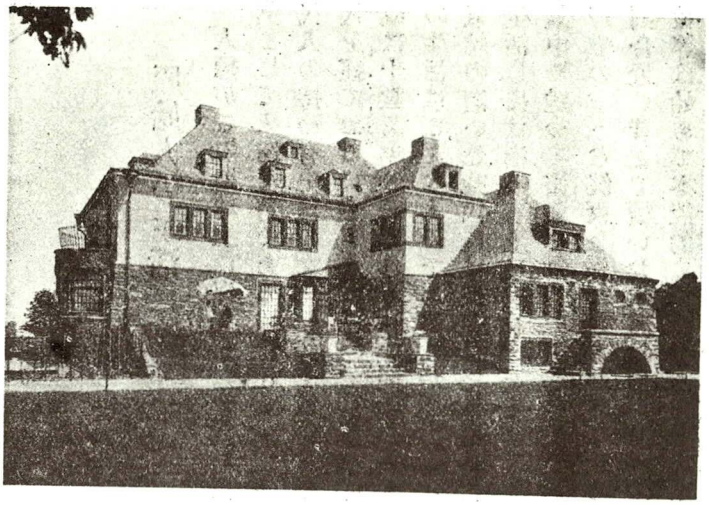
文化と健康は並行するか

有史後の時代は國により四五千年乃至二三千年であるが絶へざる血なまぐさい人類相互の爭闘の歷史に終始しておる。その反映は住宅を城塞的ならしめ、新しい罪惡を知るに從つて互に門戸を閉して排他的となつてゆく。又益々進展する文化が職業の分業を必要とし、生活が複雜化するに從つて屋内生活の時間を延長せしめたことは人類の健康に影響して諸々の疾病に患まされる主因となつたでせう殊に北歐に定住した蕃族—今の北歐人の祖先たちである—は之に加へて險惡な氣候や寒さと戰はねばならない環境におかれて益々屋内生活の習癖を助長して今日の北歐型住宅が生れたのであります。

惠まれた明快な自然の懷に生育した南歐型の住宅に比して、北歐型が如何に陰慘な影を留めておるか、大自然を敵視した形式であります。自然に惠まれた住宅には切り離すことの出來ない密接な關係で庭が附屬しております。あたかも住宅の一部の樣に。

住宅形式の世界化

最近世、即ち十九世紀後半より現今に至る短年月に於ける文化の進展のめまぐるしさ——今まで地球の陸面を種々の色に塗り分けて民族性を濃厚に見せておつた文化はこの期間に段々灰色化して民族獨自の文化を保有することが困難となり



北歐型住宅の一例
これは獨逸の近代住宅ですが如何にもいかめしい外觀を示して居ます。下圖の南歐型にはどことなく軟か味があり、さはやかに風薫る南國にふさはしいものであります。



南歐型住宅の一例

ました。

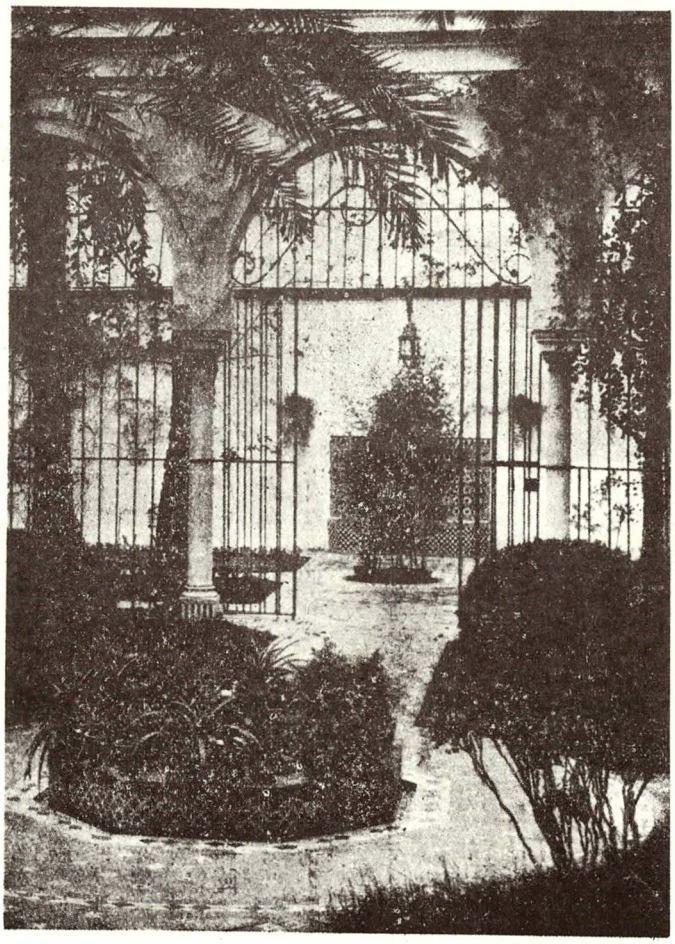
住宅の形式に就ても同樣であります。殊に我國は、現世界文化の主流をなす歐洲文化に遠く離れ、且長い間門戸を鎖ざしてゐた關係上、それが一時に流れ込んだ明治時代以降の混亂狀態は格別であります。世界各國の建築樣式が展覽會場のやうに展開してゐる日本の都市の現狀を見られよ——アメリカ流の高層建築、ドイツやオランダ流の新建築古典建築、英國風のレネーサンス建築等々を點綴して舊日本型の木造建築があります。日本以外の國では一寸見られない都市景觀だと思ひます。わが建築家は自分のものゝやうに世界各國各時代の樣式を取扱つてゐます。これも建築物の目的により或は表現をたすけるためには便宜上結構なことでせう。

住宅建築に於てもわが建築家は世界で一番新しい形式と目されるものをいち早く移入することに勇敢でありました。然し多くの場合それは皮相的即外面的の形式の問題のみに拘泥して內容が等閑に附せられてはゐなかつたか。少なくとも住宅がわれ等の生活の容器である以上、建築家が自由に立面や平面を設計する手輕

さで、われ等の生活形式を變へることが出來ない以上、この種の新らしい住宅も内面的には多分の舊日本型要素を殘存せねばならない矛盾に陷るでせう。住宅の本質は内面的に考へられるもので外觀は第二次的のものと思ひます。この外觀のために住宅の本質が損せられた塲合の如何に多きことか。

舊日本型住宅と庭園

舊日本型といふ言葉は決して侮辱すべきものでないと思ひます。新人を以て自任する一部の建築家がこの舊日本型の破壞を建築の新運動のやうに考へて異國型を無上のものゝやうに盲目的に禮讃するのを不思議な事實と見てゐます。わが國將來の住宅の形式としては舊日本型から芽ばえた新日本型以外にあり得ないと思ひます。わが祖先たちがこの國土に安住して幾千年の尊い經驗の産物である、この舊日本型を無視してわれ等の將來の住宅形式が得られるであらうか。重ねて言ふ、『われ等の住宅はわれ等日本人の生活をもる器である』と。住宅と庭園とが殆ど一體に融合された舊日本型住宅をもつことはわれ等の誇であらねばならない勿論、頑迷な國粹論者流に舊日本型全部を保てといふのではありません。構造や設備の不備缺點は躊躇なく改めねばなりません。唯舊日本型住宅の本質的構成に就て云ふのであります。深い軒の出時に應じては外界と無境界となし得る窓や椽側の構造、襖の間仕切り等々は皆深い意味をもつて舊日本の文化では絶對的のものであつた筈です。われ〳〵は舊日本型住宅にあまりに馴れてその缺點許り目に付いて美點を忘れてゐたのではありませんか。



スペイン、セヴイルの或る南歐型パチオ

庭園は住宅の一部である

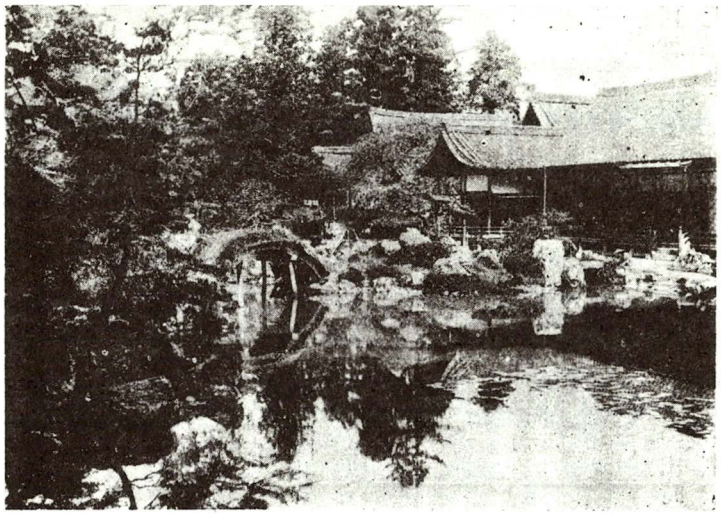
舊日本型は外氣に對して殆ど開放的な建築で、時には庭と住宅との區切りを撤して庭を住宅の延長として見たのであり

ます。庭はわれ〳〵の生活になくてならない住宅の一部として發達したのであつた。こゝでは南歐型の住宅が露天の庭を中心に構成される以上に庭と住宅は深い關係をもつてゐます。

今日迄わが國に最も多く移入された形式は北歐型でそれが日本化して文化住宅型なる一種變態的タイプをなしております。この北歐型はわが國のやうな多雨多濕の風土には、夏、毛皮の外套をきたやうに住みにくいものです。即此型の特性は劃然と壁體で住宅自體を外界から獨立させることで全く舊日本型と反對の行き方であります。通風や採光以上に寒さを極度に恐れた結果が壁面を多くし庭は四角な窓を通して眺める位置におかれてゐます。即ち庭はあつてもなくても良い程度で住宅に附屬して居ます。舊日本型の庭が内面的意義をもつてゐるのに對して北歐型の庭は外面的即住宅の外觀を美しく見せることに力が用ゐられてゐます。

天與のグリーンルーム

北歐型の住宅にも時にグリーンルームが加へられます。一種の庭の住居侵入でせう。然し我々の舊日本型の住宅は座敷の前一面に擴がつて、春の雨、夏の朝四季を通じそれ〴〵趣の違つた眺めの天與のグリーンルーム――庭園を持つてゐます。



舊日本型住宅の典型たる寢殿造り（京都三寶院）

北歐型住宅はその祖先の未開時代の遺風を多分に存しておるやうに思はれます。即氣候の脅威や外敵の迫害からその住宅を保護する點に絶大の努力が拂はれてゐます。國情や環境を異にするわが國に北歐型住宅の不適當なことは當然すぎる話です。

北歐人の血を多く受けておるアメリカ人ですら、祖國を遠く離れて新らしい國土に移住して短かい年月の間に、彼等の新しい鄉國アメリカの土から芽生へたやうなバンガローなる一の住宅型を創成したではありませんか。それは祖國と異つた鄉土に彼等が健康を保持しより樂しく生活を適合せしめんとした努力の贈物でせう。

住宅の形式はその鄉土に芽生へたものでない以上一時の流行を見るのみで永久性をもつて樣式化する筈はありません。

自然に同化した舊日本型

多くの民族の住宅形式が永い過去の陰慘なる歷史を反映してゐるのに比して、わが日本人は建國以來惠まれた環境において悠々自然を樂み自然に同化してその舊日本型住宅を得たのである。住宅の形式はその民族の過去の歷史を如實に語るものであります。實に舊日本型住宅は

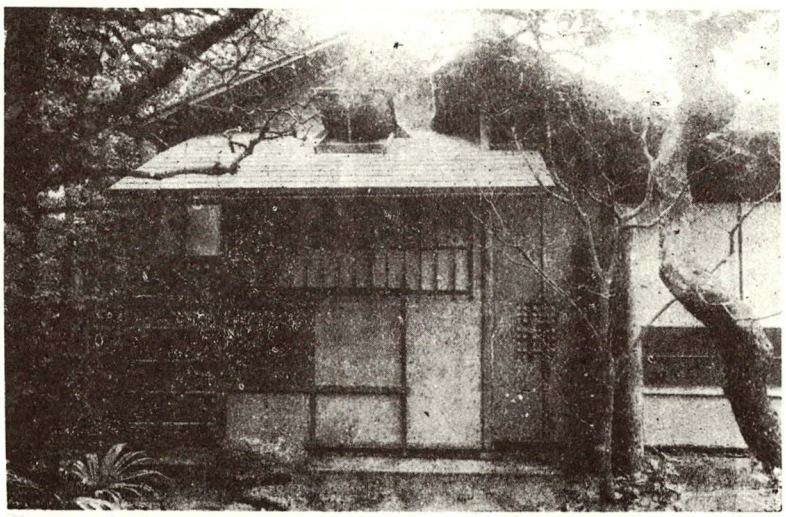


庭園と住宅の境界が判らない程巧に結合された舊日本型庭園

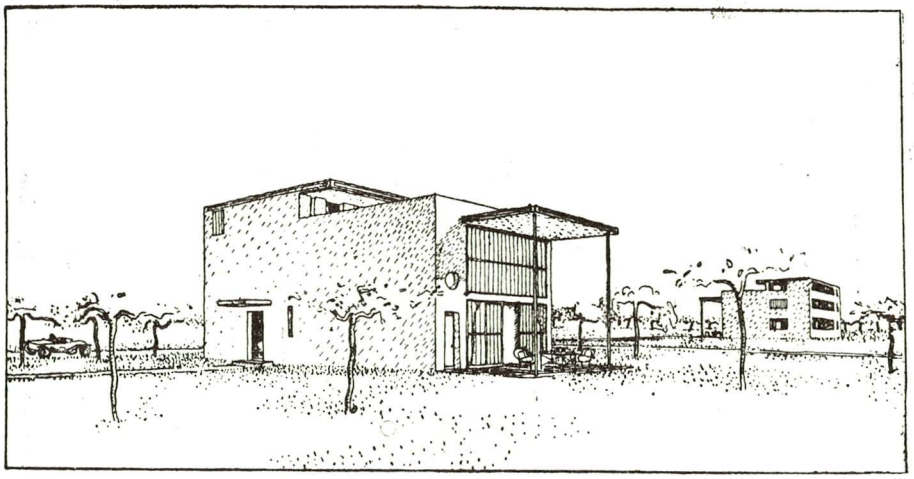
建國以來かつて他民族の侵入迫害を受けたことのない尊い歴史を雄辯に語つてゐます。原始生活時代に親んだ大自然を庭園の形式で住宅に取り入れております。今や、この舊日本型が過渡期の常として失なはれやうとしてゐます。庭園を住宅の延長として扱つた住宅形式の破壊であります。この形式を破壊するものは異國型の模倣のみではありません。近代社會組織の發達に從ひいよ〳〵著しくなる都市中心文化の傾向が田園の居住民を馳つて都會に集めます。そしてその大半が借家生活をすべく餘儀なくされます。この借家生活者のために資本家の手によつて提供される住宅が舊日本型を破壊する結果を見せてゐます。これ等の住宅は新日本型に達せず舊日本型の美點をすて、缺點のみを留めてゐます。特に重大な事實は庭園を無視した點で庭園を除けば舊日本型住宅の價値は半減されるでせう。

日本型の逆輸入?

嘗て舊日本型住宅形式破壊の急先鋒で北歐型住宅の禮讃者であつた一部の新建築運動者の主張を根底から變へさせるやうな、新らしい住宅の形式がフランスやドイツの一部に表はれつゝあります。廣い壁の面や、勾配の急な屋根に對照や均



舊日本型住宅の特徴を遺憾なく發揮した茶室の一例

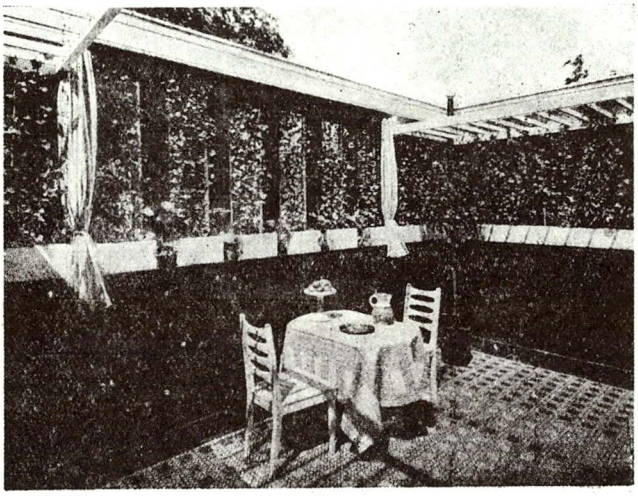


機能主義的新住宅

齊を考へて美的？に並べられた殆ど同大の狹少な窓をもつ北歐型住宅の鄕國に見方によれば舊日本型の特長を巧みに取り入れた新らしい形式が生れつゝあります窓は內面的必要に應じて汽船のキャビンの丸窓の如く小さく、時には工場かアトリエの窓のやうに大膽に大きく開けられてゐます。そして壁が次第に撤廢されて室內と庭が連絡される傾向に進んでゐます。窓の大さが室內からの要求によつて決定されるのは當然すぎる話です。住居が庭へ延長して行くのは屋外或は半屋外にもわれ〳〵の健康を助ける樂しい生活のあることが忘れられてゐたのを再び發見したまでゞあります。しかし舊日本型住宅にはこの二つが古くから完全に行はれてゐたのであります。新らしいこの傾向も或は慧眼なる外國建築家が舊日本型に暗示を得たものであるかも知れません次に現實の住宅と庭園の問題に就いて述べて見たいと思ひます。

貸屋住宅と空地の問題

現今の大都市のやうに地價が暴騰を來たしては營利本位の貸屋住宅に、資本家が空地を極限まで縮少しやうとするのは無理ならぬ次第です。法定された四割の空地さへ彼等の眼から見れば迷惑至極でせう。然しこの四割といふ數字は保健の目的から定められた最少限度を示すもの



屋上庭園

北歐住宅の一例

に相違ないが空地を庭園として有效に用ふるには少なくも敷地の五六割が必要でせう。現在の借家住宅の四割の空地は大部分は四圍の軒下で占められて、露天の

部分が何程殘されてゐるか。其上泥棒除けに出來た高塀があつて切角保健の目的から定められた空地も殆ど用をなさず通風も採光もゼロで從つて舊日本型としての働きは無價値です。此種の住宅は木造の舊日本型が多いのであるが殆どその美點をなくしてゐます。然し建築家は資本家の營利主義にいつまでも盲從せねばならないものだらうか。否、手段はいくらでもあるでせう。

一、消極的方法であるが空地を浪費する軒の出を少なくして庭園として利用し得る露天の空地を多くする事であります

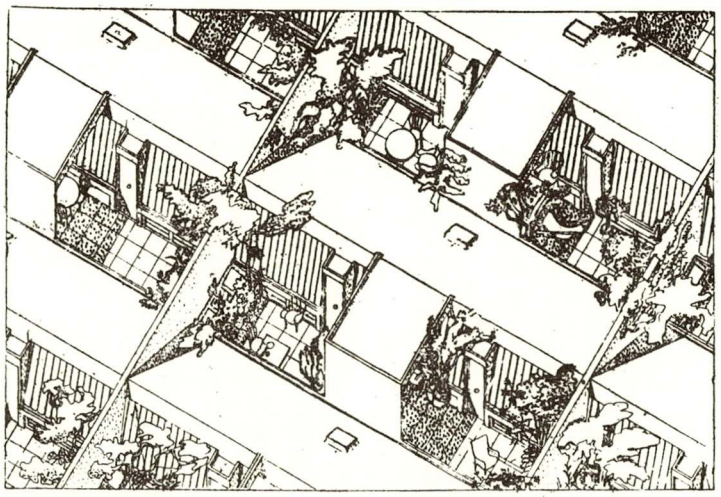
二、稍積極的に、近來長足の進歩を見せてゐる防水材料を應用して陸屋根の屋上庭園として保健上空地の補ひとなすことです。

三、相對的の話しであるが必要で有効に庭園をとつてその坪數をも借家賃に算入することです。これまで小住宅が建物の廣さのみで家賃幾何と定める習慣であつたのを『幾坪の庭園付幾室の住宅貸幾何』と改めることです。これならば庭をゆつたり取つても採算がとれるでせう。

かくすれば現在都市居住者の熱望する小住宅に近いものが得られるでせう。勿論形式は舊日本型の美點を發揮せしめその缺點を進歩した現代建築術で補ふことであります。

不良住宅改善と庭

人は室内よりも室外殊に清澄な大氣中に長時間を暮す方が健康狀態が良好でせう。同じ室内で暮すのでも狹く暗い汚濁した空氣の室よりも廣々した明るい風通しのよい室に暮す方がより健康であり得ませう。不良住宅はこの二つの悪い條件のみを備へたものと見ることが出來ます



屋上を庭園に用ゐた集合住宅の一例

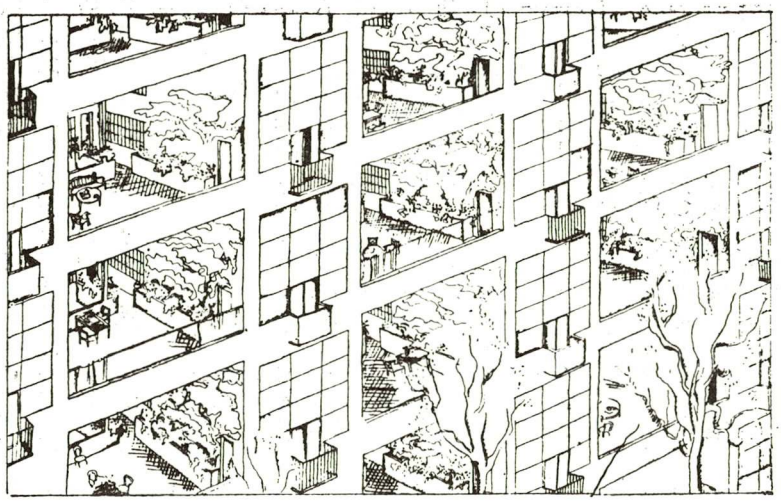
不良住宅居住者が一人當りに占め得る空間は幾何であるか？　庭と稱すべき空地の存在しないことも當然すぎることでせう。近來、社會施設の一端として大都市の不良住宅改善が各方面に企てられてゐるやうです。その目的にはなるべく切り詰めた經費で多くの世帶を收容し得るアパートメントの形式が撰定されることでせう。

外國に發達した集團式のアパートメントが民族性を異にするわが國にそのまゝ移入されても良好の成績を擧げ得ないことは明らかでせう。どの程度まで保健狀態を良くし、悲慘な彼等の生活を幸福に導き得るか。

アパートメントにも庭園を

住宅經營の最も資本化された形式がアパートメントである以上、耐震耐火等の構造物とすることや水道便所排水等々の衞生設備を完全することもさまでで困難はありますまい。現在横にだゝつぴろく擴がつてゐる不良住宅を同大の敷地に竪に積み重ねるとしたら充分の空地が得られて採光通風共申し分のないものが出來る筈ですが事實は理想通りには參りますまい。不良住宅に限らず貸家住宅まで次第にアパートメントの形式をとるやうに

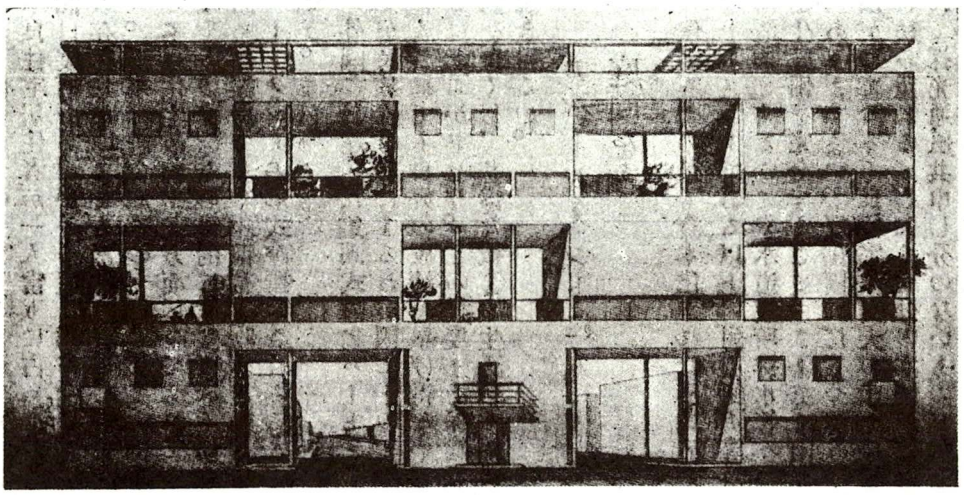
なれば、國家或は公共團體等の手のみでなく、一般の資本家も亦この計畫に參加



一區劃毎にオープンポーチをもつたアパートメントの例

することになり、空地が最少限度まで縮められて一世帶毎に露天の空地を占有しないアパートメント生活は以前よりも一層保健狀態を惡化する結果にはなりはしないか、大に考慮せねばならない問題だと思ひます。舊日本型の庭は保健上必要である以上に生活を樂しくさせる役目をつとめてゐます。この各人が自由になしうる小天地である庭をアパートメント居住者は奪ひ去られるのであります。われ等日本人は裏長屋の住人でも尺寸の空地に築山を造り物干に朝顏棚を樂しむ風流な人種です。その人達が四角な建物の一區劃毎に生活するとすれば彼等は如何に寂寞を感じることでせう。地上の空地や屋上に庭園を造ることも結構ですが、猶彼等の本能的な庭に對する慾求を滿すに足らないでせう。この目的には建物を貫通したオープンポーチを設けて日當りのよい部分を彼等の小庭園とし一面、半屋外の生活を樂ましめることです。この設備は外國の建築家にも企畫されてゐますわたくしはこれを舊日本型住宅と庭園の關係におきたいと思ひます。

美はしい傳統をもち、住宅と庭園の關係に洗練された形式をもつ舊日本型住宅を母胎として、新日本型住宅の創成される日を待つものであります。



貫通したオープンポーチをもつたアパートメント

新刊紹介

北但震災誌

大正十五年十二月十五日發行兵庫縣編纂北但震災誌は近來まれに見るの快著である、誌は四六倍版二百餘頁にして當時の同縣知事山縣治郎氏の謹厳なる序文に始まり第一編、大震火災と其の被害の項に於ては災害の一般的狀況を述べ更に人及住宅に關する被害を詳述し加ふるに六十近き挿繪を以てし全部優良なる紙質と鮮明なるコロタイプ版刷とは共に相俟つて一々當時の實況を眼前に髣髴たらしめ避難、救助、破壞等の狀は今尚悲壯なる當時を回想せしめるに充分である、災害に於ける統計等に就ては流石にお手のもの丈に微に入り細を極め良く行き屆いてゐる。

其の他産業上の被害、交通通信機の被害、學校、衛生機關、社寺教會及名勝國寶其の他の被害官公署、溫泉等の被害及京都府下の災害等に就き詳細を極めて居る。

第二編罹災者救援其の他の應急施設に於いては至尊の御救恤から當時の擧國一致的救援の狀を盡し保安、衛生、住居、飲食、衣服と萬事手落なかりし當時の緊張振を示し特に海外よりの援助に對しては本誌の出現は好個の答禮となるであらう。

第四編復興事業に於いては罹災地住民の忍耐的精神を如實に物語てゐる。

附錄　震災に關する學術的報告は皆現在の大家を以てし我が國の如き地震國に住む國民にとつてはよき參考資料となる　要するに本書は豐富な資力と獻身的努力を以て些かの遺憾なきを期した良書であると同時に北但震災の又なき記念物であると思ふ。只憾むらくは非賣品である。

建築年鑑

（昭和二年版建築世界社編纂）

年鑑と稱せらるゝものは種々あるが我國に於て建築に關する年鑑は斯書が唯一最初のものであらう。建築世界社が多大の資力なり努力を拂つて率先萬難を排して昨年其第一回を刊行し今又第二回を梓せられたる同社の勞を多とする。

全編を分ちて五編とし、近代建築界の大勢及歐米建築界の趨勢、大正十五年の我が建築界、建築材料、學藝會建、築關係者及附錄となつてゐる内容については斯種の編纂が難事業なるだけ大いに同情する點はあるが又物足らぬ節もある樣である、地方殊に大阪方面が少しく東京に比べて閑却されてゐるかの樣に見へる所のあるのは實際已むを得ない事情からかも知れないが遺憾である、發行日の關係から考へて大正十四年頃の記述を所々散見するのはどうかと思はれるしかし全體としては編輯よく行屆き建築に關係ある人は勿論、一般人にとつても參考書となり之に由つて多大の便益を得る事と信ず、紹介子は同社が興望を負ひ益々奮勵努力以て建築年鑑の年と共に完璧に近きものを刊行されんことを冀望する。（定價一册七圓、建築世界購讀者は五圓、發行所東京市京橋區佃町二一建築世界社

訂正及正誤

古宇田氏記事中第十輯第九號

本文中挿圖及本文

頁行	2頁挿圖	3頁挿圖	3頁5行	3頁13行	4頁挿圖	4頁24行
誤	テイホク	アルバレ	水が馬の	建築の柄の	ルラリの彫刻	ラフアエロが始りで
正	テイポリ	アルバニ	水が人や馬の	建築の樣な柄の	ルテリの彫刻	——が始めて

頁行	4頁25行	5頁11行	5頁13行	7頁7行	8頁下段挿圖
誤	古城を	若し天然	マジヨーン湖	ノールにより大規概	———————
正	古城門を	若しくは天然	マジヨーレ湖	ノートルにより大規模	タータルガの噴水 ガアコモ、デラ・ポルタの意匠

挿圖の文字

頁	6 Page.	7 Page.
誤	ボルゲー×別莊	ヂマのアヂルベヨーレ……（薄肉のルネツサン×の傑作）
正	ボルゲーゼ別莊	ベルヂアのマヂヨーレの噴水（薄肉はルネツサンスの傑作）

頁	8頁	9項	10下段
誤	羅馬、ヌオーバ廣場三噴水の内	ボルニヤ	ピテルボ、テルテ
正	羅馬　ナボナ廣場三噴の一、モーロ噴水	ボロニヤ	ピテルボ、モルテ

社團法人日本建築協會會報

會合

○臨時常務會

昭和二年九月五日自午後五時至同八時
出席者
理事　片岡君
常務　坪井君　松室君　阪口君
德政君　吉井君　谷君
池田谷君　八木君

報告
一、建築學會主催講習會ノ件
池田谷第二部幹事より同會の準備其他に付經過報告ありて承認

決議事項
一、常務會決議事項再議稟請に關する件
六月常務會に於て決議したる事務所移轉先の件は實際と相違の點あるに付主計常務より再議稟請ありたるが協議の結果主計常務之を撤回し只移轉に要する經費支出に付協議のことに決定
一、事務所移轉經費に關する件
移轉經費豫算原案否決、現在の儘移轉し移轉後新規購入の什器具並に修繕に付考慮することに決定
一、定例常務會（九月）の件
十日の定例常務會の本日の會合を以て之に代へ開會せざることに決定
一、建築職工講習會開催の件
每年擧行の大阪市、建築業協會關西支部及本協會主催職工講習會に付池田谷第二部幹事より開催の項序、經費支出の件提案あり承認のことに決定
一、九月例會に關する件
本月例會は講演會とし講演者は常務より交渉のことに決定
一、會員入退會の件
左記諸君の入會を承諾すること
普贊
梶田　四郎君　豐田　逸治君
清水　英君　中西　長次君
松本　武夫君　丹羽　貞君
左記諸君の退會を承認すること
會員
池田長太郎君　中出　丑三君
松澤　一松君　田中　勝君
普贊
橋本　秀齊君　請地亨之介君
松尾　庄二君　川崎保太郎君
北森　竹松君　澁川　彦衛君
藤野松九郎君　福島　雅男君
寺田　熊雄君　山口　謙造君

○第二部委員會

昭和二年九月三日自午後五時至同八時
場所　江商ビル大湖食堂
出席者　池田谷君　小笠原君　安井君　酒井君　姫野君
議事
一、建築學會主催講習會の件
講習會次第書の審議、申込締切期日同會規程書配布先、各新聞社へ依頼狀、立看板等に付協議
二、大阪市、建築業協會及本協會聯合主催建築職工講習會開催の件
講習科目、三者協議會出席委員等に付協議
三、右二件の經過報告を池田谷幹事より常務會に報告承認を經ることに決定

○第三部委員會

昭和二年九月十三日自午後五時至同九時
場所　江商ビル大湖食堂
出席者　松室君　下浦君　岡部君
佐藤君
左の評決をなす
一、近時種々なる「ルーフイング」、「アスファルトフエルト」等の防水材料の新製せられて其價格從來のものに比して著大の差あり、而も其効果は從來の製品に比して更に遜色なしと云ふも果して其標榜するが如き効果を有するものなりや疑はしきものあり、「ペイント」、「防水劑」、「壁塗材料」其他に於ても續々新製品の出現を見るも其等の材料の品質判定は甚だ困難にして建築關係者が安んじて使用し難きもの尠からず此等の新製品は建築の改善進歩の爲續々製産せらるゝことは甚だ喜ぶべきも之が標準規格を定め何れも夫々に一定の規格試驗に合格するにあらざれば商品として市場に販賣を許さざる樣之が取締りの法規を設くる事は必要と認む

○第四部委員會

昭和二年九月九日自午後五時至同九時
場所　江商ビル大湖食堂
出席者　波江君　池田君　八木君
永澤君　中島君　黒田君
增田君　大野君
本委員會に於て研究中の木造耐震建築構造の細部に亘り討論を行ふ其主なる事項左の如し
一、木造學校建築
1、防火壁を如何に處理するか
2、屋根被覆材料
3、添柱
4、窓を連續せしめざる方法
二、和風住宅建築
1、建物を一體として橫力に作用せしむること
2、筋違架構を適當に配する法則なきか
3、建物の屋根を輕量にすることの可否
4、從來の和風間取習慣などの程度迄

保持するか
5、仕口を剛にすることの可否
6、獨立柱の制限方法、卽在來廻緣の隅に用ひられたる獨立柱は危險に付之を廢止せしむるや又は存置せしむるや、存置せしむるとせば如何なる方法を講ずるや

○建築職工講習會聯合協議會

昭和二年九月十六日自午後五時至同九時
場所　建築業協會關西支部事務所
出席者
市役所
小山君（市視學）
建築業協會
三木君（池田組）　平塚君（竹中工務店）
島田君（松村組）　松尾君（鴻池組）
本協會
小笠原君（第二部委員）　酒井君（同上）
松本君（同上）
協議事項
一、科目
造作及左官講習會と決定
二、會場
大阪市小學校（大寶或は久寶）とし市役所へ一任のこと
三、期間
昭和二年自十月二十四日至同二十九日の六日間
四、講師及科目時間割
五、聽講者募集其他
建築業協會委員に一任のこと

轉勤轉居

會員

石津　三吉君　愛媛縣宇摩郡三島町大阪莫大小紡績會社三島工場建築場
石本喜久治君　勤先　片岡石本建築事務所東京市麹町區永樂町一ノ一郵船ビル
安藤伊右衞門君　此花區西野田吉之町二ノ一三四
三浦　尙史君　住吉區天王寺町三三八三
兒玉廣太郎君　片岡石本建築事務所東京市麹町區永樂町一ノ一郵船ビル
時田泰三郎君　港區築港四條通四ノ五五
早笹　五期君　兵庫縣武庫郡住吉村櫻野一三五六
堀本　義雄君　和歌山縣勝浦町龍紋勝浦工場建築場藤木工務店出張所
渡邊　銳一君　東京府下中野町上ノ原八九七　勤先　日本銀行臨時建築部
矢野　芳夫君　京都市上京區淨土寺馬場町九一
宮林　勝君　山口縣玖珂郡麻里布村帝國人造絹絲會社岩國工場
大谷　龍雄君　東京市日本橋區兜町第一銀行本店建築部
福永　敬三君　東京市牛込區戶山町四一陸軍軍醫學校內大林組出張所
萩原　惇正君　北海道帝國大學營繕課
花田孝二郎君　東京市外中野町宮前二九八
三浦　儀市君　府下三島郡茨木町北市場
鈴江　民一君　府下三島郡茨木町殿町
朝香　茂君　東京府荏原郡北品川宿小關五三六帝國電氣株式會社品川工場大林組出張所
終　野村亥之助君　東區京橋二ノ四八京阪ビル野村組
東松　孝時君　兵庫縣寶塚湯本櫻茶屋
普　大野　竹一君　神奈川縣鎌倉町大町七三四
齋藤小三郎君　京都市下京區四條通烏丸東入長刀鉾町二〇安田ビル新築工事場大林組出張所
及川藤四郎君　東京府荏原郡入新井町不入斗三〇九
田中　數雄君　姬路市西八代高等學校前
中村　重壽君　住吉區住吉町二七八
松久保敬三君　住吉區住吉町四八〇
伊木　憲一君　京都府福知山町天田一五四ノ三
伴仲　信次君　橫須賀海軍工廠表門脇山本組作業所
坂東　武夫君　東京府豐多摩郡杉並町高圓寺二二三
埼玉縣浦和岸町三六五八　勤先　清水組東京本店
城塚　元義君　東京市麹町區丸ノ內ビル
平古秋之亟君　名古屋市中區御器所町西狹間
佐田佐太郎君　大牟田市上官町四丁目刑務所俱樂部
澤田　喜平君　三重縣神戶町北新町四五八
寺澤　林吉君　愛知縣丹羽郡大口村小口四六一

改姓

會員

金澤　貨直君　舊姓　荒川
山崎　謙吉君　舊姓　高橋

電話番號改正

會員

清水　肅君　新（電話牛込四五〇二番）
箕浦　實一君　新（電話牛込五九一八番）

新入會者宿所

會員

井原國三君　西淀川區大和田町一六五〇

普贊

梶田四郎君　府下泉北郡上條村助松海岸

豐田逸治君　神戸市長田村大谷一四〇

清水英君　東區北濱二ノ九六關西土地株式會社

中西長次君　東區北濱二ノ九六關西土地株式會社

杉本武夫君　西成區千本通二ノ二八

丹羽貢君　京都市下京區烏丸佛光寺下ル多田方

渡歐米

會員園部文雄君は大阪市より歐米建築界視察の爲約六ヶ月間又會員井原國三君も同じく同上建築界視察の爲孰れも來る十月初旬出發される由

寄贈雜誌

電氣評論　毎號　社

都市人　毎號　其社

學士會月報　毎號　學士會

建築世界　毎號　其社

朝鮮と建築　毎號　朝鮮建築會

セメント界彙報　毎號　日本ポートランドセメント同業會

住宅　毎號　住宅改良會

建築雜誌　毎號　建築學會

工政　毎號　其會

經濟資料　毎號　東亞經濟調査局

土木建築　毎號　其社

建築新潮　毎號　洪洋社

大阪工業俱樂部　毎號　大阪工業俱樂部

通俗衛生　毎號　大阪府衛生會

帝國鐵道協會報　毎號　其會

工業評論　毎號　其社

電氣學會雜誌　毎號　其會

鐵道軌道經營資料　毎號　鐵道同志會

趣味ノ園藝　毎號　關西園藝會

國際建築時論　毎號　其社

土木建築之日本　毎號　其社

優生學　毎號　日本優生學會

工業ト社會　毎號　東京工業會

工業　毎號　大阪工業會

滿州建築協會雜誌　毎號　其會

日立評論　毎號　其社

庭園と風景　毎號　日本庭園協會

圖書室月報　毎號　東京市政調査會

大阪網島工業會誌　毎號　其會

エンヂニヤリング　毎號　其社

工業要錄　毎號　其發行所

都市研究　毎號　兵庫縣都市研究會

名古屋工業會々報　毎號　其會

大阪都市協會　毎號　同

生活改善同盟會　其　社

建設　毎號　其社

都市問題　毎號　東京市政調査會

新建築　毎號　其社

京都の實業　毎號　京都商業會議所

建築　毎號　中央建築會

都市創作　毎號　其會

研究資料彙報　毎號　大分高商調査部

木材彙報　毎號　大阪木材協會

工業と建築　毎號　其會

建築時論　毎號　其社

建築學研究　毎號　其會

動力之節約　毎號　工場能率增進研究會

大阪土木建築業組合報　其　組合

建築時代　其　社

役員

會長　理事　片岡安

副會長　理事　宗兵藏

副會長　理事　日高胖

理事　監事　橫濱勉

監事　松本禹象

常務　主記　坪井誠一

常務　同　松室重光

常務　同　阪口芳三郎

常務　主計　德政金吾

常務　同　吉井長七

常務　同　谷民藏

常務　編輯　池田谷久吉

常務　常務　波江悌夫

常務　同　野呂長四郎

常務　同　八木幸次郎

本誌定價表

冊數	定價	郵稅
一冊	七拾五錢	貳錢
十二冊	九圓	貳拾四錢

（毎月壹回一日發行）

昭和二年九月卅日印刷
昭和二年十月一日發行

大阪市東淀川區豐崎西通一ノ七
發行兼編輯人
兼印刷人　鷹田夏次郎

大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所　大阪活版所

大阪市西區土佐堀通一ノ一
大同ビルヂング
發行所　社團法人日本建築協會
電話土四二六五番
振替口座大阪三九九七五

御購讀の向は本會直接又は特約店へ
振替又は爲替にて前金御拂込被下度
候

大阪市西區京町堀羽子板橋北
特約販賣店　柳々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二一〇八四番